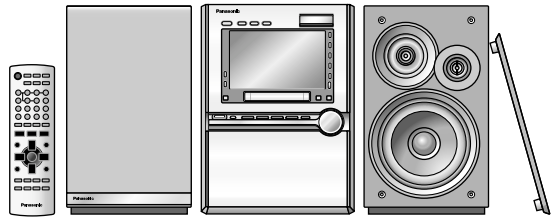
Panasonic®

取扱説明書

DVD/SDステレオシステム

MDLP

保証書別添付

上手に使って上手に節電

6ページ

電源を切っても表示部が光る!?

「デモ機能」をOFFにしてください。

このたびは、DVD/SDステレオシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■ この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**特に「安全上のご注意」（82～84ページ）はご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。**お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

■ 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

もくじ

大好きな曲をMD／SDに残そう！
ポータブルMDやレコードプレーヤーとつなげて…
74ページ

「留守録タイマー」で録り忘れを防ぐ！
お気に入りのラジオ講座は
66ページ

録音使い分け！
MD／SDに長時間で録るなら「LPモード」、カーオーディオでMDを聞くなら「SPモード」で録音など、
43、45ページ

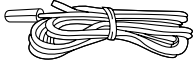
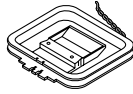
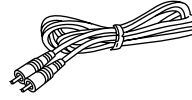
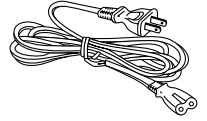
6ページ

電源を切っても表示部が光る!?

「デモ機能」をOFFにしてください。

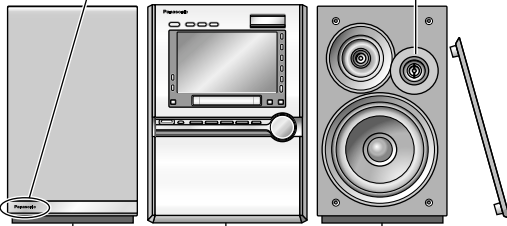
準備 再生 録音 編集 タイマー 使いこなす 必要なとき

付属品/設置/リモコンの準備

付属品を確認してください

FM 簡易型アンテナ★
（1 本）
【RSA0007-L】

AM ループアンテナ★
（1 本）
【N1DAAAA00001】

映像コード★
（1 本）
【RJL1P016B15A】

電源コード★（1 本）
【RJA0012-K】

本機はこのように置きます

DVD/SD ステレオシステム（SC-PM910DVD）

Panasonicロゴを外側に　　ツィーターを外側に

左スピーカー（SB-PM910）　センターユニット（SA-PM910DVD）　右スピーカー（SB-PM910）

センターユニットとスピーカーは、1 cm 以上離す。

■スピーカーについて

スピーカーは、テレビとの近接使用が可能な防磁設計です。（☞ 右ページ）

付属のスピーカー以外はご使用になれません

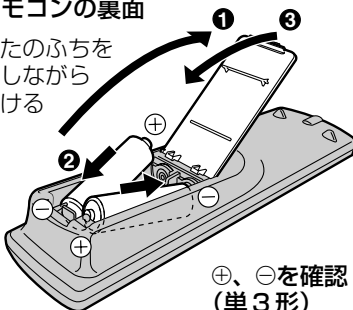
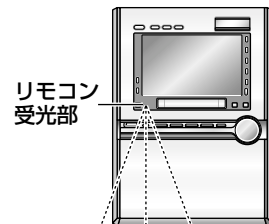
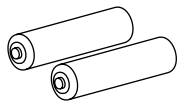
- 他のスピーカーを使用すると、正しい特性の音が得られず、また故障の原因にもなります。

■よりよい音響効果を得るために

- 平らで安定した場所に設置する。
- 堅い壁やガラス窓には、厚地のカーテンなどを掛ける。
- 左右のスピーカーの間隔を広げる。
- 壁から 5 cm 以上離して設置する。

リモコンはこのように使います

■乾電池（付属）の入れかた

■リモコンの使いかた

リモコン★（1 コ）
【N2QAJB000127】

リモコン用乾電池
（単３形：２本）

お知らせ
- 付属品の買い替えは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- カッコ【　】内は、買い替え時の品番です。(2005 年 1 月現在のものです)

付属品は販売店でお買い求めいただけます。
★印は松下グループのショッピングサイト「パナセンス」でもお買い求めいただけます。

Pana Sense パナセンスカスタマーセンター
TEL 06-6907-9144
http://www.sense.panasonic.co.jp/

お願い
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも、以下のような場合は、音量を下げてご使用ください。(音量を下げないと、スピーカー破損の原因になることがあります)
  ・音がひずんだとき
  ・音質を調整するとき

防磁設計について
- 本システムのスピーカーは、テレビとの近接使用が可能なスピーカーシステム(防磁設計 JEITA※)ですが、設置のしかたによっては色ムラが生じる場合があります。その場合は、一度テレビの電源を切り、15～30 分後に再び電源を入れてください。テレビの自己消磁機能により、画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合は、スピーカーをさらに離してご使用ください。
- 近くに磁石等磁気を発生するものが置かれている場合には、本システムのスピーカーとの相互作用により、テレビに色ムラを発生することがありますので、設置にご注意ください。

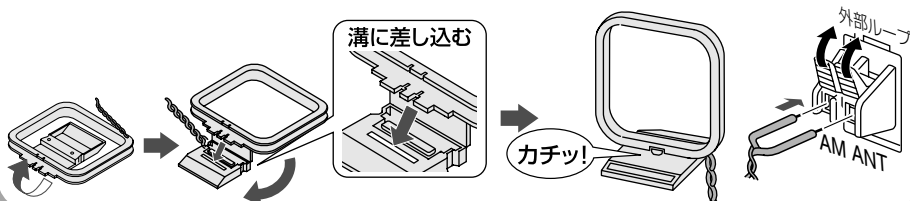
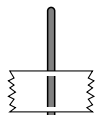
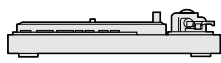
※「防磁設計（JEITA)」とは、(社) 電子情報技術産業協会の技術基準に適合したスピーカーシステムです。

■使用上のお願い
- 受光部とリモコンの間に障害物を置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部と送信部のほこりに注意。

■本体をラックに入れて使用するとき
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

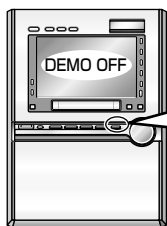
■他の機器のリモコンで本機が誤動作するとき
リモコンモードを変更してください。
(☞ 97 ページ)

本機を移動するときは
① DVD、CD、MD、SD、テープをすべて取り出す。
② [POWER ⏻/I] を押して電源を切る。
③ “GOODBYE” の表示が消えてから電源プラグを抜く。
※ この操作をしないと、故障の原因になることがあります。

接続のしかた

6 デモ機能

電源「切」の状態で表示部が点灯（デモ機能）するときは、デモ機能「OFF」にしてください。

お知らせ

●本機の時計を合わせる（☞63ページ）とデモ機能は自動的に「切」になります。

デモ機能動作中に

“DEMO OFF”と表示するまで押したままにする

押すたびに

DEMO OFF（切）⇄DEMO ON（入）

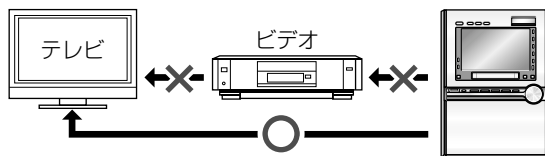
映像入力（ビデオ 2など）

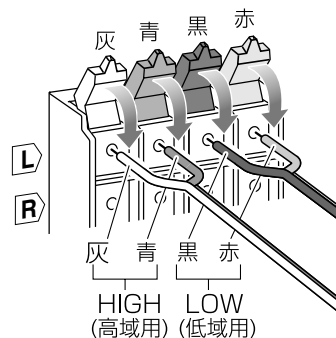
ご使用のテレビにＤ端子やコンポーネント端子があるときは、73ページの接続をおすすめします。

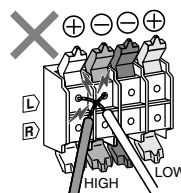
AC入力~

（左スピーカー）

3 映像コード

直接テレビに接続してください。ビデオなどを経由してテレビに接続したり、ビデオ内蔵型テレビのビデオ入力端子に接続すると、再生時に画面が乱れることがあります。

4 スピーカーコード

端子のレバーと同じ色のコードをつなぎます。

お願い

- **誤った接続をすると、故障の原因になります。**
- スピーカーコードをショートさせないでください。回路が破損する恐れがあります。

5 電源コード

電源コードは最後に接続します。

- 電源コードを抜くときは...

POWER ⏻/I

① 押す。

②“GOODBYE”表示が消えてから抜く。

電源コードを抜くときは、“GOODBYE”の表示が消えてから！

家庭用電源コンセント
（AC100 V 50/60 Hz）

各部のなまえ

㉟などの数字は参照ページです。

本　体

- テープホルダー ㉟
- OPEN ▲(テープホルダー開) ボタン ㉟
- ● HI-SPEED AUTO REC CD ▶ SD、CD ▶ MD (5CD イッキ録り) ボタン ㊿
- REC MODE (録音モード) ボタン ㊸ ㊺
- PHONES (ヘッドホン) 端子 ⑫
- POWER ⏻/I (電源) ボタン ⑭
- SD 挿入部 ㉙
- 表示部 (下記)
- FM/AM/AUX (バンド／外部入力切換) ボタン ㊲
- 1–5、DISC ▶ (ディスク選択、再生) ボタン ⑮
- DISC CHECK (ディスク確認) ボタン ⑭
- ▲ CHANGE (ディスク交換) ボタン ⑭
- RETURN (戻る) ボタン ㉑ ㉝
- ▲ DISC OPEN/CLOSE (ディスクトレイ開閉) ボタン ⑮
- リモコン受光部 ④
- MD 挿入口 ㉗
- ▲ MD EJECT (MD 取り出し) ボタン ㉖
- LIST SELECT つまみ、LIST/ENTER ボタン (リスト選択、決定) ⑳ ㉜
- VOLUME (音量調節) つまみ ⑭ ㉖ ㉘ ㉞ ㊱
- テープ、SD、MD、ディスク再生ボタン ⑮ ㉗ ㉙ ㉟
- ディスクトレイふた
- SD、MD 検知ランプ ㉗ ㉙
- STOP ■(停止)、– DEMO ボタン ⑥ ⑭ ㉖ ㉘ ㉟

表示部

■スクリーンセーバー (焼き付け防止用の表示) について

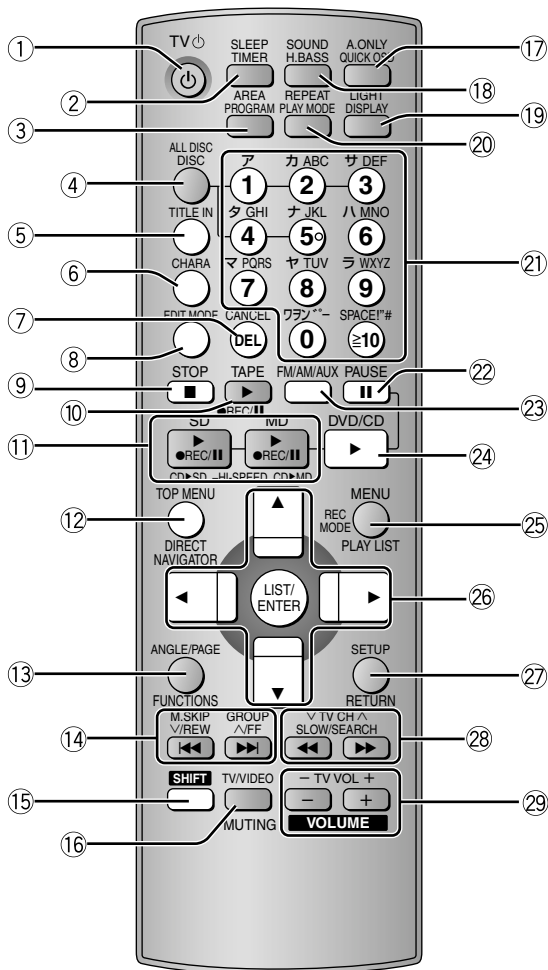
オートオフ (☞ 68 ページ) を設定していないとき、ボタン操作のない状態が約 10 分以上続くと表示がスクリーンセーバーに変わります。
この状態で何かボタンを押すとスクリーンセーバーは解除されます。
オートオフ設定時は、スクリーンセーバーは働きません。

表示が同じ場合、本体とリモコンの働きは共通です。

リモコン

下記イラストの灰色のボタン（ SLEEP TIMER など）は、**[SHIFT] を押したまま**押すことで、複数の働きをします。

① ⏻（電源）、TV ⏻（テレビ電源）ボタン ⓬ ⓭

② SLEEP、TIMER ボタン (63) (64) (66) (68)

③ AREA、PROGRAM ボタン ⓲ ㉚ ㊳

④ ALL DISC、DISC（再生方法選択、ディスク指定）ボタン ⓯ ⓱

⑤ TITLE IN（タイトル入力）ボタン (58)

⑥ CHARA（文字種）ボタン (62)

⑦ DEL、CANCEL（削除、解除）ボタン ⓳ ㉑ (56) (62)

⑧ EDIT MODE（編集モード）ボタン ㊼ (52)

⑨ ■ STOP（停止）ボタン ⓮ ㉖ ㉘ ㉟

⑩ ▶ TAPE（テープ再生）、● REC/ ❚❚（録音/録音待機）ボタン ㉟ ㊾

⑪ ▶、● REC/ ❚❚、– HI-SPEED（MD/SD 再生、録音、CD 高速録音）ボタン ㉗ ㉙ ㊸ ㊺

⑫ TOP MENU、DIRECT NAVIGATOR ボタン ⓯ ㉒

⑬ ANGLE/PAGE、FUNCTIONS（GUI メニュー表示）ボタン ⓰ ⓱ (78)

⑭ ⏮ M.SKIP ∨/REW、⏭ GROUP ∧/FF ボタン ⓱ ⓴ ㉚ ㉟ ㊲

⑮ SHIFT ボタン

⑯ TV/VIDEO（入力切換）、MUTING ボタン ⓬ (69)

⑰ A.ONLY、QUICK OSD ボタン ⓴ (71)

⑱ SOUND（音質/音場）、H.BASS ボタン (69) (70)

⑲ LIGHT、DISPLAY（本機表示切換）ボタン ㉗ ㊸ (69)

⑳ REPEAT、PLAY MODE ボタン ⓲ ⓴ ㉚ ㊲

㉑ 1～0、≧ 10（数字）、文字ボタン ⓯ ⓰ ㉖ ㉙ ㊴ (62)

㉒ ❚❚ PAUSE（一時停止）ボタン ⓱ ㉖ ㉘

㉓ FM/AM/AUX（バンド/外部入力切換）ボタン ㊲ (64) (66) (74)

㉔ ▶ DVD/CD（ディスク再生）ボタン ⓯

㉕ MENU、PLAY LIST、REC MODE（録音モード）ボタン ⓯ ㉒ ㊸ ㊺

㉖ ▲、▼、◀、▶（カーソル）、LIST/ENTER（リスト表示/決定）ボタン ⓭ ⓴ ㉒ ㉜

㉗ SETUP（初期設定）、RETURN ボタン ⓭ ㉑ ㉝

㉘ ∨ TV CH ∧、◀◀ SLOW/SEARCH ▶▶ ボタン ⓬ ⓱ ㉛

㉙ – TV VOL ＋（テレビ音量調節）、– VOLUME ＋（音量調節）ボタン ⓬ ⓮ ㉖ ㉘ ㉞ ㊱

本書の説明について

● リモコンでの操作を中心に説明します。
● 表示部の画面は説明のための例です。使用する DVD、CD、MD、SD などによって異なります。

本機で再生できるディスク (DVD/CD)

再生できるディスク

ディスクの名称およびロゴ		本書でのマーク	ディスクの構成（イラストは一例）
DVDビデオ		使える機能に、各マークがついています。 DVD-V	映像や音楽は、図のような構成で各ディスクに記録されています。 ディスクによって呼称が異なります。 タイトル1：チャプター1、チャプター2、チャプター3／タイトル2：チャプター1、チャプター2
DVD-RAM		RAM	番組 番組1、番組2、番組3、番組4、番組5 プレイリスト プレイリスト1：シーン1、シーン2、シーン3／プレイリスト2：シーン1、シーン2
		JPEG	グループ1：コンテンツ1、コンテンツ2、コンテンツ3／グループ2：コンテンツ1、コンテンツ2
DVD-R DVD-RW		DVD-R（DVDビデオ） /DVD-RW（DVDビデオ） DVD-V	（DVDビデオと同様）
		DVD-RW（DVD-VR） RAM	（DVD-RAMと同様 JPEGは除く）
＋R、＋RW	――	DVD-V	
DVDオーディオ		DVD-A	グループ1：トラック1、トラック2、トラック3／グループ2：トラック1、トラック2
ビデオCD		VCD	
CD		CD	
CD-R/ CD-RW	――	CD（CD-DAフォーマット） VCD（ビデオCDフォーマット）	
		WMA/MP3 JPEG	グループ1：コンテンツ1、コンテンツ2、コンテンツ3／グループ2：コンテンツ1、コンテンツ2

再生できないディスク

- リージョン番号「2」「ALL」以外のDVDビデオ
- PAL方式で記録されたDVDビデオ
- DVD-RAM（2.6 GB、5.2 GB、TYPE 1）
- Ver.1.0のDVD-RW
- DVD-ROM
- CD-ROM
- CD-G
- SACD
- CDV
- Photo-CD
- ブルーレイディスク
- DivXビデオ
- Chaoji VCD（超級と呼ばれる市販のSVCD、CVD、DVCD）

など

お知らせ

- DVDビデオ、DVDオーディオ、ビデオCDの中には、ディスク側の制約により、本書の記載通りに動作しないディスクがあります。くわしくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。
- 表示部に再生経過時間が出ないディスクや、メニュー画面付きビデオCDの場合、一部の機能が働かないことがあります。
- それぞれの規格に合致したディスクをご使用ください。規格外ディスクを使用すると正しく再生できない場合があります。
- 使用するディスクや記録状態により再生できない場合があります。

●本書では、DVD、CD を総称して**ディスク**と表記します。
●ディスクへの記録状態によっては、本機で再生できない場合があります。
● DVD ビデオの場合は、映像方式が NTSC のディスクのみ再生できます。

説　明

発売地域ごとに割り当てられたリージョン番号が付与されています。
● 本機のリージョン番号は「**2**」です。
● 「**2**」（または「**2**」を含むもの）もしくは「**ALL**」とジャケットに記されているディスクが再生できます。

など

右の表のディスクが再生できます。

本機では、番組やプレイリストのほかに、**静止画**（JPEG）も再生できます。（再生できる JPEG は ☞ 86 ページ）

タイプ	● カートリッジなし ● カートリッジ付きでディスクを取り出せるもの（TYPE2、TYPE4）
容量	9.4GB（両面、12cm） 4.7GB（片面、12cm） 2.8GB（両面、8cm）
記録媒体	DVD ビデオレコーダー、DVD ビデオカメラなどビデオレコーディング規格 Ver.1.1（ビデオ録画のための統一規格）で記録されたもの

お知らせ
●**カートリッジ付きディスクの再生時は、必ずディスクをカートリッジから取り出し、使用後はカートリッジに収納してください。**（くわしくは、ディスクの説明書などをご覧ください）
● 取り出したディスクに傷や汚れをつけないでください。
● 番組と番組のつなぎ目などが滑らかに再生できない場合があります。

DVD ビデオレコーダーまたは DVD ビデオカメラで録画し、ファイナライズ※したディスクを、「**DVD ビデオ**」として再生できます。

DVD ビデオレコーダーまたは DVD ビデオカメラで、ビデオレコーディング規格 Ver.1.1 に準拠して録画し、ファイナライズ※したディスクが再生できます。

DVD ビデオレコーダーまたは DVD ビデオカメラで録画し、ファイナライズ※したディスクを、再生できます。

繊細な音色から立体的な音色までを、高音質で再生できます。
「**DVD ビデオ**」が記録されているディスクもあります。（DVD ビデオとして再生するときは GUI メニューで“DVD-Video として再生”を選ぶ ☞ 80 ページ「その他のメニュー」）

音楽や映像が記録されたディスクが再生できます。
スーパービデオ CD（SVCD ： IEC62107 準拠）も再生可能です。

通常の音楽 CD や文字情報を記録した **CD テキスト**のほかに、**HDCD** も再生できます。[ただし、ピークエクステンド機能（大きい音声の振幅を拡大する機能）には対応していません]
HDCD は、記録されている情報量が通常の音楽 CD より多く（16 ビット→ 20 ビット）、高音質とされています。本機では、再生中、表示部に“HDCD”が表示されます。

● CD-DA、ビデオ CD、WMA、MP3、JPEG のいずれかのフォーマットで記録し、記録終了時にセッションクローズまたはファイナライズ※した CD-R と CD-RW が再生できます。
● WMA のマルチプルビットレート（☞ 86 ページ）には対応していません。
● **HighMAT（ハイマット）™ で記録されたディスク**
WMA、MP3 または JPEG を HighMAT 規格に準拠して記録することで、プレイリスト再生が楽しめます。（☞ 23、86 ページ）

※再生対応機器で再生できるように処理すること。

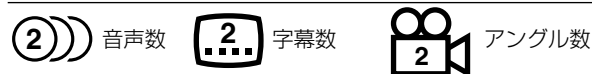
ディスクのジャケットのマークについて（イラストは一例です）

■ **画面サイズ（横：縦）**

マーク	説明
4:3	● **標準（4：3）サイズ**
LB	● **レターボックス** 4：3 で上下に黒い帯が入った画面
16:9 LB	● **ワイド（16：9）サイズ** 標準（4：3）サイズのテレビではレターボックス（上下に黒い帯のある画面）で再生
16:9 PS	● **ワイド（16：9）サイズ** 標準（4：3）サイズのテレビではパン&スキャン（両側または片側が切れた画面）で再生

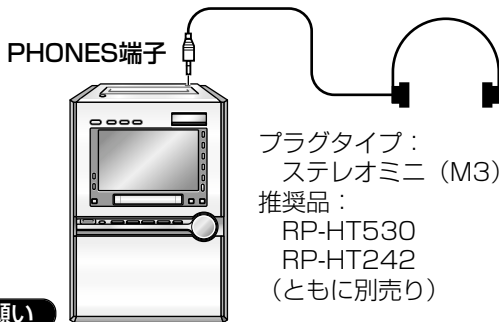
■ **その他**

2 音声数　

字幕数　2 アングル数

リモコンでテレビを操作する

当社製のテレビを、本機のリモコンで操作できます。（一部機種を除く）
各操作について、くわしくはお手持ちのテレビの説明書をご覧ください。

テレビの電源を入/切する	SHIFT ＋ TV⏻	同時に押す
テレビのテレビ/ビデオ入力を切り換える	SHIFT ＋ TV/VIDEO MUTING	同時に押す
テレビのチャンネルを選ぶ	SHIFT ＋ ∨TV CH∧ SLOW/SEARCH ◀◀ ▶▶ （数字ボタンでは選べません）	同時に押す
テレビの音量を調節する	SHIFT ＋ －TV VOL＋ － ＋ VOLUME	同時に押す

ヘッドホンを使う

プラグタイプ：
　ステレオミニ（M3）
推奨品：
　RP-HT530
　RP-HT242
（ともに別売り）

お願い

- 接続するときは、音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避けてください。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、デジタル録音機器の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

お問合せ先：（社）私的録音補償金管理協会
☎ 03-5353-0336

- 放送やレコードその他の録音物（ミュージックテープ、カラオケテープなど）の音楽および映像作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
- 従って、それらから録音した MD や SD またはテープを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、および営利（店の BGM など）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
- 使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他の手続きについては、「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部または最寄りの支部にお尋ねください。

日本音楽著作権協会

本　　部	☎ (03) 3481-2121	静岡支部	☎ (054) 254-2621
北海道支部	☎ (011) 221-5088	中部支部	☎ (052) 583-7590
盛岡支部	☎ (019) 652-3201	北陸支部	☎ (076) 221-3602
仙台支部	☎ (022) 264-2266	京都支部	☎ (075) 251-0134
長野支部	☎ (026) 225-7111	大阪支部	☎ (06) 6244-0351
大宮支部	☎ (048) 643-5461	神戸支部	☎ (078) 322-0561
上野支部	☎ (03) 3832-1033	中国支部	☎ (082) 249-6362
東京支部	☎ (03) 3562-4455	四国支部	☎ (087) 821-9191
西東京支部	☎ (03) 3232-8301	九州支部	☎ (092) 441-2285
東京イベントコンサート支部	☎ (03) 5286-1671	鹿児島支部	☎ (099) 224-6211
立川支部	☎ (042) 529-1500	那覇支部	☎ (098) 863-1228
横浜支部	☎ (045) 662-6551		

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

別売り品の品番は、2005 年 1 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

テレビに合わせて設定する

準 備 テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。(ビデオ 2 など)

SHIFT ボタンの使いかた
[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

1
押して
電源を入れる

2
押して
"DISC" にする

3
同時に押す
お買い上げ後初めてのときは、テレビ画面に、基本的な設定が簡単に行える**クイックセットアップ**が表示されます。
(次回から**初期設定画面** ☞ 76 ページ)

4

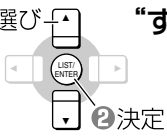
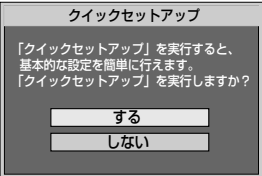
"する" を選択

画面のガイドに従って設定できます。
設定を終えたら、[LIST/ENTER] を押す。

クイックセットアップで設定できる項目
- ●画面メニュー言語
- ●接続している TV
- ● TV のアスペクト※

5
押す
初期設定画面が消えます。

※ TV のアスペクト
- ● **お使いのテレビが標準(4:3)サイズのとき**
  「4:3」を選択
- ● **お使いのテレビがワイドサイズのとき**
  「16:9」を選択

お知らせ
「4:3」を選択した場合、16:9 の映像の表示方法は「パン&スキャン」に設定されます。**初期設定画面**(☞ 76 ページ)で「レターボックス」に変更することもできます。

■ひとつ前の画面に戻る ➡

■クイックセットアップを "しない" にしたときは

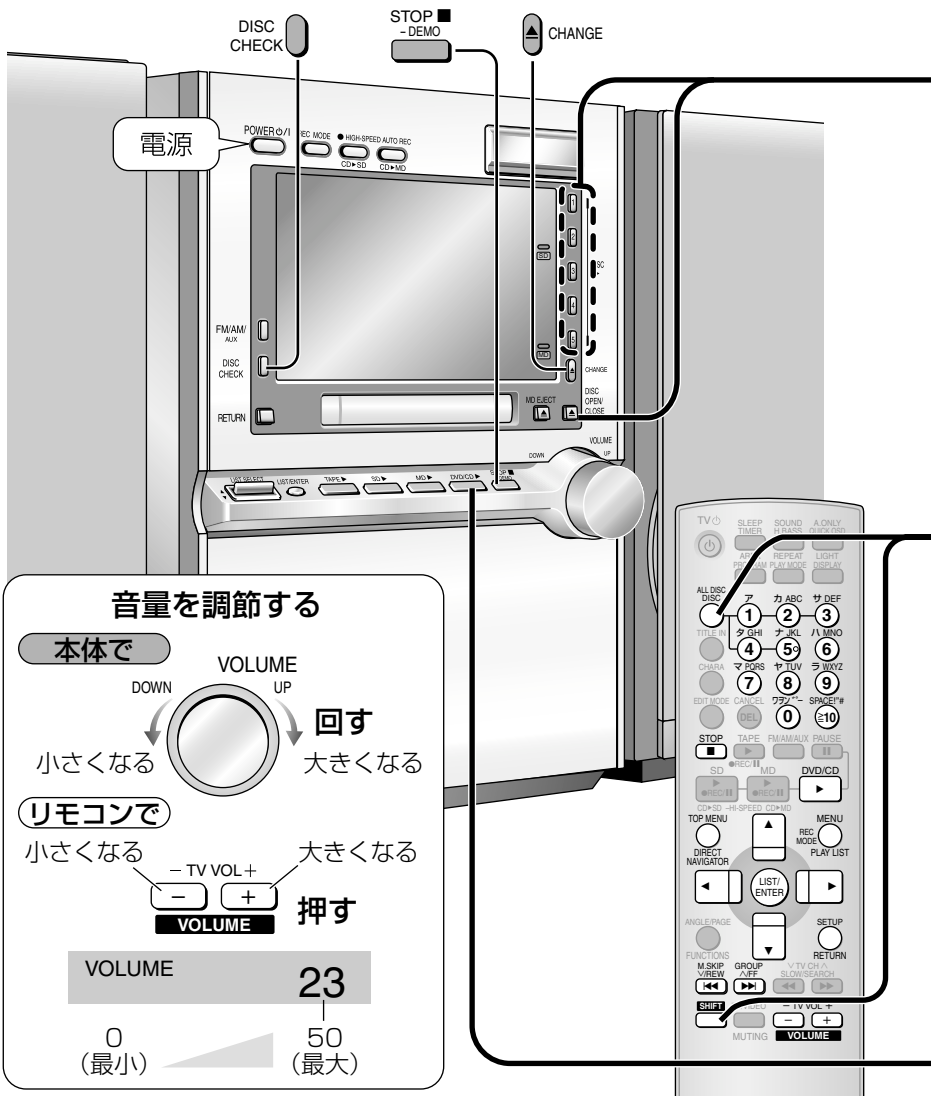
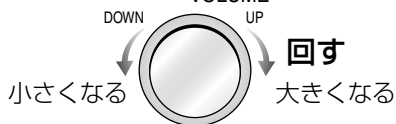
初期設定画面(☞ 76 ページ)になります。
必要に応じて初期設定を変更してください。
設定を終えたら、[RETURN] を押す。

お知らせ
- ●DVD の映像の縦横比は、ディスクによって異なります。
- ●必要に応じて、テレビ側の画面モードも設定してください。
- ●テレビを本機の映像出力端子に接続したときは、表示部の "PROG." 点灯にかかわらず、インターレース出力になります。(☞ 89 ページ「プログレッシブ/インターレース」)

用語がよくわからないときは...
用語解説 (☞ 89 ページ) を
ご覧ください。

ディスク (DVD/CD) の再生

全ディスクに共通する、基本的な再生方法について説明します。

準　備　テレビの電源を入れ、テレビのビデオ入力を切り換える。(ビデオ２など)

■**途中で停止する** ➡ 本体で STOP■ -DEMO 押す　リモコンで STOP ■ 押す

"RESUME" と表示されたときは、止めた位置が記憶されます。(**続きを再生** ☞ 16ページ)　もう一度押すと、停止状態になります。

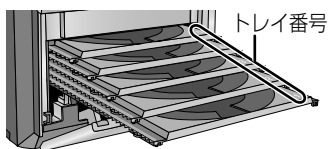
10秒以内

■**再生中に他のディスクを交換する** ➡ ▲ CHANGE 押す → 1 ‥‥‥ 5 押す

閉めるには、[▲ CHANGE] を押す。

■**トレイのディスク (12cm) を確認する** ➡ DISC CHECK 押す
(ディスクチェック)

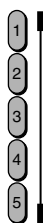
すべてのトレイが開きます。
再生中のトレイは開きません。
閉めるには、もう一度ボタンを押す。

トレイ番号

お願い

チェック中は、次のことをお守りください。

- ディスクを出し入れしない。
- トレイをひっぱらない。
- トレイを手で押さない。

①

好みのトレイを選んで押す（電源が入る）

● "CD" または "DVD" と表示されることもあります。

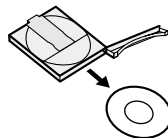
●すでにディスクが入っているときは、自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

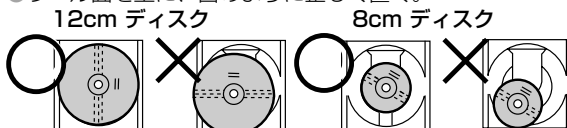
●カートリッジ付き DVD-RAM は、カートリッジから取り出す。（取り出しかたはディスクのジャケットなどでご確認ください。）

②

押してトレイを開けディスクを入れる

もう一度押して閉じる

（トレイを手で押して閉めない）

●トレイには、1 枚のディスクを置く。
●ラベル面を上に、図のように正しく置く。

12cm ディスク　8cm ディスク

リモコンのみ

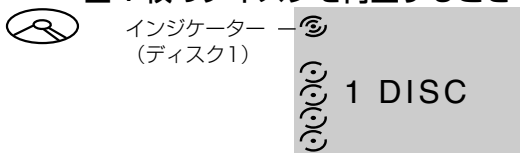
停止中、同時に押して"1 DISC" または "ALL DISC" を選ぶ

"ALL DISC" では、VCD CD WMA/MP3 のみ連続再生できます。
DVD-V DVD-A RAM JPEG では、連続再生できません。

■ SHIFT ボタンの使いかた

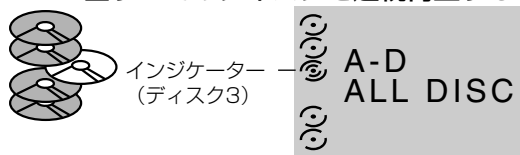
[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

■ 1 枚のディスクを再生するとき

インジケーター（ディスク1）

1 DISC

■すべてのディスクを連続再生するとき

インジケーター（ディスク3）

A-D
ALL DISC

例）ディスク３から始めた場合
３→４→５→１→２の順に再生します。

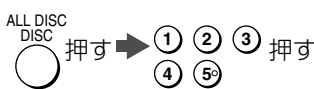
押す

インジケーターが点灯しているディスクの１曲目から、再生が始まります。

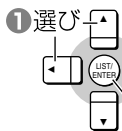
■再生を始めるディスクを選ぶときは

（1 DISC モードになります）

本体で：1 ….. 5 押す

リモコンで：ALL DISC 押す ➡ ① ② ③ ④ ⑤ 押す

（または［DISC］→［▲、▼］→［LIST/ENTER］）

■メニュー画面が表示されたら

DVD-V DVD-A VCD

再生する項目を選択

数字ボタンや［⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭］で選ぶディスクもあります。

メニュー画面に戻すときは

DVD-V DVD-A	[TOP MENU]（最初のメニュー画面へ）
DVD-V	[MENU]（メニュー画面へ）
VCD	[RETURN]

お知らせ

●テレビに "⊘この～" と表示したときは、ディスクまたは本機がその操作を禁止しています。
●映像や音声が出るまでに時間のかかることがありますが、故障ではありません。
●＋R/＋RW では、総タイトル数が正しく表示されないことがあります。
●メニュー画面表示中も、ディスクは回転しています。本機のモーターの保護と、テレビ画面への焼き付きなどを防ぐため、再生しないときは[■ STOP] を押して停止してください。
● VCD ALL DISC モードのとき、PBC（プレイバックコントロール）は解除されます。1 DISC モードで PBC を解除するときは、メニュー画面表示中に［■STOP］を押す。数字ボタンでの曲番指定などが可能になります。再び PBC に戻すときは、停止中に［MENU］を押す。

ディスクのいろいろな再生

止めた位置から続きを再生

パワーオフリジューム

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

最後に再生したディスクの位置を記憶します。

再生中または“RESUME”表示中に、電源を切ったり、他の音源（MDなど）に切り換えたりすると、最後に再生した位置が記憶されます。

●以下の場合には記憶されません。
- 表示部に経過時間表示の出ないディスク
- プログラム、ランダム設定中
- RAM のプレイリスト再生中

●ディスクを取り出すと記憶は解除されます。
●ディスクによっては記憶できない箇所があります。

■記憶させた位置から再生するには

同じディスクが入っているときに

押す

●一度再生すると、記憶は解除されます。
●“RESUME”が消えるまで［■ STOP］を押すと、記憶は解除されます。

場面/曲を番号で選ぶ

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10

再生するディスクを選び
（☞ 右ページ上参照）

押す

WMA/MP3 JPEG は選んだあと［LIST/ENTER］を押す。
再生が始まります。

●数字ボタンで２ケタ以上を選ぶには
（☞ 左記参照）
●停止中のみ働くディスクもあります。
●DVD-A 先にグループを選びます。
（☞ 20ページ）

好みの静止画を選ぶ

ページスキップ

DVD-A（静止画付）

＋

再生中に
同時に押して選ぶ

数字ボタンで２ケタ以上を選ぶには

例）25

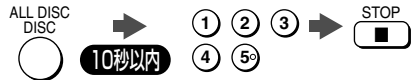
≧10 → ② → ⑤

WMA/MP3 JPEG は、［≧10］なしで数字だけ選んだあと［LIST/ENTER］を押す。

SHIFTボタンの使いかた

［SHIFT］を押しながら、他のボタンを押します。

共通の準備

再生するディスクを選ぶ ⇒ ALL DISC DISC ➡ 10秒以内 ① ② ③ ④ ⑤ ➡ STOP ■

場面/曲をとび越す

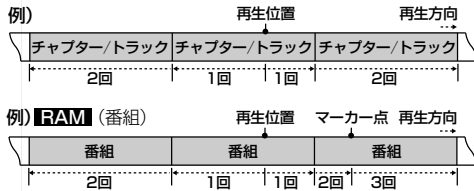
スキップ

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

M.SKIP ∨/REW ⏮ GROUP ∧/FF ⏭

再生中／一時停止中に
数回押す
押した回数だけとび越します。

例） 再生位置 再生方向
チャプター/トラック | チャプター/トラック | チャプター/トラック
2回 1回 1回 2回

例）RAM（番組） 再生位置 マーカー点 再生方向
番組 | 番組 | 番組
2回 1回 1回 2回 3回

RAM
●マーカーが記録されているときは、マーカー位置までとび越します。
●プレイリスト再生（☞22ページ）では、シーンの開始点までとび越します。
●コマーシャルが録画されていると、そこにとび越すことがあります。

WMA/MP3 JPEG
[▲、▼] を押すと、グループをとび越します。

約30秒とび越す

マニュアルスキップ

決まった時間だけとびこすときに便利です。

DVD-V RAM

SHIFT + M.SKIP ∨/REW ⏮

再生中に
同時に押す
押すたびに約30秒間とび越します。

●＋R/＋RWでは働きません。

お知らせ
●以下の場合、マニュアルスキップは働きません。
- 表示部に経過時間表示の出ないディスク
- プログラム、ランダム設定中
- RAM のプレイリスト再生中

●DVDビデオのチャプターリピート中（☞19ページ）にとび越すと、リピートが解除されます。

早送り/早戻し

サーチ

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

∨TV CH∧ SLOW/SEARCH ◀◀ ▶▶

再生中に
数回押す
押すたびに速くなります。（5段階）

通常再生に戻すには
[▶DVD/CD] を押す。

DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM VCD
早送り1段階目のみ音声が聞こえます。

DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM
再生速度を微調整できます。（☞25ページ）

一時停止/スロー再生/コマ送り

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

一時停止

PAUSE ❚❚

再生中に
押す

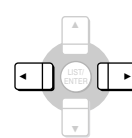
一時停止/スロー再生/コマ送りを通常再生に戻すには
[▶DVD/CD] を押す。

DVD-V RAM DVD-A（動画部のみ） VCD（正方向のみ）

スロー再生

∨TV CH∧ SLOW/SEARCH ◀◀ ▶▶

一時停止中に
押す
押すたびに速くなります。（5段階）

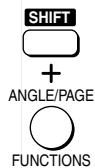
コマ送り/コマ戻し

一時停止中に
押す
●押したままにすると、連続してコマ送り／コマ戻しします。
● [❚❚ PAUSE] でもコマ送りできます。

アングル切換/画像回転

DVD-V DVD-A（動画部のみ） JPEG

アングル切換

DVD-V DVD-A（動画部のみ）

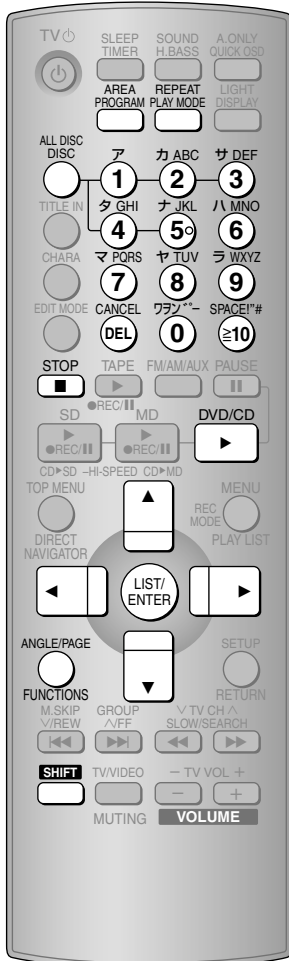
SHIFT + ANGLE/PAGE FUNCTIONS

複数のアングルがあるディスクを
再生中に
同時に押す
押すたびに、アングルが切り換わります。
ディスクによっては、メニュー画面でのみ切換可能なものもあります。

画像回転

JPEG

SHIFT + ANGLE/PAGE FUNCTIONS

再生中に
同時に押す
押すたびに、右に90°ずつ回転します。

お知らせ
GUIメニューでスライドショーの入/切や表示間隔の設定も行えます。（☞ 79ページ）

くり返し再生

リピート

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

ALL DISC モードやランダムプレイとも組み合わせて使えます。

再生中に
同時に押してリピートの種類を選ぶ
（右表参照）

●表示部に経過時間表示の出ないディスクでは働きません。
●GUI メニュー（☞78 ページ）からも操作やリピート状態の確認ができます。

■解除する
[SHIFT]＋[REPEAT] を同時に押して“REPEAT OFF”を選ぶ。
[■ STOP]を押しても解除されます。(ただし、オールディスクリピート時は解除されません)

好みの順に再生

プログラムプレイ

DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3 JPEG

最大 24 曲/チャプターまで予約できます。

“ALL DISC”設定時

VCD CD WMA/MP3

すべてのディスクから予約できます。

準備 [SHIFT]＋[ALL DISC] を同時に押して“1 DISC”または“ALL DISC”を選ぶ。

1

停止中に
押す

例） WMA/MP3

■解除する
停止中に [■ STOP] を何度か押して、表示部の“PGM”を消す。

■すべての予約を取り消すときは
[▲、▼、◀、▶] で“オールクリア”を選び、[LIST/ENTER] を押す。

SHIFT ボタンの使いかた
[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

1 DISC モード時

TRACK REPEAT(1 曲)	DVD-A VCD CD
CONTENT REPEAT (1 コンテンツ)	WMA/MP3
GROUP REPEAT (1 グループ)	DVD-A WMA/MP3 JPEG
DISC REPEAT (再生中のディスク全曲)	RAM VCD CD
ALL REPEAT (ランダム/プログラムなどのプレイモード設定をした全曲)	DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3 JPEG
CHAPTER REPEAT (1 チャプター)	DVD-V
TITLE REPEAT (1 タイトル)	DVD-V
PG REPEAT (1 プログラム)	RAM
SCENE REPEAT (1 シーン)	RAM
PL REPEAT (1 プレイリスト)	RAM

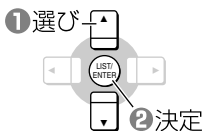
ALL DISC モード時

TRACK REPEAT(1 曲)	VCD CD
CONTENT REPEAT (1 コンテンツ)	WMA/MP3
GROUP REPEAT (1 グループ)	WMA/MP3
DISC REPEAT (再生中のディスク全曲)	VCD CD
A DISC REPEAT (通常再生時：全ディスク全曲) (ランダム/プログラムなどプレイモード設定時：設定した曲全曲)	VCD CD WMA/MP3

■HighMATで記録されたディスクのときは
“CONTENT REPEAT”(1 コンテンツ)または“GROUP REPEAT”(1 グループ)が選べます。

■好みの場面/曲をくり返し再生するときは
① 場面／曲を好みの順に再生する。（☞ 下段「プログラムプレイ」）
② 再生中に[SHIFT]＋[REPEAT]を同時に押して“ALL REPEAT”または“A DISC REPEAT”を選ぶ。

■好みの２点間をくり返すときは
「A-B リピート」（☞ 25 ページ）

2

① “ALL DISC”設定時
ディスクを選択

② DVD-V DVD-A WMA/MP3 JPEG
タイトル/グループを選択

③ **チャプター/トラックを選択**

①〜③をくり返し、予約を完了する

（前後のページを見るときは、[SHIFT] ＋ [ANGLE/PAGE]）

●数字ボタンでも選べます。
●“ALL”が表示している場合、選択すると、ディスク、タイトル、またはグループ内の全曲が予約されます。
●ディスクにない曲は、予約しても無効です。
●タイトル/グループのないディスク（CD など）で、タイトル/グループ入力が必要な場合（ディスクの情報が認識されていないときなど）は、“1”を選択してください。

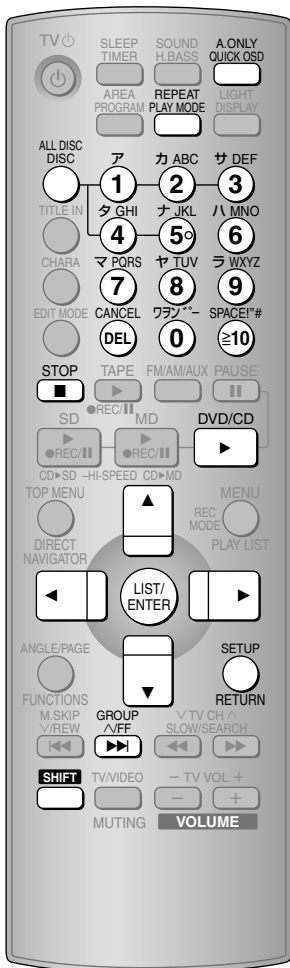
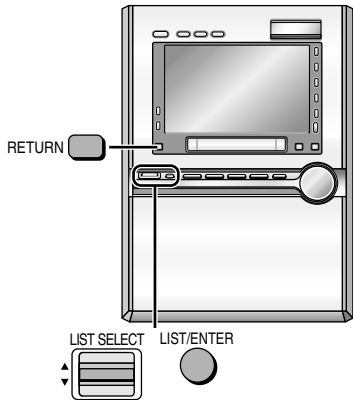
3

DVD/CD ▶

押す
再生が始まります。

■予約を変更するときは
① [▲、▼] で変更する項目を選ぶ。
② **変更**： [LIST/ENTER] を押し、手順 **2** の操作で変更する。
取り消し： [CANCEL] を押す。(“クリア” を選び[LIST/ENTER] を押しても取り消せます)

お知らせ
ディスクを取り出す、電源を切る、他の音源（MD など）に切り換えるなどの操作をすると、予約は取り消されます。

ディスクのいろいろな再生（つづき）

順不同に再生

ランダムプレイ

DVD-V DVD-A VCD CD WMA/MP3 JPEG

“ALL DISC”設定時

VCD CD WMA/MP3

すべてのディスクを順不同に再生できます。

準備 [SHIFT]＋[ALL DISC]を同時に押して“1 DISC”または“ALL DISC”を選ぶ。

1 REPEAT PLAY MODE **停止中に押して“RANDOM”を選ぶ**

● “RND”が表示。

リスト表示で曲を探して再生

CD

CDのタイトル入力については58ページをご覧ください。

1 本体で LIST/ENTER　リモコンで

CDの停止中に押す

CD選択画面になります。

再生状態を確認

クイックOSD

A.ONLY QUICK OSD **押す**

● CD または、WMA/MP3（静止画などが混在していないとき）では、ディスクを入れると自動的に右の画面が表示されます。

グループを選んで再生

DVD-A WMA/MP3 JPEG

1 SHIFT ＋ GROUP ∧/FF **同時に押す**

例） WMA/MP3 （テレビ画面）

グループサーチ ⇕ 1

■すべてのグループを再生する DVD-A

① 停止中に［PLAY MODE］を押して“ALL GROUP”を選ぶ。
② [▶DVD/CD]を押す。
再生が始まります。（“GRP”が表示）

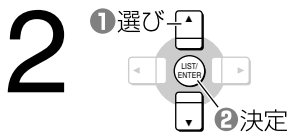
解除するには、①で“GRP”表示を消す。

SHIFTボタンの使いかた

[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

2

例） WMA/MP3

（テレビ画面）

VCD CD以外

"ALL"または タイトル/グループ番号を選択

DVD-A

- [◀、▶] で"オール"またはグループ番号を選び、[LIST/ENTER] を押す。（複数のグループが選べます）
- 数字ボタンでも選べます。
- 選択と同じ操作で、選択の取り消しができます。

3

DVD/CD ▶

押す

再生が始まります。

■解除する

停止中に、手順 1 で"RND"表示を消す。

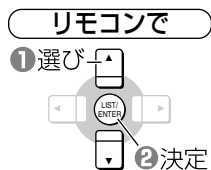
お知らせ

ディスクを取り出す、電源を切る、他の音源（MDなど）に切り換えるなどの操作をすると、解除されます。

2

本体で

（上下に動かす）

リモコンで

①聞きたいCDを選択
②聞きたい曲（トラック）を選択

```
Track          16—曲数
1.Winter
2.Summer
3.Track 3
```

選んだ曲から再生が始まります。

■停止中に 1 つ前の表示に戻る

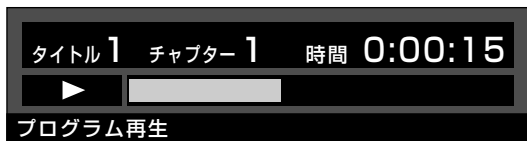
[RETURN]を押す。

■途中で止める

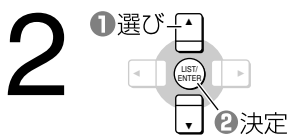
[■ STOP]を押す。

お願い

- 再生中や"RESUME"表示中、プログラム/ランダム設定中はリストを表示できません。設定を解除して、停止中に行ってください。
- テレビにメニュー画面（☞ 22ページ）が表示されているときは、リストの表示ができません。メニュー画面を消してから操作してください。
- WMA/MP3など、CD以外のディスクでは、リスト表示からのトラック選択はできません。これらのディスクの場合は、メニュー画面（☞ 22ページ）で曲を選んでください。

例）DVDビデオのプログラム再生時　（テレビ画面）

■表示を消す

[QUICK OSD]を押す。

2

5秒以内

グループを選択

選んだグループの再生が始まります。

お知らせ

- グループは、数字ボタンでも選べます。
- テレビにナビメニューなど（☞ 22ページ）が表示されているときは、メニュー画面を消してから操作してください。

■ボーナスグループを再生する DVD-A

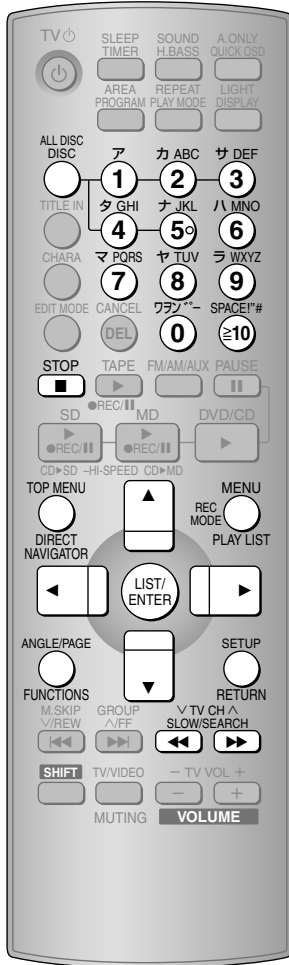
ボーナスグループ付きディスクは、暗証番号（ジャケットなどに記載）を入力することでボーナスグループを再生できます。

① 停止中に [SHIFT] ＋ [GROUP] を同時に押す。
② 5秒以内に [▲、▼] でボーナスグループを選び、[LIST/ENTER] を押す。
③ 数字ボタンで画面に暗証番号を入力し、[LIST/ENTER] を押す。
まちがえたときは、[LIST/ENTER] を押す前に [CANCEL] を押してやり直す。
ボーナスグループの再生が始まります。

お知らせ

電源を切る、他の音源（MDなど）に切り換える、トレイを開ける、などの操作をすると、暗証番号の再入力が必要になる場合があります。

メニュー画面を使って再生

RAM（再生ナビ）　：番組リストが表示されます。
RAM（プレイリスト）　：好みのシーンを集めたリストが表示されます。
CDテキスト　：記録されているディスク／アーティスト／トラック名が表示されます。
WMA/MP3 **JPEG**　：パソコンで付けたフォルダ名／ファイル名は、グループ名／コンテンツ名として表示されます。

1

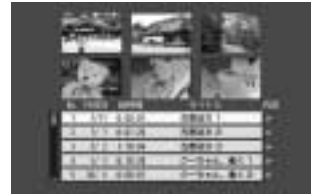
TOP MENU
DIRECT NAVIGATOR

押す
（再度押すと消える）

例）**RAM**（再生ナビ）

MENU
REC MODE
PLAY LIST

押す
（再度押すと消える）

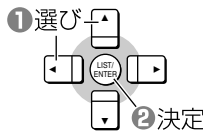
例）**RAM**（プレイリスト）

●プレイリスト選択中に[▶]を押して"シーン一覧"を選ぶことで、好きなシーンを再生することができます。

MENU
REC MODE
PLAY LIST

押す
（再度押すと消える）

例）**WMA/MP3**（ナビメニュー）

● **CDテキスト** **JPEG** についても同様です。

2

番組/プレイリスト/グループ/コンテンツ/トラックを選択

再生が始まります。

RAM（再生ナビ）
背景で、選んだ番組が再生されます。
●番組やプレイリストは、数字ボタンでも選べます。

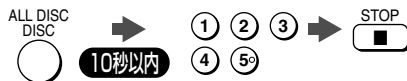
お知らせ

RAM

番組/プレイリスト/静止画（JPEG）の混在ディスクで静止画（JPEG）を再生するときは、次のように操作します。
① [FUNCTIONS] を押す。
② [▲、▼] で"その他の設定"を選び、[LIST/ENTER] を押す。
③ 同じ操作で"その他のメニュー"を選択する。
④ 同じ操作で"データディスクとして再生"を選択する。

WMA/MP3 **JPEG**

ディスクを入れると、**再生コンテンツメニュー**が表示されます。
●再生するコンテンツの種類が選べます。
●音楽/静止画の混在ディスクでは、最初に"写真"を選び、静止画の再生を確認してからサブメニュー（☞ 右ページ）で"オール"または"オーディオ"を選ぶと、静止画を表示させたまま音楽を楽しむことができます。

（[TOP MENU] を押しても表示）

ナビメニューの便利な使いかた

1 ANGLE/PAGE FUNCTIONS ナビメニュー表示中に**押す**

サブメニューが表示されます。

2 ❶選び **項目を選択** ❷決定

●表示形式を、マルチ/リスト/ツリー/サムネイル（JPEG のみ）から選べます。
●前後のグループに移動できます。
●再生するコンテンツの種類を選べます。

■**ひとつ前の画面に戻るときは**
[RETURN] を押す。

■**グループ/コンテンツをタイトルで検索する** WMA/MP3 JPEG

●ハイライトが画面左にあるときはグループ検索､右にあるときはコンテンツ検索になります。
●ひらがな、カタカナ、英数字を、**ローマ字**で検索します。（大文字／小文字は区別されません）

例）タイトルに「うた」を含む曲を探す。

① サブメニューの“検索”を選び、[LIST/ENTER] を押す。
② [▲､▼] で“U”を選び､[LIST/ENTER]を押す。
[▲] を押すたびに
A→B→…→Z→0→1→…→9→A...
続けて“T”“A”と選びます。
“＊”は消さないでください。
③ [▶]（右カーソル）で “検索”を選び、[LIST/ENTER]を押す。
④ [▲､▼] で曲を選び､[LIST/ENTER] を押す。
再生が始まります。

入力した文字で始まるタイトルを探す
手順 ① の後､[◀] で“＊”を消してから入力する。

お知らせ
●数字は、数字ボタンでも入力できます。
●[◀◀ SLOW/SEARCH ▶▶]で「A、E、I、O、U」にスキップします。
●確定した文字を変更するには、[◀] で文字をハイライトさせ、選び直します。

HighMAT（ハイマット）で記録されたディスクの再生

ディスクを入れると、“HighMAT”とメニュー画面が表示されます。

❶選び **好みのプレイリストを選択** ❷決定

メニュー：
このメニューに含まれるプレイリストやメニューを表示します。

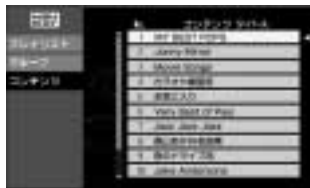
プレイリスト：
再生が始まります。

メニュー画面に戻るには
[TOP MENU] を押してから [RETURN] を数回押す。

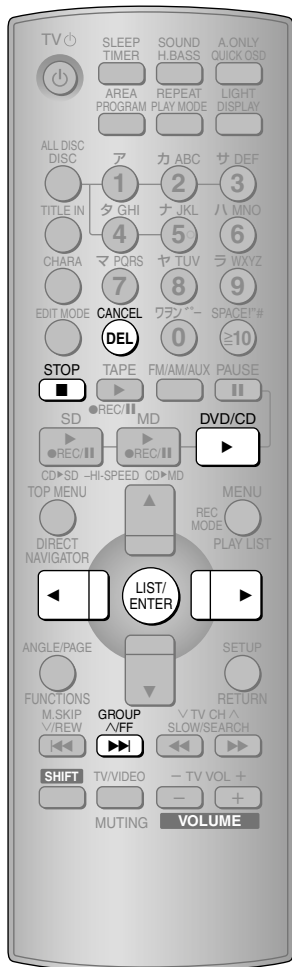
ディスクに記録されたメニュー画面に切り換えるには
メニュー画面表示中、[FUNCTIONS] を押す。

メニュー画面を消すには
[■ STOP] を押す。

■**リスト画面から選んで再生する**

① 再生中に、[MENU] を押す。
（再度押すと消える）

② [◀]→ [▲、▼] でプレイリスト／グループ／コンテンツのリストを切り換える。
③ [▶]→ [▲､▼] で選び、[LIST/ENTER] を押す。

お知らせ
プログラムプレイ／ランダムプレイなどをするときは、あらかじめ GUI メニューで“データディスクとして再生”を選んでおきます。
（☞ 80 ページ）

メニュー画面を使って再生（つづき）

映像を拡大

ぴったりズーム

DVD-V
DVD-A（動画部のみ）
RAM **VCD**

いろいろな縦横比の映像を拡大し、お使いのテレビの画面サイズに近づけます。

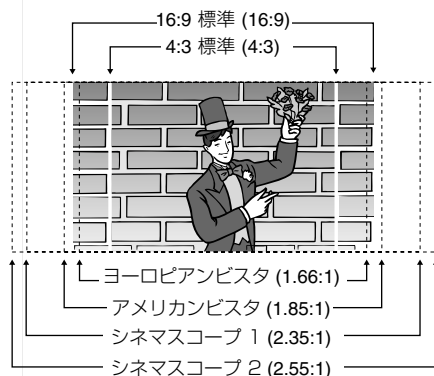
準　備

「初期設定」の"TV アスペクト"をテレビに合わせて設定する。（☞ 76 ページ）

再生中に、GUI メニューで（☞ 78 ページ）"その他の設定"→"表示メニュー"を選び

ぴったりズームの種類を選択

スクリーンサイズ（縦横比）が切り換わります。

■ぴったりズームの種類について

お知らせ

ぴったりズームで「オート」を選択したときは

- ●テレビのオートズーム機能を「切」にしてください。
- ●映像全体が暗いときは、ズームしないことがあります。
- ●映像の黒い部分が激しく変化するようなディスクでは、正しくズームしないことがあります。
- ●映像の上下が隠れるときは「任意ズーム」（☞ 80 ページ）をお使いください。

音声の切換

DVD-V **DVD-A** **RAM**
VCD

複数の音声があるディスクの再生中に、GUI メニューで"音声"を選び

音声の種類を選択（☞ 78、79 ページ）

DVD-V **DVD-A** **VCD**

カラオケディスクはカラオケの入／切ができます。ジャケットなどをご覧ください。

DVD-A

- ●切り換わる音声がなくても、音声番号は 2 つまで表示されます。
- ●静止画付トラックと音声のみのトラックでは、音声が切り換わると、曲の先頭に戻ります。（**RAM** の静止画部分でも同様）

字幕の切換

DVD-V
DVD-A（動画部のみ）
RAM（入／切のみ）
VCD（SVCD のみ）

複数の字幕があるディスクの再生中に、GUI メニューで"字幕"を選び

字幕を「入」にし、字幕言語を選択

（☞ 78、79 ページ）

お知らせ

- ●表示するまでに、少し時間がかかることがあります。
- ●＋R/＋RW では、字幕が記録されていなくても字幕番号が表示されることがあります。
- ●SVCD は、複数の字幕/音声がなくても番号のみ切り換わります。
- ●当社製 DVD ビデオレコーダーで作成したディスクは、字幕の入/切ができません。

ディスク内容を手早く確認

アドバンストディスクレビュー

DVD-V RAM

一定間隔で数秒間ずつ再生（レビュー）します。

再生中または停止中に、GUI メニューで（☞ 78 ページ）“その他の設定”→“再生メニュー”を選び
“アドバンストディスクレビュー”を選択

現在の位置からレビューが始まります。ディスクの終わりまでくると冒頭に戻り、レビューを続けます。

■レビューの方法について
レビューのしかたは２通りあり、初期設定（☞ 76 ページ）で変更できます。
イントロモード（お買い上げ時）：
タイトル/プログラムの冒頭部分を数秒ずつ再生。
インターバルモード：
タイトル/プログラムの冒頭部分に加え、タイトル/プログラム内を約 10 分おきに数秒ずつ再生。

■解除する
［▶ DVD/CD］で通常再生に戻ります。
レビューを解除し、ディスクを止めたいときは［■ STOP］を押します。

お知らせ
- ＋R/＋RW では働きません。
- 以下の場合はレビューできません。
  - 表示部に経過時間が表示されないとき
  - プログラム、ランダム設定中
  - RAM のプレイリスト再生中や、静止画再生中
- レビュー中は、［∧/FF▶▶|］で次の位置にジャンプできます。
- リピート再生中にレビューを行うと、リピートは解除されます。（ただしオールリピートは解除されません）
- RAM でサムネイルを設定している場合は、冒頭部分ではなくサムネイル位置にジャンプします。

再生速度を微調整

DVD-V
DVD-A（動画部のみ）
RAM

セリフなどを聞きながら速く再生したり、遅く再生してしっかり聞き取りたいときなどに使います。

再生中に GUI メニューで（☞ 78 ページ）“その他の設定”を選び
再生速度を選択

お知らせ
- ［▶ DVD/CD］を押すと、通常再生に戻ります。
- ディスクによっては働かない箇所があります。
- 速度変換モード中は
  －デジタル出力が“PCM”（44.1kHz または 48kHz）に切り換わります。
  －アドバンストサラウンド、マルチリ.マスター、サウンドエンハンスメントは働きません。

2 点間をくり返す

A-B リピート

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

1 **再生中に、GUI メニューで（☞ 78 ページ）“その他の設定”→“再生メニュー”を選び**
“A-B リピート”を選択

2

始点（A）で押す
↓
終点（B）で押す

■解除する
① GUI メニューで“A-B リピート”を選択する。
② [LIST/ENTER] を押して“＊＊”を表示させる。

お知らせ
RAM の静止画部分には働きません。

好みの位置にマークを付ける

マーカー

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3 JPEG

最大 5 カ所まで付けられます。

1 **RAM 以外の再生中に、GUI メニューで（☞ 78 ページ）“その他の設定”→“再生メニュー”を選び**
“マーカー”を選択

2

好みの位置で、押す
続けて付けるには [◀, ▶]→[LIST/ENTER]を押す。

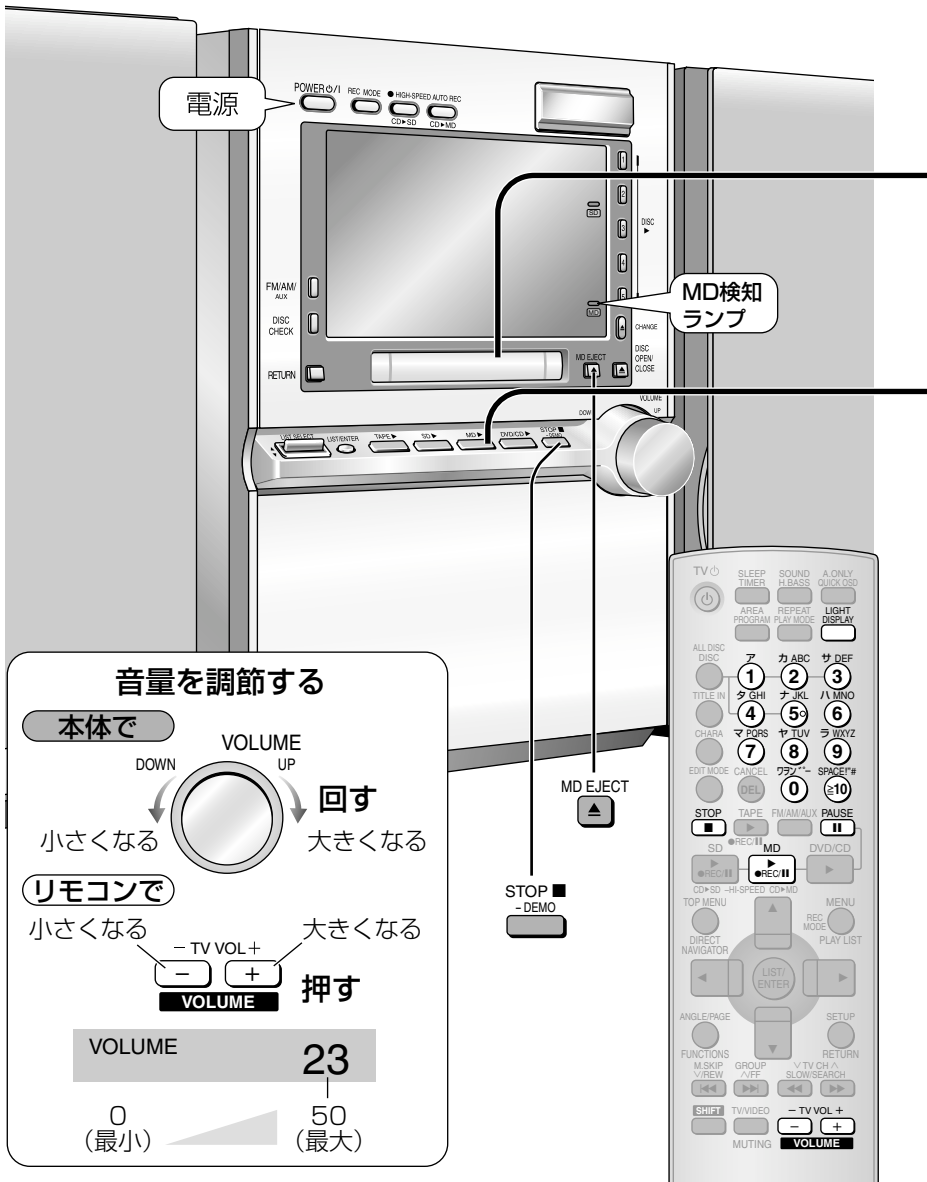
■マークを付けた位置から再生する
[◀, ▶] で再生するマーカーを選び、[LIST/ENTER] を押す。
■マークを取り消す
[◀, ▶] で取り消すマーカーを選び、[CANCEL] を押す。

お知らせ
- 電源を切る、他の音源（MD など）に切り換える、トレイを開ける、などの操作をすると、マーカーは解除されます。
- プログラム/ランダム設定中は働きません。

RAM
- “マーカー（VR）”を選択して、ディスクにあらかじめ付いていたマーカーにとび越すことができます。（☞ 79 ページ）
- マーカーを付けることはできません。
- プレイリスト再生時は働きません。

MD の再生

電源

MD検知ランプ

MD EJECT

STOP ■ − DEMO

1 MD を入れる

2 再生する

音量を調節する

本体で

VOLUME
DOWN　UP

回す

小さくなる　大きくなる

リモコンで

小さくなる　大きくなる

− TV VOL ＋
VOLUME

押す

VOLUME 23

0（最小）　50（最大）

■途中で停止する ➡ 本体で STOP ■ − DEMO 押す

リモコンで STOP ■ 押す

■一時停止する ➡ PAUSE ❚❚ 押す

再開するには、[▶MD] を押す。

■ MD を取り出す ➡ MD EJECT ▲ 押す

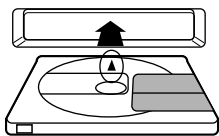
■曲を番号で選ぶ ➡ ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪ ≧10 押す

2 ケタ以上を選ぶには

● **2 ケタ**：例）25

≧10 → ② → ⑤

● **3 ケタ**：例）125

≧10 → ≧10 → ① → ② → ⑤

MDを入れる

電源が入り、途中から自動的にMDが引き込まれます。

●MDを入れると、MD検知ランプが点灯します。

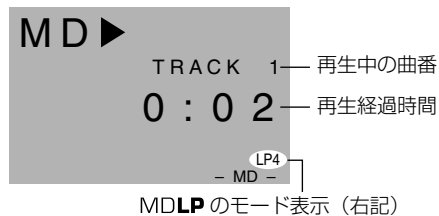
セレクターがMDのとき

MD	
TRACK 17	曲数
54:30	総再生時間

(1曲も録音されていないときは、"BLANK DISC"と表示されます)

押す

再生が始まります。

MDLP のモード表示(右記)

●電源「切」時にMDが入っているときは、この操作だけで自動的に電源が入り、再生が始まります。(ワンタッチプレイ)

■ MDLP (長時間ステレオ録音/再生) について

MDLP は、音声圧縮技術によって、長時間(2倍または4倍)のステレオ録音、再生ができる方式です。
録音したときのモード(SP/LP2/LP4)に従って再生します。

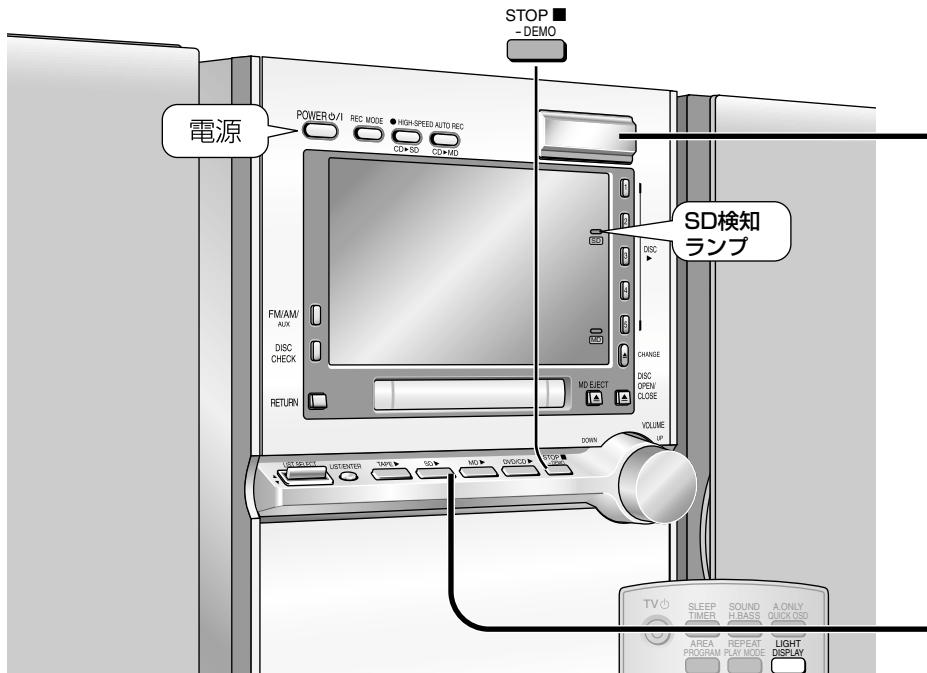
再生時には、表示部に次のように表示されます。

- ● 標準時間録音モードで録音した曲:"SP"
- ● 2倍長時間録音(ステレオ)した曲:"LP2"
- ● 4倍長時間録音(ステレオ)した曲:"LP4"

MDLP で長時間録音するには (☞43ページ)

■残り時間などを見る ➡ 押す

押すたびにタイトルや残り時間などの表示に切り変わります。

Winter
–2:05

再生

MDの再生

SD の再生

1
SD を入れる

2
再生する

電源

SD検知
ランプ

STOP ■
- DEMO

音量を調節する

本体で

VOLUME
DOWN UP
回す
小さくなる　大きくなる

リモコンで

小さくなる　大きくなる
− TV VOL ＋
VOLUME
押す

VOLUME 23

0
（最小）

50
（最大）

■使用可能な SD メモリーカードについて
本機では以下の容量（8 MB ～ 1 GB まで）の SD メモリーカードが使用できます。
8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB まで
最新情報は http://panasonic.jp/support/audio/mini/ でご確認ください。

■途中で停止する ➡ 本体で [STOP ■ - DEMO] 押す
リモコンで [STOP ■] 押す

■一時停止する ➡ [PAUSE ❚❚] 押す
再開するには、［▶SD］を押す。

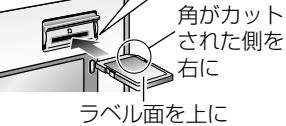
上手に使いこなすには、85ページ「SDについて」をお読みください。

①押し上げてSD挿入部のふたを開ける

セレクターがSDのとき

SD
T. 17 — 曲数
54:30 — 総再生時間

（1曲も録音されていない、または再生できるデータがないときは、“NO TRACK”と表示されます）

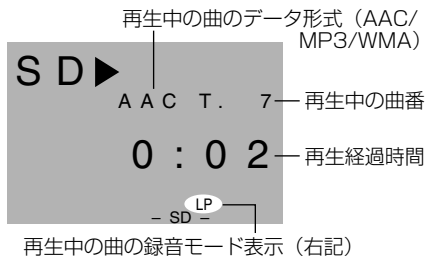
● SDを入れると、SD検知ランプが点灯します。（録音、記録中は点滅）

②SDを入れる

③ふたを閉める

ふたが開いていると、SDの再生はできません。

mini SDカードをお使いの場合

miniSDアダプターが必要です。

押す

再生が始まります。

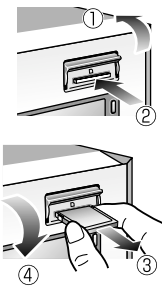
● 電源「切」時にSDが入っているときは、この操作だけで自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

■再生できるSDについて

本機では、「SDオーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/MP3/WMA)のみ再生できます。
静止画および動画の再生はできません。

■録音モードについて

本機で録音した曲の再生中は、表示部に録音時の録音モードが表示されます。
他の機器で録音した曲や、MP3/WMAの曲の場合は、録音モードが表示されないことがあります。

録音モードを選んで録音するには（☞ 45ページ）

■SDを取り出す

① ふたを開ける。

② カードの中央部を指で押す。（指ではさめるくらいカードが出る）

③ まっすぐ引き抜く。

④ ふたを閉める。

お願い

“CARD Writing”表示中やSD検知ランプの点滅中は、絶対にふたを開けたり、SDを取り出さないでください。SDが使えなくなることがあります。

■曲を番号で選ぶ

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⓪ ≧10 押す

2ケタ以上を選ぶには

● **2ケタ**：例）25
≧10 → ② → ⑤

● **3ケタ**：例）125
≧10 → ≧10 → ① → ② → ⑤

■残り時間などを見る

押す

押すたびに残り時間などの表示に切り変わります。

再生

SDの再生

MD/SD のいろいろな再生

曲をとび越す

スキップ

MD SD

本体で

上下に動かす

リモコンで

M.SKIP ∨/REW　GROUP ∧/FF

押す

好みの順に再生

プログラムプレイ

MD SD

最大 24 曲まで予約できます。

1 AREA PROGRAM 停止中に押す

PGM　P:00　0

■**解除する**
停止中に [PROGRAM] を押して "PGM" を消す。(予約内容は保持)

■**予約を追加する**
停止中に、数字ボタンで曲番を選ぶ。

順不同に再生

ランダムプレイ

MD SD

1 REPEAT PLAY MODE 停止中に押して "RANDOM" を選ぶ

RND
RANDOM

くり返し再生

リピート

MD SD

プログラムモードやランダムプレイと組み合わせて使えます。

SHIFT + REPEAT PLAY MODE 再生中に同時に押す

REP)
REPEAT ON

●リピート再生中は "REP)" または ")" が表示されます。

数字ボタンで 2 ケタ以上を選ぶには

例) **2 ケタ**: 25
≧10 → 2 → 5

例) **3 ケタ**: 125
≧10 → ≧10 → 1 → 2 → 5

SHIFT ボタンの使いかた

[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

●選択操作で迷ったときは**「操作メニュー一覧」**(☞ 81 ページ)

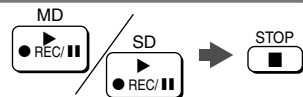
共通の準備

セレクターを MD または SD にする ➡

早送り／早戻し

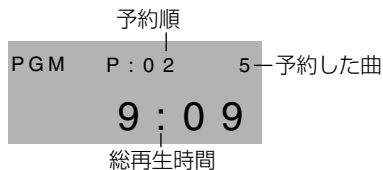
サーチ

MD SD

∨ TV CH ∧
SLOW/SEARCH

再生中／一時停止中に
聞きたい位置まで押したままにする

2

押して
曲番を選ぶ

数字ボタンで２ケタ以上を選ぶには（☞ 左ページ下）

この操作をくり返し、予約を完了する

3

押す
再生が始まります。

■予約を確認する
停止中に、[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭] を押す。

■すべての予約を取り消す
停止中に [■STOP] を押す。
“PROGRAM CLEAR” が表示され、すべての予約が取り消されます。
MD や SD を取り出しても取り消されます。

お知らせ
●電源を切ったり、他の音源（テープなど）に切り換えてもプログラムモードは保持しています。

2

押す
再生が始まります。

■解除する
停止中に、手順 1 で “PLAY MODE OFF” を選ぶ。
MD や SD を取り出しても解除されます。

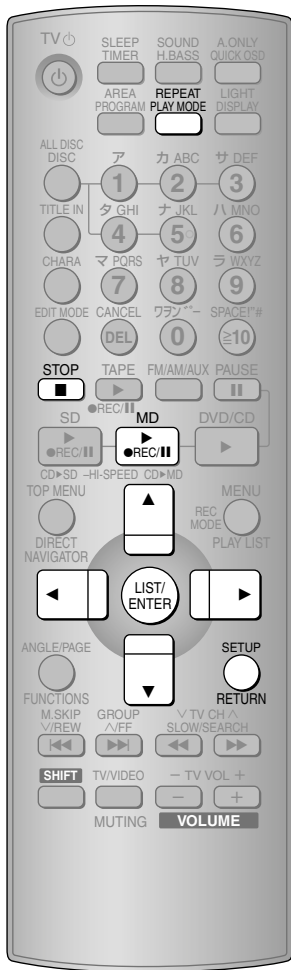
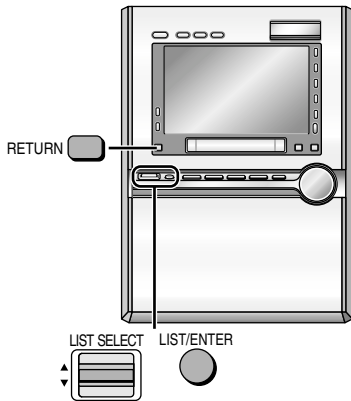
お知らせ
●電源を切ったり、他の音源（テープなど）に切り換えてもランダムモードは保持しています。

■解除する
[SHIFT] ＋ [REPEAT] を同時に押して “REPEAT OFF” を選ぶ。
再生を止めたり、MD や SD を取り出しても解除されます。

■ 好きな曲を選んでくり返す/1 曲だけをくり返す
プログラムプレイ中の再生中（☞ 上記）に、[SHIFT] ＋ [REPEAT] を同時に押す。

■ 順不同にくり返す
ランダムプレイ中の再生中（☞ 上記）に、[SHIFT] ＋ [REPEAT] を同時に押す。

■ グループ全体をくり返す（MDのみ）
1 グループプレイ中の再生中（☞ 32 ページ）に、[SHIFT] ＋ [REPEAT] を同時に押す。

■ プレイリストをくり返す（SDのみ）
リスト表示からプレイリストを再生中（☞ 32 ページ）に、[SHIFT] ＋ [REPEAT] を同時に押す。

リスト表示で曲を探して再生

MD SD

聞きたい曲のタイトルをリストから探して再生できます。

タイトル入力については 58 ページをご覧ください。

1

本体で

LIST/ENTER

リモコンで

停止中に
押す

例）MD のとき（グループがある場合）

GROUP 7— グループ数
1.Group1

お願い

再生中やプログラム/ランダム/1 グループ設定中は、リストを表示できません。設定を解除し、停止中に行ってください。

グループを選んで再生

1 グループプレイ

MD

MD のグループ（連続したの曲の集まり）単位で再生できます。

あらかじめ曲をグループにまとめてください。（54 ページ）

1

REPEAT
PLAY MODE

停止中に
押して“1-GROUP”を選ぶ

GRP
1－GROUP

●選択操作で迷ったときは**「操作メニュー一覧」**（☞ 81 ページ）

2

本体で

❶選び　❷決定

（上下に動かす）

リモコンで

（グループやプレイリストがある場合）

MDのグループやSDのプレイリストを選択

2.Pops
3.Jazz
– Track List –

すべてのトラックタイトルの中から曲を選ぶ場合は "Track List" を選択します。

3

本体で

❶選び　❷決定

LIST SELECT　LIST/ENTER

（上下に動かす）

リモコンで

聞きたい曲（トラック）を選択

Track　16 — 曲数
1.Winter
2.Summer
3.Track 3
4.Track 4

選んだ曲から再生が始まります。

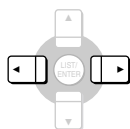
お知らせ

- MDのグループ（連続した曲の集まり）や、SDのプレイリスト（任意の曲の集まり）は、あらかじめ作成しておく必要があります。
  - MDの曲をグループにまとめる（☞ 54ページ）
  - SDのプレイリストを作成する（☞ 56ページ）
- 表示される文字数は1タイトルにつき最大32文字です。

■途中で止める
[■ STOP]を押す。

■停止中に1つ前の表示に戻る
[RETURN]を押す。

■SDのプレイリスト単位で再生する
手順2で聞きたいプレイリストを選択し、手順3で最初のトラックを選択する。

2

好みのグループが表示されるまで

何度か押す

G. 2　T. 11
My Best

グループに付けたタイトル

3

押す

再生が始まります。

■解除する
手順1で"PLAY MODE OFF"を選ぶ。
MDを取り出しても、解除されます。

■グループをとび越す（グループ・スキップ）
停止中に、好みのグループが表示されるまで［◀、▶］を何度か押す。

タイトル入力しておくと曲を探しやすいのよ。
お気に入りの曲はグループやプレイリストにまとめると便利ね。

テープの再生

再生できるテープ

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ（ノーマル ポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ ※（ハイ ポジション）	○
METAL POSITION/TYPE Ⅳ ※（メタル ポジション）	○

※ハイポジションテープまたはメタルポジションテープは、特性を十分にいかすことができませんが、再生することはできます。

1 テープを入れる

2 再生する

音量を調節する

本体で

VOLUME

DOWN　UP

回す

小さくなる　大きくなる

リモコンで

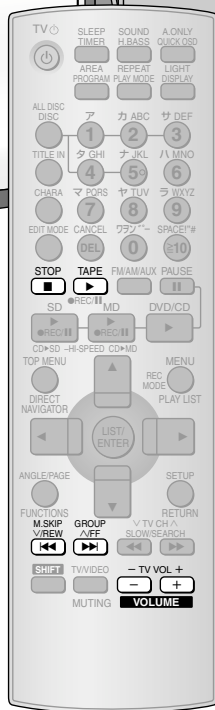
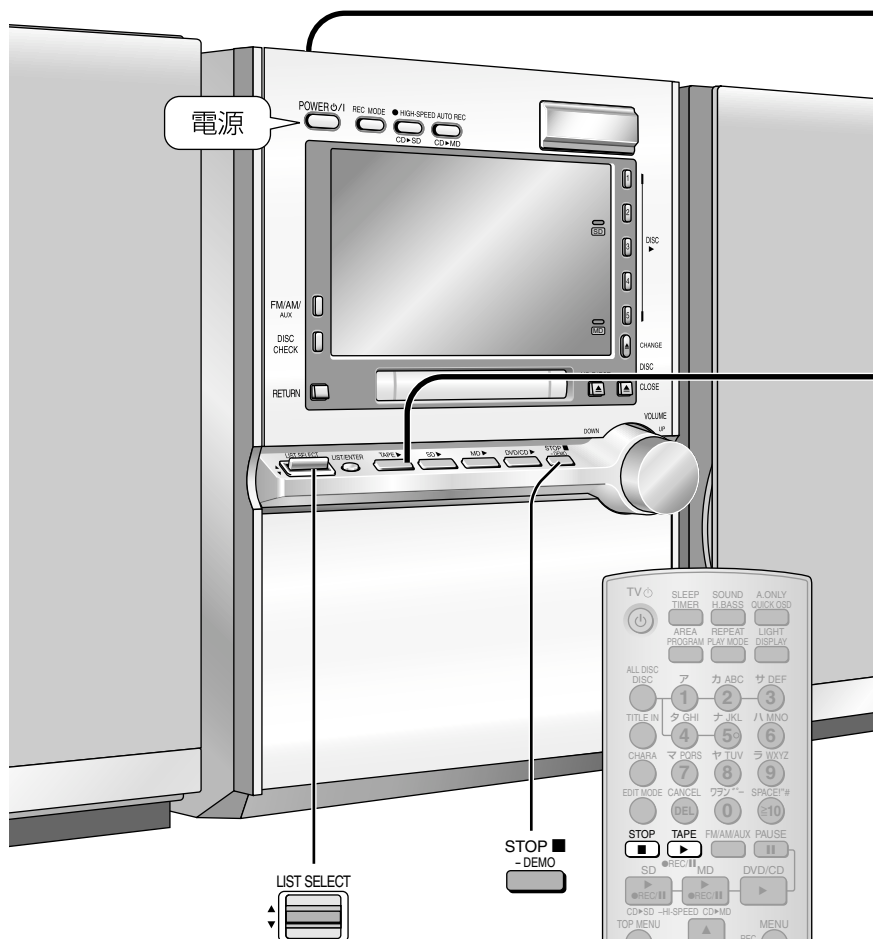
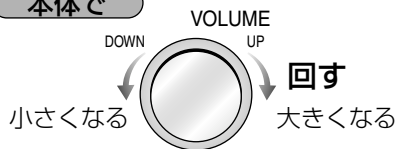
小さくなる　大きくなる

− TV VOL ＋

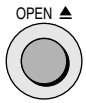
VOLUME

押す

VOLUME 23

0（最小）　50（最大）

上手に使いこなすには、87ページ「テープについて」をお読みください。

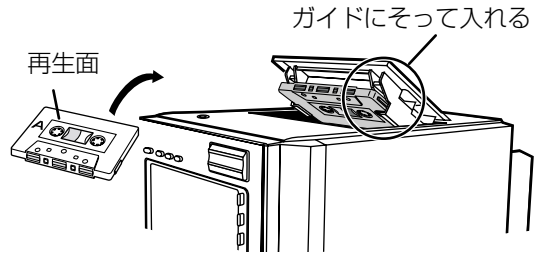
テープのたるみを取る

OPEN ▲

押してホルダーを開け

（電源が入る）

テープを入れる

手でホルダーを閉める

TAPE ▶

押す

再生が始まり、テープ終端で自動停止します。

●電源「切」時にテープが入っているときは、この操作だけで自動的に電源が入り、再生が始まります。（ワンタッチプレイ）

■途中で停止する ➡ 本体で STOP ■ -DEMO 押す

リモコンで STOP ■ 押す

■早送り/巻戻しする ➡

本体で（停止中）

LIST SELECT 上下に動かす

リモコンで（停止中）

M.SKIP ∨/REW ⏮ GROUP ∧/FF ⏭ 押す

■反対面を再生する ➡ （停止中） OPEN ▲ 押す

テープを取り出し、裏返して入れます。

お知らせ

［❚❚ PAUSE］ボタンは、ディスクとMD、SD専用です。テープでは働きません。

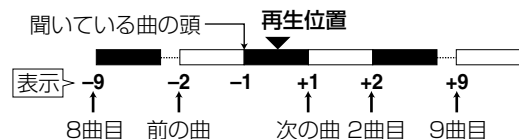
■曲をとび越す（TPS）➡

本体で（再生中）

LIST SELECT 上下に動かす

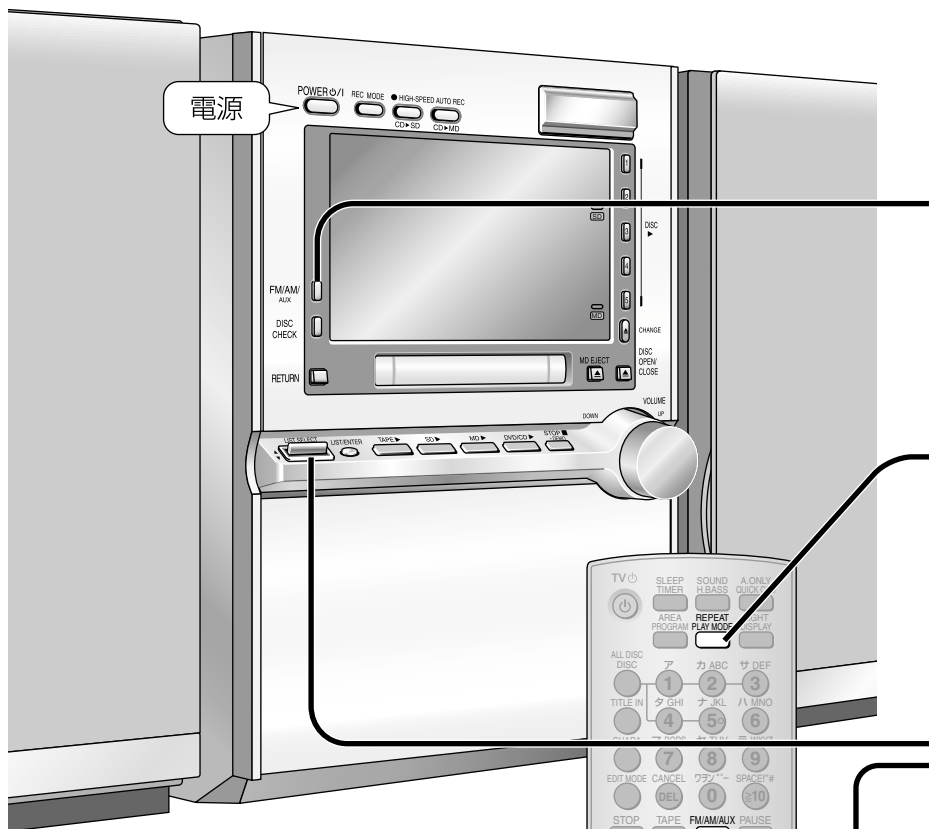
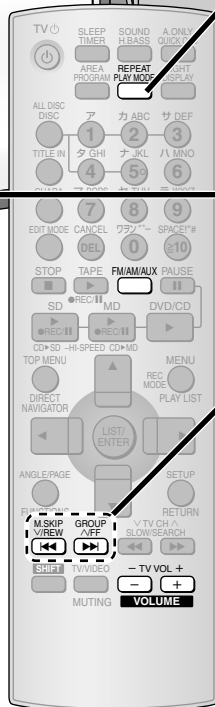
リモコンで（再生中）

M.SKIP ∨/REW ⏮ GROUP ∧/FF ⏭ 数回押す

TPS：Tape Program Sensor（テープ プログラム センサー）-機能
（次曲方向9曲、前曲方向8曲までとび越し可能）

お知らせ

TPSは、曲間の約4秒間の無音部を検出して働くため、以下のような場合、正しく動作しないことがあります。

●曲間が短い
●曲間に雑音がある
●曲中に無音に近い部分がある

ラジオを聞く

音量を調節する

本体で

VOLUME

DOWN　UP

回す

小さくなる　大きくなる

リモコンで

小さくなる　大きくなる

− TV VOL ＋

VOLUME

押す

VOLUME　23

0（最小）　50（最大）

■自動選局する

（オートチューニング）

■FM ステレオ放送で雑音が多いときは

リモコンのみ

お知らせ

- オートチューニング中、周囲に妨害電波があると、受信せずに周波数が止まることがあります。
- 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2 または 3ch に FM 放送が混信することがあります。
- 山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは、屋外アンテナの設置をおすすめします。
- テレビの電源を切ると受信状態がよくなることがあります。

● AM ループアンテナ、FM 簡易型アンテナを接続する。（☞ 6 ページ）
接続しないと、放送局を受信できません。
テレビ音声（1 〜 3 チャンネルのみ）は、FM で受信します。

押して
“FM”または“AM”を選ぶ

押すたびに
FM→AM→AUX

テレビ（1 ch 〜 3 ch）の場合は、“FM”を選びます。

FM
76.0 MHz

●電源「切」時は、自動的に電源が入り、FM または AM を受信します。（ワンタッチプレイ）

リモコンのみ

押して
“MANUAL”を選ぶ

押すたびに
MANUAL→PRESET

本体で　リモコンで

上下に動かして

押して

好みの放送局を受信する

テレビの受信位置は
FM 76.0 ←········ →FM 90.0
TV 3ch ⟷ TV 2ch ⟷ TV 1ch

FMステレオ放送の受信時に点灯

① 周波数が動き始めるまで
押したままにする
② 動き始めたら
指を離す

放送を受信すると、周波数が止まります。
好みの放送局を受信するまで、同じ操作をくり返してください。

REPEAT
PLAY MODE

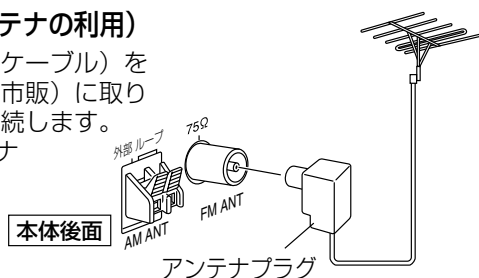
“MONO”と表示するまで
押したままにする

押すたびに
MONO ⇄ STEREO
（通常は “STEREO” にする）

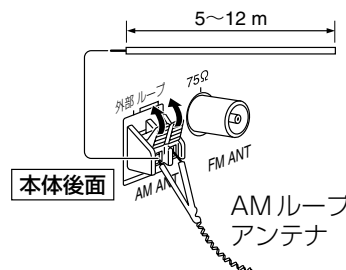
■屋外アンテナの接続

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところでは必要です。

FM（テレビアンテナの利用）

アンテナ線（同軸ケーブル）をアンテナプラグ（市販）に取り付けて、本機に接続します。
FM 簡易型アンテナ（付属）は取り外します。

AM（市販のコードの利用）

窓際などに水平に取り付け、本機に接続します。
AM ループアンテナは取り外さないで、いっしょに接続します。

再生　ラジオを聞く

放送局を記憶させて聞く

放送局をチャンネルに記憶させておくと、簡単な操作で受信できます。(FM/AM 各 15 局まで)

SHIFT ボタンの使いかた
[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

エリアバンク(2005 年 1 月現在)

エリア番号	地域名	エリア番号	地域名
1	札幌	21	大津
2	青森	22	奈良
3	秋田	23	和歌山
4	盛岡	24	大阪圏(大阪、神戸、京都)
5	山形	25	鳥取
6	仙台	26	松江
7	福島	27	広島
8	宇都宮	28	山口
9	水戸	29	高松/岡山
10	前橋	30	徳島
11	東京圏(東京、横浜、千葉、さいたま)	31	松山
		32	高知
12	甲府	33	福岡
13	松本	34	北九州
14	静岡	35	佐賀
15	名古屋圏(名古屋、岐阜)	36	長崎
		37	大分
16	津	38	熊本
17	新潟	39	宮崎
18	富山	40	鹿児島
19	金沢	41	那覇
20	福井		

記憶させる

お住まいの地域の放送局を記憶させる

エリアバンク

エリア番号を指定するだけで、その地域で受信できる主な FM、AM の放送局を一度に記憶できます。

1 SHIFT ＋ AREA PROGRAM

受信中に
同時に押す

好みの放送局をチャンネルに記憶させる

マニュアルメモリー

エリアバンクで記憶させたチャンネルに、上書きすることもできます。

1 M.SKIP ∨/REW ⏮ GROUP ∧/FF ⏭

受信中に
選局する
(☞ 36 ページ)

聞く

記憶させた放送局を聞く

プリセットチューニング

1 FM/AM/AUX

押して
バンドを選ぶ

押すたびに
FM→AM→AUX

2 M.SKIP ∨/REW GROUP ∧/FF

押して
エリア番号（☞ 左下の表）
を選ぶ
（押し続けると連続変化）

エリア番号

AREA 11
トウキョウケン

数字ボタンでも選べます。

3 LIST/ENTER

押す
放送局が各チャンネルに記憶されます。

最初の放送局名　チャンネル

■途中で解除する ➡ STOP ■

2 AREA PROGRAM

押す

PGM –

3 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10

約10秒の"–"点滅中に
押してチャンネルを選ぶ

チャンネル

FM 1

放送局が選んだチャンネルに記憶されます。

続けて記憶させるときは、手順1～3をくり返す

■途中で解除する ➡ AREA PROGRAM

2 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10

押して
チャンネルを選ぶ
選んだチャンネルの放送局を受信します。

チャンネル

FM 1
Inter FM
76.1 MHz

■[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]などでチャンネルを選ぶ
36ページの手順**2**で"PRESET"を選択すると、リモコンの[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]や、本体の［LIST SELECT］でもチャンネルを選ぶことができます。

お知らせ
エリアバンクで記憶させたチャンネルを選ぶと、放送局名が表示されます。

数字ボタンの使いかた

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10

押して
エリア番号やチャンネルを選ぶ

■2ケタ以上を選ぶには
●例）12
≧10→①→②
●例）25
≧10→②→⑤

こんな録音ができます

				MDへ録音	SDへ録音
ディスクから	CDから	すべてのCDをイッキに録音（5CDイッキ録り）	通常録音	×	×
			高速録音	○（50ページ）	○（50ページ）
		1枚のCDを録音	通常録音	○（42ページ）	○（44ページ）
			高速録音	○（42ページ）	○（44ページ）
		すべてのCDを録音	通常録音	○（42ページ）	○（44ページ）
			高速録音	○（42ページ）	○（44ページ）
		好みの曲だけ録音（プログラム録音）	通常録音	○（50ページ）	○（50ページ）
			高速録音	×	×
	CD以外のディスクから DVD-V DVD-A RAM VCD WMA/MP3	CD以外のディスクから録音	通常録音	○※1（42ページ）	○※1（44ページ）
		好みの曲だけ録音（プログラム録音）	通常録音	○※2（50ページ）	○※2（50ページ）
MDから		MDから録音	通常録音	――	○（46ページ）
		好みの曲だけ録音（プログラム録音）	通常録音	――	○（50ページ）
SDから		SDから録音	通常録音	○（46ページ）	――
		好みの曲だけ録音（プログラム録音）	通常録音	○（50ページ）	――
テープから		テープから録音	通常録音	○（46ページ）	○（46ページ）
ラジオから		ラジオから録音	通常録音	○（46ページ）	○（46ページ）
AUX（外部機器）から		ポータブルMDやアナログプレーヤーなどの機器から録音	通常録音	○（74ページ）	○（74ページ）

お知らせ

CD→MD、CD→SD以外の録音は、すべてアナログ録音になります。

※1 DVD-A からMDへの録音はできません。
また、SDへの録音が禁止されているDVD-Aもあります。

※2 RAM からのプログラム録音はできません。

テープへ録音
×
×
○ (48ページ)
×
○ (48ページ)
×
○ (50ページ)
×
○ (48ページ)
○※2 (50ページ)
○ (48ページ)
○ (50ページ)
○ (48ページ)
○ (50ページ)
――
○ (48ページ)
○ (74ページ)

高速録音について

CDからMDへ最大7倍速で、CDからSDへ最大4倍速（LPモード時）で録音します。
ディスクや条件によっては、最大倍速にならない場合や、高速録音できない場合があります。高速録音できない場合は、通常録音してください。

■高速録音には次のような制限があります
本機は、著作権保護を目的としたコピー管理システムを採用しているため、以下の制限があります。
録音終了から約74分経過しないと、同じCDを高速録音できません
録音を途中で止めたときでも、続けて同じCDは高速録音できません。
（通常録音は可能です）
一度に24枚まで録音できます
約74分以内に、それぞれ異なる24枚のCDは高速録音できますが、25枚目の高速録音はできません。
さらに高速録音しようとして、"PLEASE WAIT ○○ MIN."（○○は数字）と表示したときは、○○分待ってから高速録音してください。

お知らせ
- 高速録音は、常に最大倍速になるわけではありません。（CDの内周と外周では速度に差が生じるため）
- 録音開始前に、"READING DATA"が表示されることがあります。これはCDの情報を読み取り中であることを表しています。この表示が消えてから実際の録音が始まります。
- 高速録音時は音声が聞こえません。

お願い

SDカードを保護するために
- SDカードへの録音中にSD挿入部のふたを開けないでください。ふたを開けると、現在行っている動作が停止し、正しく録音できません。

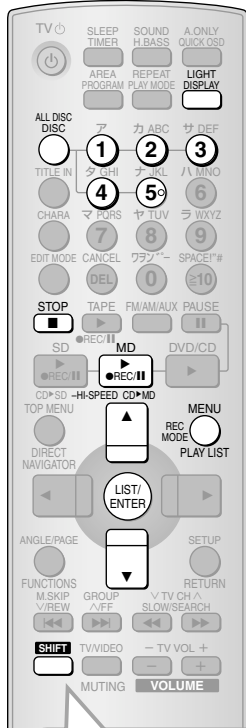
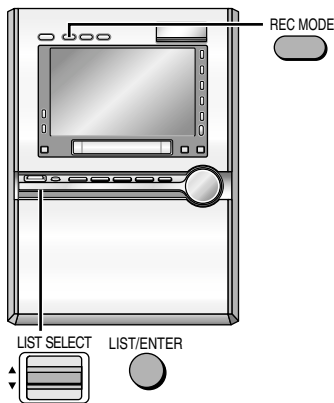
CD、MDからの録音時に誤ってふたを開けてしまったときは
- カードを入れ直し、今回録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は、録音内容を削除し、もう一度録音してください。
- CDの高速録音時には、録音が停止したあと、約74分経過しないと同じCDを高速録音できません。ただし、通常録音はできます。

ラジオからの録音時に誤ってふたを開けてしまったときは
- 録音が停止します。

録音
こんな録音ができます

ディスク(CD/DVD)をMDに録音

お願い **録音中はGUIメニュー（☞78ページ）を操作しないでください。録音が途切れる原因になります。**

準　備
① ディスクと、録音用MDを入れる。（☞15、27ページ）
② [DISC]→数字ボタン（1～5）→[■ STOP]と押して、録音したいディスク（または録音を始めるディスク）を選ぶ。
③ 音声/静止画の混在ディスクを録音するときは、再生コンテンツメニューを表示させ、“オーディオ”を選ぶ。（☞22ページ）

SHIFTボタンの使いかた
[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

DVD-V **RAM** **VCD** **WMA/MP3**
録音はアナログ録音になります。

DVD-V
ディスクによって部分的に、または全体を録音できないものがあります。部分的に録音できない場合は、そこで録音が停止します。録音できる位置までスキップして録音してください。

DVD-A
MDへの録音はできません。SDまたはテープに録音してください。（☞44、48ページ）

■ MDLP（長時間ステレオ録音/再生）について

録音モードと録音可能時間

ディスクの種類＼録音モード	SP	LP2	LP4
74分のMDディスク	74分	148分	296分
80分のMDディスク	80分	160分	320分

- 本機でLP2またはLP4で録音した曲は、MDLPに対応していない機器では再生できません。
- LP4は、特殊な圧縮方式によって長時間のステレオ録音を実現しているため、ごくまれに雑音が録音されることがあります。
  音質を重視して録音するときは、SPまたはLP2で録音してください。
- カーオーディオがMDLPに対応していないときは、SPで録音してください。

1 録音モードを選ぶ

2 録音方法（1枚またはすべて）を選ぶ

3 通常/高速で録音する

■途中で止める

■MDの残り時間が知りたい

上手に使いこなすには、88ページ「MDについて」をお読みください。

① SHIFT + REC MODE (MENU / PLAY LIST)

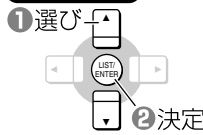
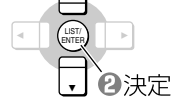
停止中に
同時に押す

MD REC MODE
SD REC MODE

② 10秒以内
❶選び ❷決定

“MD REC MODE”を選択

本体でも操作できます

③ ❶選び ❷決定

録音モードを選択

SP ：通常ステレオ録音
LP2 ：ステレオ長時間（2倍）録音
LP4 ：ステレオ長時間（4倍）録音

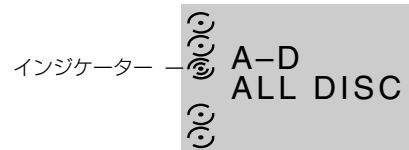
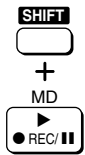
停止中、同時に押して
“1 DISC”または“ALL DISC”を選ぶ

1 DISC ：1枚のディスクを録音
ALL DISC ：すべてのディスクを連続録音
“ALL DISC”は、VCD CD WMA/MP3のみ有効です。

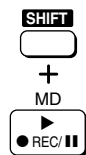
例）ALL DISCの場合

インジケーター

通常録音するとき

SHIFT + MD ▶ ●REC/❚❚

同時に押す
インジケーターが点灯しているディスクの1曲目から録音します。
（ディスクの再生が終わると、MDも自動停止）

高速録音するとき

SHIFT + MD ▶ ●REC/❚❚

同時に押したまま（2秒以上）**にする**
インジケーターが点灯しているディスクの1曲目から高速録音します。
（ディスクの再生が終わると、MDも自動停止）
CDのみ有効です。

●高速録音の制限については、41ページをご覧ください。

➡ STOP ■ 押す

（点滅後に録音完了）

➡ LIGHT DISPLAY 数回押す

MD
–60:04

（録音モードによって残り時間は変わります）

お知らせ

- CDにタイトルを入力（☞58ページ）しているときは、MD側にも曲名（トラックタイトル）が付きます。
- ディスクの一時停止中から録音を始めると、その位置から録音できます。
- ディスク再生中からの録音はできません。
- 録音中は一時停止できません。

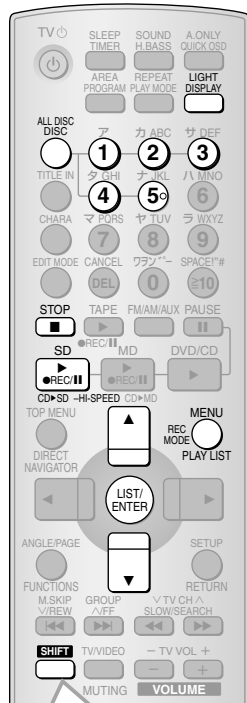
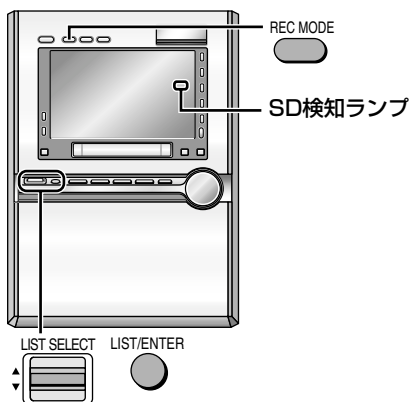
お願い

- ランダム設定中は録音できません。ランダムを解除してから録音してください。
- **“PLEASE WAIT ○○ MIN.”（○○は数字）が表示されたら**（☞41ページ）
○○分経過してから高速録音するか、通常録音してください。

ディスク (CD/DVD) を SD に録音

お願い 録音中は GUI メニュー（☞ 78 ページ）を操作しないでください。録音が途切れる原因になります。

準　備 ① ディスクを入れる。（☞ 15 ページ）
② [DISC]→数字ボタン（1 ～ 5）→[■ STOP]と押して、録音したいディスク（または録音を始めるディスク）を選ぶ。
③ 音声/静止画の混在ディスクを録音するときは、再生コンテンツメニューを表示させ、"オーディオ"を選ぶ。（☞ 22 ページ）

SHIFT ボタンの使いかた
[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

DVD-V DVD-A RAM VCD WMA/MP3
録音はアナログ録音になります。

DVD-V DVD-A
ディスクによって部分的に、または全体を録音できないものがあります。部分的に録音できない場合は、そこで録音が停止します。録音できる位置までスキップして録音してください。

■録音モードについて

録音モードと録音可能時間

カード容量	録音モード		
	XP（高音質）128kbps	SP(標準) 96kbps	LP（長時間）64kbps
32 MB	約 31 分	約 41 分	約 62 分
64 MB	約 64 分	約 85 分	約 128 分
128 MB	約 130 分	約 173 分	約 260 分
256 MB	約 259 分	約 346 分	約 519 分
512 MB	約 523 分	約 698 分	約 1047 分
1 GB	約 1007 分	約 1343 分	約 2014 分

■使用可能な SD メモリーカードについて

本機では以下の容量（8 MB ～ 1 GB まで）の SD メモリーカードが使用できます。
8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB まで
最新情報は http://panasonic.jp/support/audio/mini/でご確認ください。

- SD メモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットを行ってください。（☞ 54 ページ）
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカードに対応しています。

1 SD を入れる

2 録音モードを選ぶ

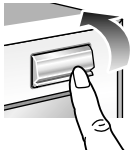
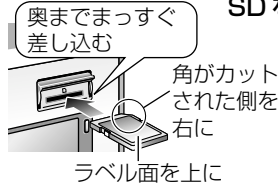
3 録音方法（1 枚またはすべて）を選ぶ

4 通常/高速で録音する

■途中で止める

■SD の残り時間が知りたい

上手に使いこなすには、85 ページ「SD について」をお読みください。

① ふたを開ける

② SD を入れる

③ ふたを閉める

ふたが開いていると、録音ができません。

● mini SD カードの場合、miniSD アダプターが必要です。（☞ 29 ページ）

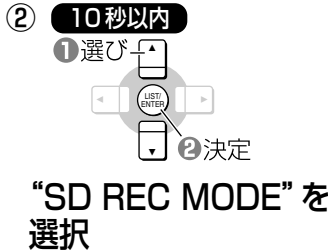
---

①

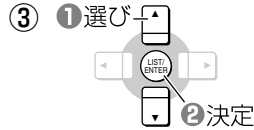
停止中に
同時に押す

MD REC MODE
SD REC MODE

本体でも操作できます

② 10秒以内

“SD REC MODE” を選択

MD REC MODE
SD REC MODE

③

録音モードを選択

SD REC MODE
XP
SP
LP

XP ：高音質で録音
SP ：標準の録音
LP ：長時間で録音

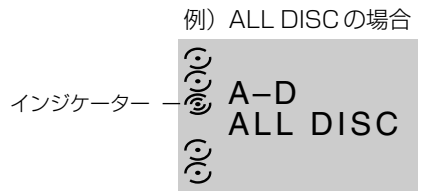
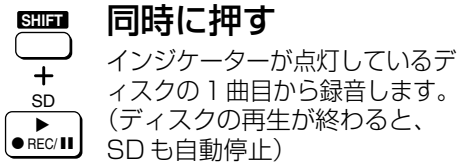
停止中、同時に押して“1 DISC”または“ALL DISC”を選ぶ

1 DISC ：1 枚のディスクを録音
ALL DISC ：すべてのディスクを連続録音

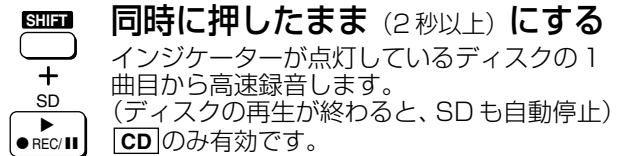
“ALL DISC”は、VCD CD WMA/MP3 のみ有効です。

例）ALL DISC の場合

通常録音するとき

SHIFT + SD ▶ ● REC/❚❚

同時に押す

インジケーターが点灯しているディスクの 1 曲目から録音します。（ディスクの再生が終わると、SD も自動停止）

高速録音するとき

同時に押したまま（2 秒以上）**にする**

インジケーターが点灯しているディスクの 1 曲目から高速録音します。
（ディスクの再生が終わると、SD も自動停止）
CD のみ有効です。

●高速録音の制限については、41 ページをご覧ください。

押す

CARD Writing

（点滅後に録音完了）

数回押す

SD
−60:04

（録音モードによって残り時間は変わります）

お願い

- ランダム設定中は録音できません。ランダムを解除してから録音してください。
- **“PLEASE WAIT ○○ MIN.”（○○は数字）が表示されたら**（☞ 41 ページ）○○分経過してから高速録音するか、通常録音してください。
- 録音中は**絶対に SD 挿入部のふたを開けないで**ください。録音が停止し、正常に録音できません。
- 録音が終わっても、“CARD Writing” 表示中や SD 検知ランプの点滅中は、絶対に SD 挿入部のふたを開けたり、SD を取り出したりしないでください。SD が使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機で SD に録音した場合、AAC で記録されます。
- CD にタイトルを入力（☞ 58 ページ）しているときは、SD 側にも曲名（トラックタイトル）が付きます。
- ディスクの一時停止中から録音を始めると、その位置から録音できます。
- ディスク再生中からの録音はできません。
- 録音中は一時停止できません。

MD や SD に録音（SD/MD/テープ/ラジオから）

準 備 ① 録音用 MD または SD を入れる。（☞ 27、29 ページ）
② 録音モードを選ぶ。（☞ 43、45 ページ）
③ テープを録音するときは、テープを入れる。（☞ 35 ページ）

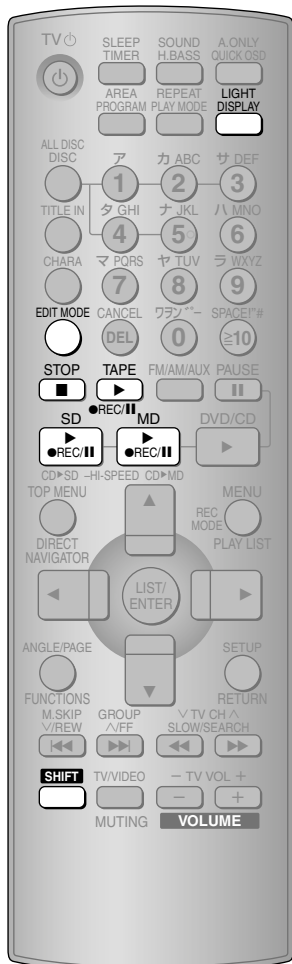
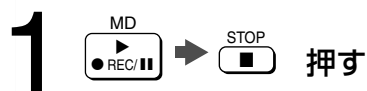
SD を MD に録音

SD→MD

1 SD ▶ ●REC/II ➡ STOP ■ 押す

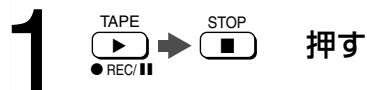
MD を SD に録音

MD→SD

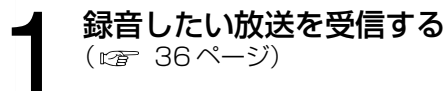
1 MD ▶ ●REC/II ➡ STOP ■ 押す

テープを MD/SD に録音

テープ→MD

テープ→SD

1 TAPE ▶ ●REC/II ➡ STOP ■ 押す

ラジオを MD/SD に録音

ラジオ→MD

ラジオ→SD

1 録音したい放送を受信する
（☞ 36 ページ）

■途中で止める
[■ STOP] を押す。
“UTOC Writing”（MD）または “CARD Writing”（SD）点滅後、録音が完了します。

■ MD/SD の残り時間が知りたい
[DISPLAY] を数回押す。

SHIFT ボタンの使いかた
[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

2 SHIFT ＋ MD ▶ ● REC/❚❚

同時に押す
録音が始まります。

お知らせ
トラックタイトルもコピーされます。

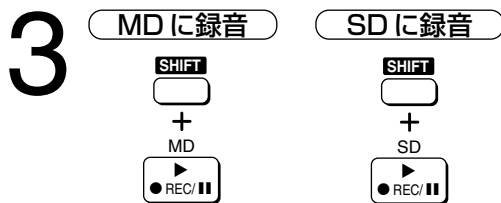
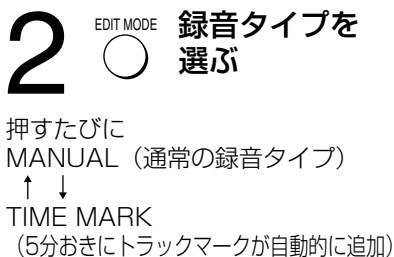
2

同時に押す
録音が始まります。

お知らせ
トラックタイトルもコピーされます。
（99 曲分のみ）

2

録音タイプを選ぶ

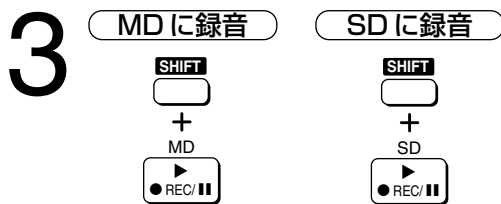
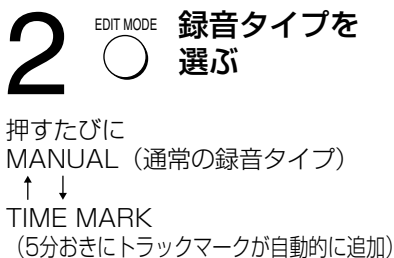
押すたびに
MANUAL（通常の録音タイプ）
↑ ↓
TIME MARK
（5分おきにトラックマークが自動的に追加）

同時に押す
録音が始まります。

●テープ終端で自動停止します。続けてうら面を録音するときはテープをうら返して録音してください。

2

録音タイプを選ぶ

押すたびに
MANUAL（通常の録音タイプ）
↑ ↓
TIME MARK
（5分おきにトラックマークが自動的に追加）

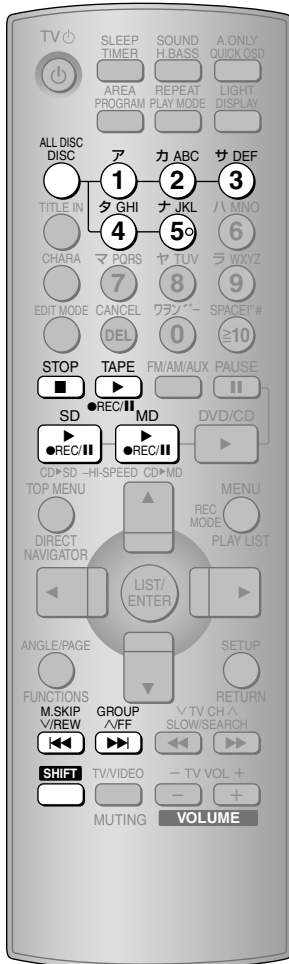
3

同時に押す
録音が始まります。

■一時停止する
テープまたはラジオからの録音中に、[SHIFT] ＋ [▶MD] または [SHIFT] ＋ [▶SD] を同時に押す。
録音側は一時停止し、再生側は再生を続けます。
再開するには、再度押す。（トラックマークが付きます）
●MD/SD からの録音中は、一時停止できません。

■トラックマーク（曲の切れ目）を付ける
テープ、ラジオを録音中に、好みの位置で [EDIT MODE] を押す。
“TR MARKING” と表示され、トラックマークが付きます。
●SD では、トラックマークを付ける（曲を分ける）と、元に戻すことはできません。

お願い
MD、SD のランダム設定中は録音できません。ランダムを解除してから録音してください。

ディスク/MD/SD/ラジオをテープに録音

準　備　① 録音用テープを入れる。（☞ 35 ページ）
② ディスクを録音するときは、ディスクを入れる。（☞ 15 ページ）
③ MD を録音するときは、MD を入れる。（☞ 27 ページ）
④ SD を録音するときは、SD を入れる。（☞ 29 ページ）

ディスクを テープに録音

ディスク→テープ

1 ALL DISC DISC　押して録音したい ディスクを選び

10秒以内 ① ② ③ ④ ⑤

STOP ■　押して 再生を停止

MD を テープに録音

MD →テープ

1 MD ▶ ● REC/⏸　押す

STOP ■

SD を テープに録音

SD →テープ

1 SD ▶ ● REC/⏸　押す

STOP ■

ラジオを テープに録音

ラジオ→テープ

1 録音したい 放送を受信する （☞ 36 ページ）

TUNED　STEREO
88.1 MHz

■途中で止める
[■ STOP] を押す。

■一時停止する
ラジオからの録音中に [SHIFT] ＋ [▶TAPE] を同時に押す。
テープは一時停止し、再生側は再生を続けます。
再開するには、再度押す。
●ディスク/MD/SD からの録音中は、一時停止できません。

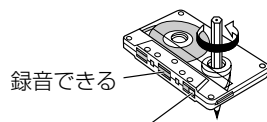
SHIFT ボタンの使いかた
[SHIFT]を押しながら、他の ボタンを押します。

確　認

録音できるテープ

NORMAL POSITION/TYPE Ⅰ	○
HIGH POSITION/TYPE Ⅱ	×
METAL POSITION/TYPE Ⅳ	×

ハイポジションテープまたはメタルポジションテープを使うと、本機では正しく録音・消去できません。

リーダーテープ部を巻き取る

録音できる

録音できない（リーダーテープ部）

---

2 SHIFT ＋ ALL DISC DISC

停止中、同時に押して

“1 DISC”または“ALL DISC”を選ぶ

1 DISC　：1 枚のディスクを録音

ALL DISC：すべてのディスクを連続録音

“ALL DISC”は、VCD CD WMA/MP3のみ有効です。

3

同時に押す

インジケーターが点灯しているディスクの 1 曲目から録音します。

（ディスクの再生が終わると、テープも自動停止）

お知らせ

- ディスクの一時停止中から録音を始めると、その位置から録音できます。
- ディスク再生中からの録音はできません。
- ディスクからの録音時には、マルチ　リ.マスター、アドバンストサラウンド効果は自動的に「切」になります。

2

同時に押す

MD の 1 曲目から録音します。

2

同時に押す

SD の 1 曲目から録音します。

2

同時に押す

録音が始まります。

お知らせ

- テープ終端まで録音すると、テープは自動停止します。続けて録音するときは、テープを裏返して録音してください。ディスク/SD/MD の続きから録音するときは、[◀◀ ∨/REW、∧/FF ▶▶]で頭出しをしてから録音を始めます。

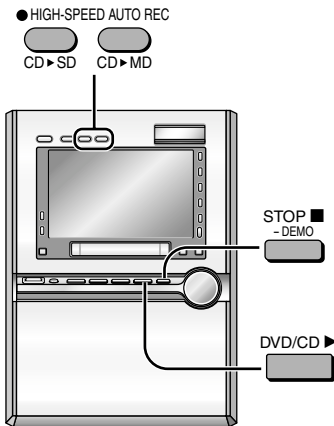
お願い

- ディスクや MD、SD のランダム設定中は録音できません。ランダムを解除してから録音してください。

5CD イッキ録り CD 専用 ／好みの

イッキ録り

ディスク 1 から順に、本機に入っている CD をすべて高速録音します。

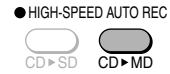
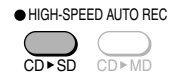
準備
① CD と、録音用 MD または SD を入れる。(☞ 15、27、29 ページ)
② 録音モードを選ぶ。(☞ 43、45 ページ)
③ [DVD/CD ▶] を押してセレクターを "DISC" にし、[STOP ■] を押す。

MD に イッキ録り

CD → MD

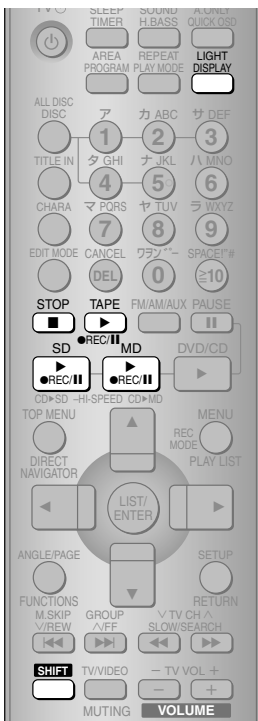
停止中に
押す

SD に イッキ録り

CD → SD

●HIGH-SPEED AUTO REC

CD▶SD CD▶MD

停止中に
押す

好みの曲を選んで録音（プログラム録音）

プログラムプレイや 1 グループプレイ（MD）、リスト表示（SD）を使って、お好きな曲だけを選んで録音できます。（高速録音はできません）

ディスクから

ディスク→MD
ディスク→SD
ディスク→テープ

1 好みの曲を予約する
「プログラムプレイ」（☞ 18 ページ）の手順 1 ～ 2

DVD-V VCD CD WMA/MP3 DVD-A

MD から

MD → SD
MD →テープ

1 好みの曲を予約する
「プログラムプレイ」（☞ 30 ページ）の手順 1 ～ 2

SD から

SD → MD
SD →テープ

1 好みの曲を予約する
「プログラムプレイ」（☞ 30 ページ）の手順 1 ～ 2

SHIFT ボタンの使いかた
[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

曲を選んで録音（プログラム録音）

例）MDにイッキ録りの場合

CHECK CD（CDをチェック中）

READING DATA（CDの情報を読み込み中）

（録音開始）

- 全曲でなく、途中までしか録音できないときは、録音できる範囲を表示します。（約６秒間）
  例）“DISC 5 TRACK10 マデロクオンカノウ”
  これは、ディスク５の１０曲目まで録音可能なことを表しています。
  表示中に [STOP ■] を押すと、イッキ録りを解除できます。録音モードを選び直すことで、全曲録音できる場合があります。
- **“CHANGE” と表示したら**
  ディスク交換しています。
- **“REC RETRY” と表示したら**
  ディスク情報をうまく読み取れなかったので、自動的に録音し直しています。表示中はボタン操作をしないでください。

■途中で止める

[STOP ■] を押す。
“UTOC Writing”（MD）または“CARD Writing”（SD）点滅後、録音が完了します。

お知らせ

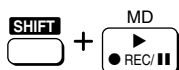
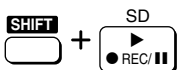
- 各 CD が１つのグループまたはプレイリストとして録音されます。（MD の場合、UTOC エリアに空きがないときはグループになりません。）
- CD にタイトルを入力（☞ 58 ページ）しているときは、MD や SD にもタイトル情報がコピーされます。

お願い

- **“PLEASE WAIT ○○ MIN.”（○○は数字）が表示されたら**（☞ 41 ページ）
  ○○分経過してからイッキ録りしてください。

イッキ録りは、
録音前に何枚入るかわかるし、
CDごとにグループや
プレイリストに
まとめてくれるから
使いやすい

2

MD に録音

SD に録音

テープに録音

同時に押す
録音が始まります。

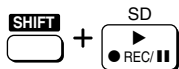
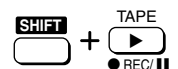
お知らせ

DVD-A から MD への録音はできません。

2

SD に録音

テープに録音

SHIFT + TAPE ▶ ● REC/❚❚

同時に押す
録音が始まります。

■好みのグループだけを録音する

左記手順１のかわりに、「1 グループプレイ」（☞ 32 ページ）の手順１～２でグループを選択する。

2

MD に録音

テープに録音

SHIFT + TAPE ▶ ● REC/❚❚

同時に押す
録音が始まります。

■好みのプレイリストを録音する

左記手順１のかわりに、リスト表示（☞ 32 ページ）の手順１～２でプレイリストを選択する。

■途中で止める

[■ STOP] を押す。

■ MD/SD の残り時間が知りたい

[DISPLAY] を数回押す。

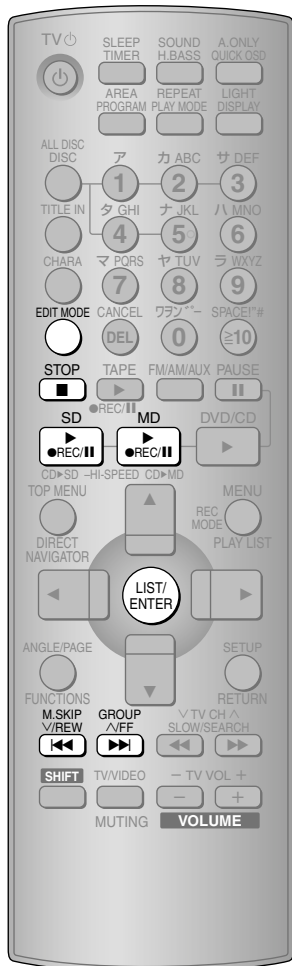
お願い

テープへの録音は片面ずつになります。テープ片面に収まるようにプログラム予約してください。

MD/SD の編集

曲順を入れ替えたり、不要な部分を削除したりして、自分だけのオリジナル MD や SD が作れます。(再生専用 MD は編集できません)

曲をグループ（☞ 54 ページ）にしている MD や、プレイリストを作成している SD（☞ 56 ページ）を編集すると、編集内容に応じてグループ/プレイリスト管理情報も更新されます。

準　備　①編集する MD または SD を入れる。
②MD を編集するときは［▶MD］を押してセレクターを“MD”にし、［■ STOP］を押す。
③SD を編集するときは［▶SD］を押してセレクターを“SD”にし、［■ STOP］を押す。

■途中で解除する ➡

お願い

プログラム/ランダム/1 グループ設定中やリスト表示中、SD のプレイリスト再生中は、MD/SD の編集ができません。各設定を解除して行ってください。

曲を消す

イレース

MD SD

1 EDIT MODE 停止中に押して

“TRACK ERASE?”（1 曲〜数曲消すとき）または “ALL ERASE?”（全曲消すとき）を選び

押す

曲を分ける

ディバイド

MD

1 EDIT MODE 分ける曲を再生中に押して

“DIVIDE?” を選ぶ

曲をつなぐ

コンバイン

MD

1 EDIT MODE 停止中に押して

“COMBINE?” を選び

押す

曲を移動する

ムーブ

MD SD

1
EDIT MODE 停止中に押して “MOVE?” を選び

押す

●選択操作で迷ったときは「**操作メニュー一覧**」（☞ 81 ページ）

2 1 曲～数曲消すとき

M.SKIP ∨/REW　GROUP ∧/FF ➡ LIST/ENTER

❶選び　❷決定

消す曲を選択

一度に 24 曲まで選択できます。
（超えると“SELECT OVER”と表示）

3 LIST/ENTER **押す**

- “UTOC Writing”（MD）または“CARD Writing”（SD）点滅後、編集が完了します。
- 全曲を消した後は“BLANK DISC”（MD）または“NO TRACK”（SD）が表示されます。

お知らせ

- 再生中の 1 曲を消すこともできます。
- SD のオールイレースは、SD オーディオのファイルだけをすべて消去します。
- SD では、一度に消去する曲数が多い場合や、消す曲が多数のプレイリストに登録されている場合、編集に時間がかかることがあります。

2

分けるおおよその位置で
押す

押した位置からの約 4 秒間が、くり返し再生されます。

3 M.SKIP ∨/REW　GROUP ∧/FF

押して
位置を調節する

POSITION +006?

調整範囲
SP　：前後約 8 秒間
LP2　：前後約 16 秒間
LP4　：前後約 32 秒間
数値は－128 から＋127 の範囲で表示されます。

4 **押す**

“UTOC Writing”点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが 1 つ増えます）

---

2 ➡ LIST/ENTER

❶選び　❷決定

つなぎたい
連続した曲の組み合わせを選択

3 **押す**

“UTOC Writing”点滅後、編集が完了します。
（トラックマークが 1 つ減ります）

お知らせ

- つなぎたい後ろの曲を再生してコンバインすることもできます。
- 異なる録音モード（SP/LP2/LP4/長時間モノラル）で録音された曲はつなげません。

---

2 ➡ LIST/ENTER

❶選び　❷決定

① **移動する曲を選択**
② **移動先を選択**

PRESS ENTER
1 → 4

“MOVE”と“PRESS ENTER”を交互に表示。

3 **押す**

“UTOC Writing”（MD）または“CARD Writing”（SD）点滅後、編集が完了します。

お知らせ

再生中の曲を移動することもできます。

編集

MD／SD の編集

MD/SD の編集（つづき）

準 備 ①編集する MD または SD を入れる。
②MD を編集するときは［▶MD］を押してセレクターを“MD”にし、［■ STOP］を押す。
③SD を編集するときは［▶SD］を押してセレクターを“SD”にし、［■ STOP］を押す。

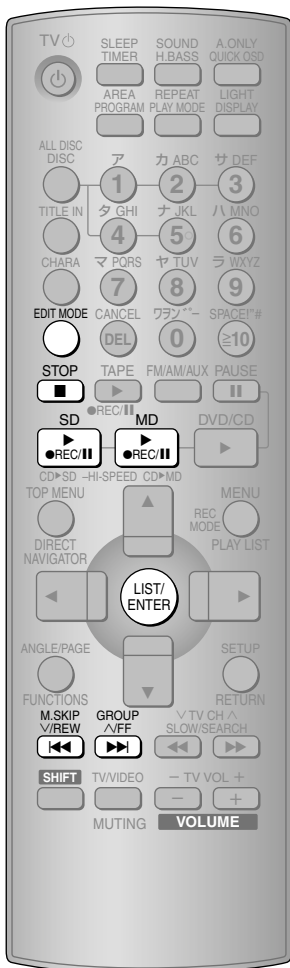
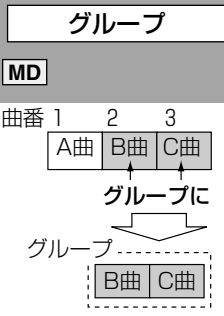
■途中で解除する ➡ STOP

お願い

プログラム/ランダム/1 グループ設定中やリスト表示中は、MD/SD の編集ができません。各設定を解除して行ってください。

曲をグループにまとめる

グループ

MD

連続した複数の曲を 1 つのグループとして管理できます。
最大 99 グループまで作れます。

1 EDIT MODE 停止中に押して

“GROUP EDIT?” を選び

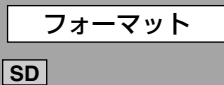
押す

4 グループタイトルを入力する
(☞ 62 ページ)

■グループタイトルを変更する
① 手順 1 の後、［◀◀ ∨/REW、∧/FF ▶▶|］で“TITLE INPUT?”を選び、［LIST/ENTER］を押す。
② ［◀◀ ∨/REW、∧/FF ▶▶|］でグループを選び、［LIST/ENTER］を押す。
③ タイトルを入力する。
(☞ 62 ページ)
④ ［LIST/ENTER］を押す。
“UTOC Writing”の点滅後、名前が変更。

SD を初期化する

フォーマット

SD

1 EDIT MODE 停止中に押して

“CARD FORMAT?” を選ぶ

2 M.SKIP ∨/REW [⏮] GROUP ∧/FF [⏭] ➡ LIST/ENTER
❶選び ❷決定

“GROUP SET?”を選択

3 M.SKIP ∨/REW [⏮] GROUP ∧/FF [⏭] ➡ LIST/ENTER
❶選び ❷決定

① グループ先頭の曲番を選択
② グループ最後の曲番を選択

GROUP SETTING
3 → 5?

---

5 **押す**

“UTOC Writing”の点滅後、グループ化が完了します。

■グループの曲を聞くには
「1 グループプレイ」（☞ 32 ページ）

■ひとつのグループを解除する
① 手順 **1** の後、[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭] で“RELEASE?”を選び、[LIST/ENTER] を押す。
② [⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭] で解除するグループを選び、[LIST/ENTER] を押す。
③ [LIST/ENTER] を押す。“UTOC Writing”の点滅後、選んだグループが解除。

■全グループを解除する
① 手順 **1** の後、[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭] で“ALL RELEASE?”を選び、[LIST/ENTER] を押す。
② [LIST/ENTER] を押す。“UTOC Writing”の点滅後、すべてのグループが解除。

お知らせ
- グループ化できるのは、連続した曲（例：3 曲目〜9 曲目）のみです。「3 曲目と 7 曲目と 9 曲目」のように曲が離れている場合は、グループにできません。
- 1 曲だけでもグループにできます。
- 同じ曲を複数のグループに入れることはできません。
- グループの順番は編集した順番ではなく、曲番の小さい順になります。

---

2 **押す**

PRESS ENTER

“FORMAT OK?”と“PRESS ENTER”を交互に表示。

3 **押す**

- “CARD Writing”点滅後、初期化が完了します。
- **“NO TRACK”が表示されるまで SD 挿入部のふたを開けないでください。SD が使えなくなることがあります。**

お知らせ
- フォーマットすると、本機で録音したデータだけでなく、SD に記録されたすべてのデータが消去されます。
- 本機でフォーマットした場合、他の機器で使えないことがあります。
- SD カードの種類によっては、フォーマットに時間がかかることがあります。

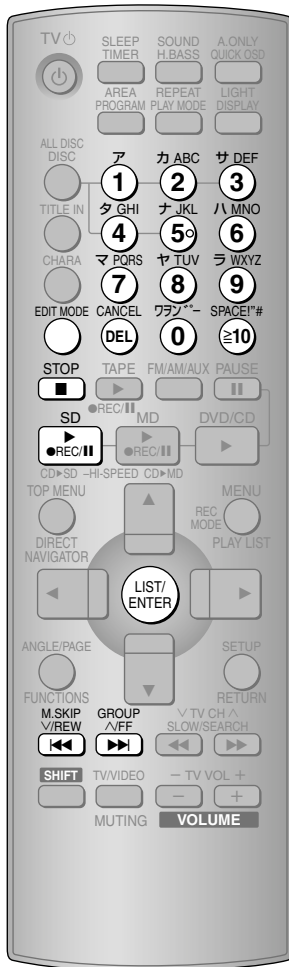
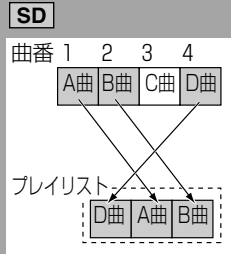
SD のプレイリストを作成

プレイリストとは
録音した曲（トラック）を集めて、再生したい順に並べたものです。

- プレイリストは再生順を登録するだけなので、カードの容量はほとんど使いません。
- プレイリストのトラックを消したり、新たに作成しても、元のトラックには影響しません。

準　備　①SD を入れる。
②［▶SD］を押してセレクターを“SD”にし、［■ STOP］を押す。

プレイリストを作成する

SD

最大 99 のプレイリストが作れます。

1 停止中に押して

“PLAYLIST?” を選び

 押す

4 押す

■プレイリストの内容を変更する

① 上記手順 1 の後、[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]で“PL EDIT?”を選び、[LIST/ENTER]を押す。
② [⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]で変更するプレイリストを選び、[LIST/ENTER]を押す。
③ **曲を追加：**[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]で追加する位置を選び、数字ボタンで曲を登録する。
曲を削除：[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]で曲を選び、[DEL]を押す。
④ [LIST/ENTER]を押す。
“CARD Writing”点滅後、完了。

■途中で解除する ➡

お願い
プログラム/ランダム設定中やリスト表示中は、プレイリスト の作成や変更ができません。各設定を解除して行ってください。

数字ボタンで 2 ケタ以上を選ぶには

例）**2 ケタ**：25
≧10 → 2 → 5

例）**3 ケタ**：125
≧10 → ≧10 → 1 → 2 → 5

2

M.SKIP ∨/REW ⏮ GROUP ∧/FF ⏭ ➡ LIST/ENTER

❶選び ❷決定

“PL CREATE?” を選択

3

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⓪ ≧10

押して 曲番を選ぶ

数字ボタンで２ケタ以上を選ぶには（☞ 左ページ下）

99 曲まで登録できます。（超えると“SELECT OVER”と表示）

[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]で登録内容を確認できます。

この操作をくり返し、曲を登録する

5

プレイリスト タイトルを入力する（☞ 62ページ）

6

押す

“CARD Writing”の点滅後、プレイリスト作成が完了します。

■プレイリストの曲を聞くには

リスト表示（☞ 32 ページ）で、聞きたいプレイリストを選ぶ。

■プレイリストタイトルを変更する

① 上記手順 1 の後、[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]で“PL TITLE?”を選び、[LIST/ENTER]を押す。
② [⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]でプレイリストを選び、[LIST/ENTER]を押す。
③ タイトルを入力する。（☞ 62 ページ）
④ [LIST/ENTER]を押す。“CARD Writing”点滅後、完了。

■プレイリストを削除する

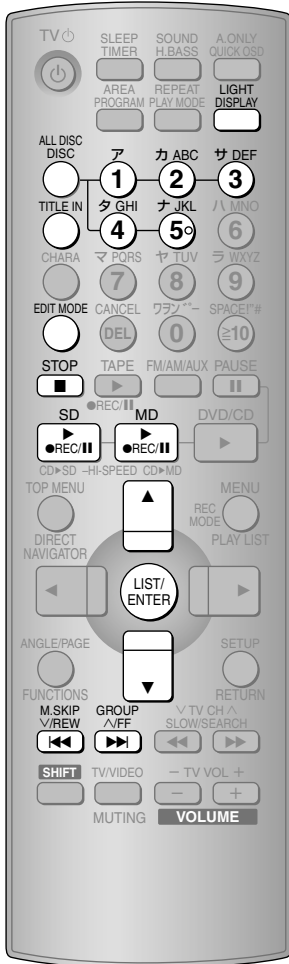
① 上記手順 1 の後、[⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]で“PL ERASE?”を選び、[LIST/ENTER]を押す。
② [⏮ ∨/REW、∧/FF ⏭]でプレイリストを選び、[LIST/ENTER]を押す。
③ [LIST/ENTER]を押す。“CARD Writing”点滅後、完了。

お知らせ

- 最大 99 のプレイリストが作成できます。
- 1 曲だけでもプレイリストにできます。
- 同じ曲を複数のプレイリストに登録できます。
- 作成済みのプレイリストから全曲を削除すると、プレイリストそのものが削除されます。
- プレイリストから曲を削除しても、元の曲がなくなるわけではありません。

歌手別、ジャンル別、
お気に入り曲集…
いろいろ作ってみてね。

CD/MD/SD にタイトル入力

準　備　① タイトルを付ける CD や MD、SD を入れる。
②CD にタイトル入力するときは[DISC]→数字ボタン（1 ～ 5）→[■ STOP]→[■ STOP]と押してディスクを選ぶ。（“RESUME”表示は消しておきます）
③MD にタイトル入力するときは［▶MD］を押してセレクターを“MD”にし、［■ STOP］を押す。
④SD にタイトル入力するときは［▶SD］を押してセレクターを“SD”にし、［■ STOP］を押す。

■途中で解除する ➡ TITLE IN

ただし、すでに［LIST/ENTER］を押して確定したタイトルは記録されています。
もう一度［TITLE IN］を押すと、最初からタイトル入力/修正が可能です。

お知らせ

他の機器で漢字、ひらがなのタイトル入力をしている MD や SD をさらに本機でタイトル入力すると、他の機器で正しくタイトル表示されないことがあります。

お願い

- プログラム/ランダム/1 グループ設定中やリスト表示中は、タイトル入力できません。各設定を解除して行ってください。
- 漢字でのタイトル入力はできません。

CD や録音済み MD/SD にタイトル入力

CD
ディスクタイトル
アーティスト名
トラックタイトル

MD
ディスクタイトル
トラックタイトル

SD
トラックタイトル
アーティスト名

1 TITLE IN **停止中に押す**

例）CD または MD のとき

DISC TITLE

4 **タイトルを入力する**
（☞ 62 ページ）

CD MD は手順 **6** へ
SD は手順 **5** へ

■ CD のタイトルについて

CD タイトルメモリー

- **入力した CD タイトルは本機でのみ表示されます。**
  CD のタイトル情報は、ディスクではなく本機に記憶されています。
- 各タイトルごとに最大 32 文字まで入力できます。
- CD1 枚につき最大 25 曲分のタイトルが記憶できます。
- 本機では、最大 100 枚分の CD のタイトル情報を記憶できます。
  100 枚を超えてタイトル入力しようとすると、“MEMORY FULL”と表示されます。このときは、不要になった CD のタイトルを消してください（☞ 右記）。
- CD のタイトル情報は、MD/SD への録音時にコピーされます。

タイトルの種類について

タイトルの付きかた	CD	MD	SD
ディスク/MDに付く	ディスクタイトル アーティスト名	ディスクタイトル	×
トラックに付く	トラックタイトル	トラックタイトル	トラックタイトル アーティスト名
グループに付く	×	グループタイトル	×
プレイリストに付く	×	×	プレイリストタイトル（☞57ページ）

2

M.SKIP ∨/REW ⏮ GROUP ∧/FF ⏭

押して
タイトルの種類や曲番を選ぶ

■ディスクタイトル CD MD

DISC TITLE

■アーティスト名 CD

ARTIST NAME

■トラックタイトル CD MD SD

例）MDのとき

曲番

3

LIST/ENTER **押す**

■ <ア>

（タイトル入力画面）

5

SDのみ

押す
“CARD Writing”が表示。

アーティスト名を入力する
（☞ 62ページ）

6

押す

“UTOC Writing”（MD）、“CARD Writing”（SD）または“TITLE WRITE”（CD）の点滅後、タイトル入力が完了。

■続けてタイトルを入力するとき
手順**2**から行う。

■タイトル入力を終えるとき
［TITLE IN］を押す。
タイトル入力が終わります。

■入力したアーティスト名などを確認するには
CD停止中に、[DISPLAY]を数回押す。

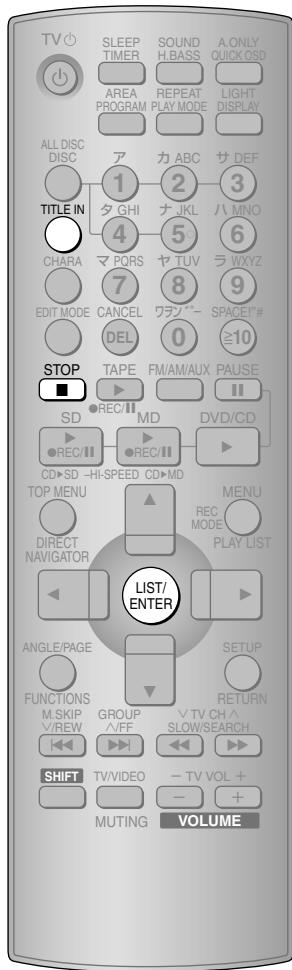
■CDのタイトルを消すには
① CD停止中に[EDIT MODE]を押し（“TITLE ERASE?”が表示）、[LIST/ENTER]を押す。
② [▲、▼]で消したいCDのディスクタイトルを選ぶ。トレイに入っていないCDのタイトルも表示されます。
③ [LIST/ENTER]を押す。（“TITLE ERASE?”と“PRESS ENTER”が交互に表示）
④ [LIST/ENTER]を押す。
“COMPLETE”が表示され、タイトルが消去されます。
続けてタイトルを消すときは、[LIST/ENTER]を押して手順②から行う。
操作を終えるには[■STOP]を押す。

■MDのタイトルについて

- MD1枚に最大約1700文字（カナ文字では約半分の文字数）、各タイトルごとに最大約100文字まで入力できます。
- LP2/LP4で録音したり、グループの設定をすると、入力できる文字数は減ります。
- 再生専用MDや未録音のMD（BLANK DISC）には、タイトル入力できません。

■SDのタイトルについて

- 各タイトルごとに、最大約32文字まで入力できます。
- 未録音のSDには、タイトル入力できません。

CD/MD/SD にタイトル入力（つづき）

イッキ録り中にタイトル入力

MD

グループタイトル
トラックタイトル

イッキ録りしながら、CD1 枚分のタイトルが付けられます。

1 TITLE IN **イッキ録り中に押す**

グループタイトル入力画面になります。

録音中または再生中にタイトル入力

MD

トラックタイトル

1 TITLE IN **録音中または再生中に押す**

トラックタイトル入力画面になります。

■途中で解除する ➡ TITLE IN

ただし、すでに［LIST/ENTER］を押して確定したタイトルは記録されています。
もう一度［TITLE IN］を押すと、最初からタイトル入力/修正が可能です。

お願い

- MD のプログラム/ランダム/1 グループ設定中は、タイトル入力できません。各設定を解除して行ってください。
- SD のイッキ録り中や、録音中、再生中はタイトル入力できません。停止中に行ってください。（☞ 58 ページ）
- 漢字でのタイトル入力はできません。

お知らせ

入力途中で録音/再生が終わった場合、入力モードは解除されます。ただし、すでに［LIST/ENTER］を押して確定したタイトルは記録されています。

2 **グループタイトルを入力し**（☞ 62 ページ）

↓

押す

トラックタイトル入力画面になります。

3 **トラックタイトルを入力する**
（☞ 62 ページ）

4 LIST/ENTER **押す**

●次のトラックタイトル入力画面になります。
●次にトラックがないときは、タイトル入力が完了。

お知らせ

● タイトル入力している CD からのイッキ録り時には、自動的に MD にもタイトルが付きます。（手動では付けられません）
● 入力しないタイトルは、［LIST/ENTER］でスキップできます。
● イッキ録りした後に、グループタイトルを付けるには（☞ 「グループタイトルを変更する」54 ページ）

---

2 **トラックタイトルを入力する**
（☞ 62 ページ）

3 LIST/ENTER **押す**

タイトル入力が完了。

お知らせ

● タイトル入力している CD や、SD からの録音時には、自動的に MD にもトラックタイトルが付きます。（手動では付けられません）
● 再生中にタイトルを付けた後、タイトル入力以外の編集（☞ 52 ページ）はできません。［■ STOP］を押して“UTOC Writing”を点滅させた後に編集してください。

文字入力のしかた

準　備　**タイトル入力画面**（☞ 54、57、58、61 ページ）にした後、文字を入力します。

1 CHARA 押して 文字の種類を選ぶ

押すたびに

カタカナ<ア>→英大<Ａ>→英小<ａ>→数字<１>

続けて同じ種類の文字を入力するときは、この操作は不要です。

2 押して 文字を選ぶ

選んだ文字が表示されます。

ΞAΞ　　<A>

3 押す

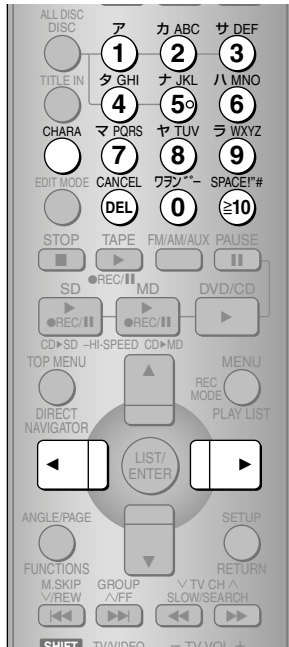
●選んだ文字が確定し、次の文字が選べる状態になります。

●次に入力する文字が、他のボタンに割り当てられている場合、この操作は不要です。

■入力済みの文字を変更する

押して変更する文字にカーソルを合わせ、次の操作をします。

●**文字を削除するときは** ➡ CANCEL DEL

●**文字を訂正するときは** ➡ CANCEL DEL 押して文字を削除し、正しい文字を入力する。

文字の種類と各ボタンに割り当てられた文字

	カタカナ <ア>	アルファベット 大文字 <Ａ>	アルファベット 小文字 <ａ>	数字 <１>
ア 1	アイウエオ ァィゥェォ			1
カABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サDEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タGHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナJKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハMNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マPQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤTUV 8	ヤユヨ ャュョ	TUV	tuv	8
ラWXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン゛゜ー 0	ワヲンー 。「」、・			0

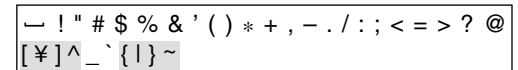
（　部分は SD のみ使用可能です。）

■ 濁点などを入力する ➡ ワヲン゛゜ー 0 数回押す

濁点（゛）や半濁点（゜）は、表記可能なカタカナの後ろにだけ入力できます。

■記号を入力する ➡ SPACE !"# ≧10

押すたびに次の順序で記号が現れます。

␣ ! " # $ % & ' ( ) ＊ + , − . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ ` { | } ~

（␣ は空白です。　部分は SD のみ使用可能です。）

■文字や空白を挿入する

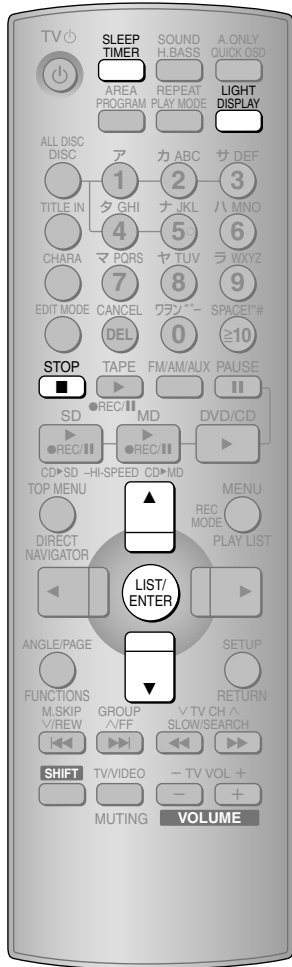
押して挿入位置の右の文字にカーソルを合わせ、次の操作をします。

●**文字を挿入するときは** ➡ 新たに文字を入力して ▶ 押す

●**１文字空けるときは** ➡

① SPACE !"# ≧10 空白を選び、 ② ▶ 押す

時計合わせ

準 備　電源を入れる。

本機の時計は24時間表示です。
例）土曜日の16時25分（午後4時25分）に合わせる。

1 押す

2

10秒以内
"TIMER ADJUST"を選択

TIMER ADJUST

3

"CLOCK ADJUST"を選択

CLOCK ADJUST

4

曜日を選択

SUN（日曜）	THU（木曜）
MON（月曜）	FRI（金曜）
TUE（火曜）	SAT（土曜）
WED（水曜）	

5 押して時刻を選び、
（押したままにすると、連続して変化します）

CLOCK
SAT
16：25

時報に合わせて押す
時計合わせが完了し、通常の表示に戻ります。

■電源「切」時に時計を見る ➡
約10秒間、時計表示になります。

お知らせ

●時計を合わせると、**デモ機能**（☞ 6ページ）は自動的に「切」になります。
●時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。
●コンセントを抜いたり、停電したりしたときは、もう一度設定してください。
●［■STOP］を押すと、途中で解除できます。

おめざめタイマー

準　備　電源を入れ、時計が合っていることを確認する。（☞ 63ページ）

設定した曜日の時刻になると、電源が入って、指定した音源（ディスク、MD、SD、テープ、ラジオ、外部機器）を再生し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

例）日曜日の６時30分から７時40分まで、好みの音源を再生する。

タイマーに使う曜日の切り換え

SUN	（日曜）
MON	（月曜）
TUE	（火曜）
WED	（水曜）
THU	（木曜）
FRI	（金曜）
SAT	（土曜）
SUN to SAT	（毎日）
MON to SAT	（月曜〜土曜）
MON to FRI	（月曜〜金曜）
SAT , SUN	（土曜と日曜）

タイマー日時設定

（24時間表示）

日時設定をしておけば、あとは実行設定を変えるだけで使えます。

1

押す

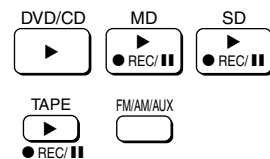
4

曜日を選択

（☞ 左下の表）

タイマー実行設定

6

① **音源を再生**

（☞ 14、26、28、34、36ページ）

9

“◴ PLAY SET” を選択

■解除する

電源を入れ、手順７から始め、手順９で“TIMER OFF”を選択する。

■操作をまちがえたり、設定を変えたりするには

電源を入れ、手順７から始め、手順９で“TIMER OFF”を選択した後、設定をやり直す。

■設定内容を確認する

電源「切」時に[TIMER]を押す。（約10秒間表示）

■タイマー設定した後に、再生を楽しむ

① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。

2

10秒以内

“TIMER ADJUST”を選択

TIMER ADJUST

3

“◴ PLAY ADJUST”を選択

◴PLAY ADJUST

5

開始時刻を選択

◴PLAY
SUN
6：30 →→ 0：00

終了時刻を選択

◴PLAY
SUN
6：30 →→ 7：40

元の表示に戻る

② **音量を調節**

−TV VOL＋
VOLUME

③ **ディスク/MD/SD/テープは再生を停止**

7

押す

8

10秒以内

“TIMER SET”を選択

TIMER ADJUST
TIMER SET
AUTO OFF

（タイマー切）

10

押して
電源を切る

電源を切らないとタイマーが動作しません。

設定した日時になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して、再生します。（動作中は、“◴ PLAY”が点滅）

■外部機器を使ったタイマー設定

手順**6**で[FM/AM/AUX]を押して“AUX”を選んだ後、外部機器を本機と同日時に動作するように設定します。

■好みの曲を再生する MD SD

手順**6**でプログラム予約します。（☞ 30ページ）

■順不同に再生する MD SD

手順**6**でランダム設定します。（☞ 30ページ）

MD SD

タイマー設定を行った後に、ランダム設定を解除すると、タイマー動作時にはランダム再生になりません。タイマー動作時にランダムさせたい場合は電源を切る前に再度ランダム設定をしてください。

お知らせ

- おめざめタイマーと留守録タイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。

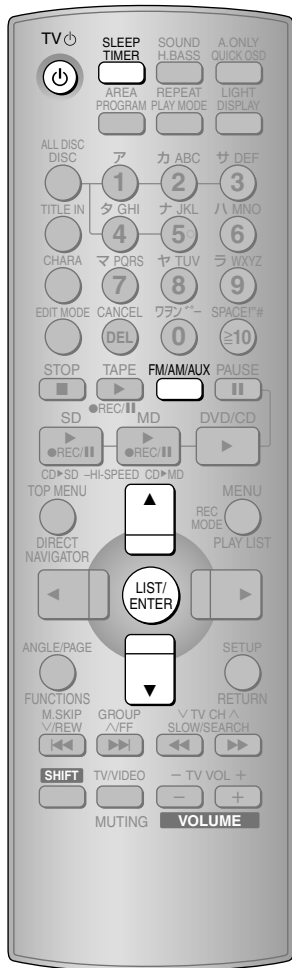
おめざめタイマー

タイマー

留守録タイマー

準　備　① 電源を入れ、時計が合っていることを確認する。（☞ 63ページ）
　　　　② 録音用MD、SDまたはテープを入れる。

設定した曜日の時刻になると、電源が入って、指定した放送（ラジオ、外部機器）を録音し、終了時刻になると自動的に電源が切れます。

例）土曜日の18時30分から20時40分まで、
　　好みの放送をMDに録音する。

タイマーに使う曜日の切り換え

SUN	（日曜）
MON	（月曜）
TUE	（火曜）
WED	（水曜）
THU	（木曜）
FRI	（金曜）
SAT	（土曜）
SUN to SAT	（毎日）

■解除する
電源を入れ、手順7から始め、手順9で“TIMER OFF”を選択する。

■操作をまちがえたり、設定を変えたりするには
電源を入れ、手順7から始め、手順9で“TIMER OFF”を選択した後、設定をやり直す。

■設定内容を確認する
電源「切」時に[TIMER]を押す。（約10秒間表示）

2

10秒以内

"TIMER ADJUST"を選択

TIMER ADJUST

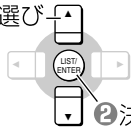
3 ❶選び ❷決定

"◴ REC ADJUST"を選択

◴REC ADJUST

5

開始時刻を選択

◴REC
SAT
18:30 →→ 0:00

終了時刻を選択

◴REC
SAT
18:30 →→ 20:40

元の表示に戻る

---

② **MD/SD 録音時は**
録音モード（☞ 43、45 ページ）、
録音タイプ（☞ 47 ページ）
を選ぶ

7

押す

8

10秒以内

"TIMER SET"を選択

TIMER ADJUST
TIMER SET
AUTO OFF

10

押して
電源を切る

電源を切らないとタイマーが動作しません。

- 頭切れ防止のため、設定した日時の 30 秒前になると、録音が始まります。（動作中は、"◴ REC" が点滅）
- 録音中は自動的に最小音量になります。

■タイマー設定した後に、再生を楽しむ

① 電源を入れ、通常の再生操作をする。
② 再生後は、必ず電源を切る。
音量や音源を変更しても、設定内容には影響しません。

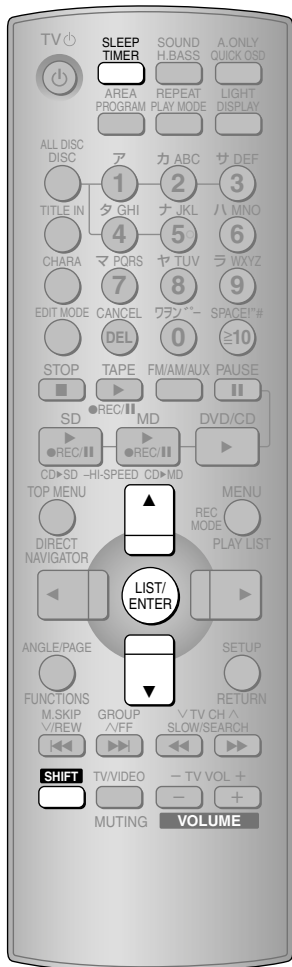
■外部機器を使ったタイマー設定

手順 **6** で[FM/AM/AUX]を押して "AUX" を選んだ後、外部機器を本機と同日時に動作するように設定します。

（お知らせ）

- 留守録タイマーとおめざめタイマーは同時に使えません。
- タイマーは解除しない限り、設定した曜日/時刻に動作します。
- ディスク、MD、SD、テープの留守録タイマーはできません。
- 容量の大きい SD カードに録音する場合、録音を開始するまでに時間がかかることがあるため、開始時刻を早めに設定してください。
- テープに録音する場合、おもて面への録音が終わると、テープは自動停止します。

留守録タイマー

タイマー

おやすみタイマー／オートオフ

おやすみタイマー

指定した時間が経過すると、自動的に再生を停止し、電源が切れます。

SHIFT ＋ SLEEP TIMER

音源を聞きながら
同時に押して再生時間を指定する

SLEEP 30

押すたびに
SLEEP 30→60→90→120→OFF
（単位：分）

■解除する
[SHIFT]＋[SLEEP]を同時に数回押して“SLEEP OFF”を選ぶ。

■残り時間を確かめる
[SHIFT]＋[SLEEP]を同時に１回押す。
（約５秒間表示）

■残り時間を変える
[SHIFT]＋[SLEEP]を同時に押して、新たに時間を指定する。

お知らせ
おやすみタイマーは、おめざめ／留守録タイマーと組み合わせて使えます。予約時間が重なるときはおやすみタイマーが優先されます。

電源の切り忘れを防ぐ

オートオフ

ボタン操作のない状態が約10分続くと、自動的に電源が切れます。

1 SLEEP TIMER **押す**

2 ❶選び ❷決定 10秒以内 **“AUTO OFF”を選択**

AUTO OFF

3 ❶選び ❷決定 **“AUTO OFF”を選択**

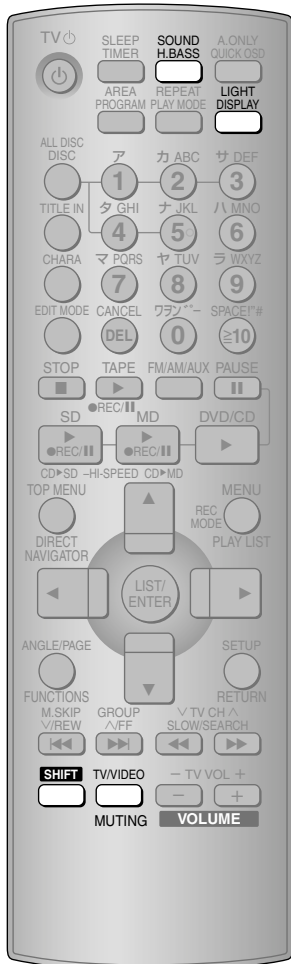
AUTO OFF
SCREEN SAVER

■解除する
手順**2**まで進んだ後、“SCREEN SAVER”（☞「スクリーンセーバー」８ページ）を選択する。

お知らせ
- ディスク、MD、SD、テープの停止中のみ働きます。
- おやすみタイマーと同時に使っているときは、オートオフが優先します。
- 電源を「切」にしても、オートオフは解除されません。

SHIFT ボタンの使いかた
[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

音質/音場/画質などの便利機能

SHIFT ボタンの使いかた
[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

一時的に消音する

ミューティング

TV/VIDEO MUTING **押す**

MUTING

■解除する
- もう一度押す。
- 音量を最小"0"にしてから上げる。
- 電源を切／入する。

表示部やライトの明るさを変える

ライトモード

SHIFT ＋ LIGHT DISPLAY **同時に押す**

表示部の輝度が下がり、ライトが消えます。暗くした部屋での映画鑑賞などにお使いください。

■解除する
- もう一度、同時に押す。
- 電源を切／入する。

映画のセリフを聞き取りやすくする

シネマボイス

DVD-V
(センターチャンネルにセリフが記録されたディスク)

再生中に、GUI メニュー（☞ 78ページ）で"その他の設定"→"音声メニュー"を選び
シネマボイスを"入"にする

ディスクによって効果のないものや効果の少ないものがあります。

■解除する
GUI メニューで"切"にする。

映画向けの画質にする

ピクチャーモード

DVD-V DVD-A RAM VCD JPEG

再生中に、GUI メニュー（☞ 78ページ）で"その他の設定"→"画質メニュー"を選び
ピクチャーモードで画質を選択

"ユーザー"を選択し、詳細画質設定で、より細かな画質の設定も行えます。（☞ 80ページ）

シネマ 1：	映画館で見ているようなしっとり感、暗い場面は細部をはっきり
シネマ 2：	昔の映画などをくっきり、暗い場面は細部をはっきり
アニメ：	アニメの色をくっきり
ダイナミック：	色にめりはりをつける
ノーマル：	切

豊かな低音を楽しむ

H.BASS

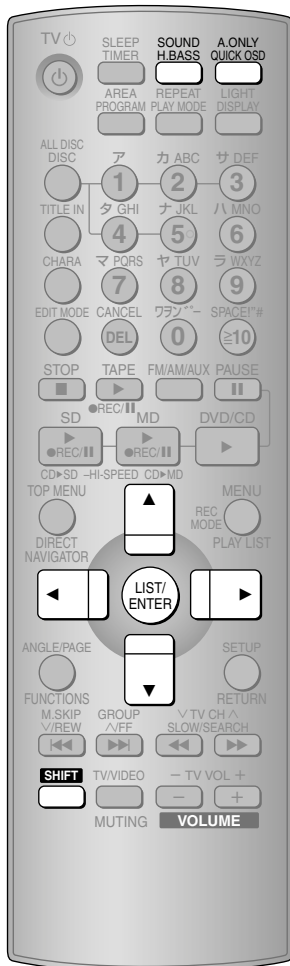
再生帯域の広いスピーカーで聞いているような効果が得られ、厚みのある低音で楽しめます。

SOUND H.BASS **押して効果を選ぶ**

押すたびに

H.BASS 1	：低音の厚みが増します
H.BASS 2	：より低音の厚みが増し、迫力が得られます
H.BASS OFF	：解除

お買い上げ時の設定は"H.BASS 1"です。

お知らせ
再生する音源によっては、効果の少ないものもあります。

心地よい音で楽しむ

サウンドエンハンスメント

高い周波数信号を付加することで、クリアな音質で楽しめます。

DVD-V DVD-A RAM VCD CD WMA/MP3

再生中に、GUI メニュー（☞ 78 ページ）で“その他の設定”→“音声メニュー”を選び

サウンドエンハンスメントを“入”にする

■解除する

GUI メニューで“切”にする。

臨場感のある音で聞く

アドバンストサラウンド

1 SHIFT ＋ SOUND H.BASS 同時に押す

より自然な音で聞く

マルチ リ.マスター

1

同時に押す

好みの音質効果を使う

プリセットイコライザー

用意された 4 種類の音質から、好みの効果を選びます。

1 SHIFT ＋ SOUND H.BASS 同時に押す

低域/高域を調整する

マニュアルイコライザー

BASS（低域）とTREBLE（高域）を細かく調整できます。

■マルチ リ.マスターの効果について

DVD-V RAM （48 kHz で記録されたディスク）

DVD-A （44.1 kHz または 48 kHz で記録されたディスク）

VCD CD

ディスクに記録されていない高い周波数信号を付加することで、より自然で豊かな音質を楽しめます。

WMA/MP3 （8 kHz、16 kHz、32 kHz 以外で記録されたディスク）

MD （44.1 kHz または 48 kHz で記録された MD）

SD （AAC または MP3 の音楽データ）

圧縮時に失われた周波数信号を再現し、圧縮前の音声に近づけます。

■音質/音場効果の優先順位について

アドバンストサラウンド>マルチ リ.マスター>サウンドエンハンスメントの順に優先的に働きます。（同時に使用すると左記の効果のみ有効）

SHIFT ボタンの使いかた

[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

●ディスクや音源によっては、音質／音場効果の働かないものがあります。

より高音質で聞く

オーディオ・オンリー

DVD-V **DVD-A** **RAM**
VCD **CD** **WMA/MP3**

映像信号の出力を「切」にすることで、より高音質で楽しめます。

SHIFT
＋
A.ONLY
QUICK OSD

同時に押す

●表示部に“A.ONLY”が表示。

■**解除する**
同時に押して“A.ONLY”を消す。

お知らせ
オーディオ・オンリーが「入」のときは映像が出ません。

●選択操作で迷ったときは**「操作メニュー一覧」**（☞ 81 ページ）

2
10秒以内

“SURROUND”を選択

3

効果を選択

SURROUND 1
SURROUND 2
SURROUND OFF

1　：自然な臨場感を与えるとき
2　：臨場感を与えるとともに、映画のセリフを聞き取りやすくするとき
OFF：切

●音が歪むときは「切」にしてください。

2
10秒以内

“RE-MASTER”を選択

3

効果を選択

RE-MASTER 1
RE-MASTER 2
RE-MASTER 3
RE-MASTER OFF

設定	DVD-V DVD-A CD (LPCM/PPCM) 音源に適した設定を選択	その他のディスクと MD SD 効果の強弱を選択
1	テンポの早い曲（ポップス、ロックなど）	弱
2	さまざまなテンポの曲（ジャズなど）	中
3	テンポの遅い曲（クラシックなど）	強
OFF	切	切

2
10秒以内

“PRESET EQ”を選択

3

効果を選択

HEAVY
CLEAR
SOFT
VOCAL
FLAT

HEAVY　：ロックなど。パンチを効かせるとき
CLEAR　：ジャズなど。高音部を鮮明にするとき
SOFT　：BGMとして聞くとき
VOCAL　：ボーカルにつやを出したいとき
FLAT　：切

お買い上げ時の設定は“HEAVY”です。

2
10秒以内

“MANUAL EQ”を選択

3

押して BASS（低域）または TREBLE（高域）を選び

押して レベルを調整

BASS　TREBLE
–1　0

●上下４ステップずつ調整できます。
●ボタン操作がない状態で１０秒たつと、調整画面は消えます。

音質／音場／画質などの便利機能（つづき）

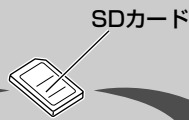
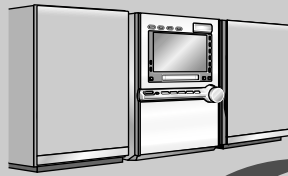
使いこなす

SD をさらに楽しむ

別売り品の品番は、2005 年 1 月現在のものです。品番は変更されることがあります。

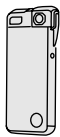
本機で録音したあとで…

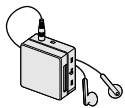
詳しくは、下記ホームページをご参照ください。

http://panasonic.jp/support/

ポータブル機器で聞くには…

AAC が再生可能なSDオーディオ対応機器で再生できます。

■再生できる機器のご紹介

SD マルチカメラ（D-snap）・・・・・・・・・

● SV-AS30
● SV-AS3
● SV-AV35 など

SD オーディオプレーヤー ・・・・・・・・・・

● SV-SD100V
● SV-SD90
● SV-SD80
● SV-SD50 など

● **当社製機器との互換性について**
テレビや DVD レコーダー、デジタルカメラなどが SD オーディオに対応していない場合、本機で録音した SD の曲を聞くことはできません。

● **他社製品との互換性について**
AAC が再生可能な SD オーディオ対応機器であることをご確認ください。

パソコンに残すには…

別売りのソフトウェア「SD-Jukebox Ver.5」を使って、以下のようなことができます。

- SD の曲（音楽データ）をパソコンに保存
- タイトルの編集
- プレイリストの作成、編集
- パソコンで保存した曲を、SD に書き込む

■ご用意いただくもの

- SD-Jukebox Ver.5
- セキュア対応（著作権保護機能)の SD メモリーカードスロットを装備した、Windows パソコン
- スロットがない場合や、セキュア対応でない場合は、別売りの USB リーダーライター

SD-Jukebox Ver.5 を使うときのお願い

- SD-Jukebox Ver.5 では漢字タイトルを入力できますが、本機の表示部は漢字/ひらがなタイトルに対応していないため、表示されません。
- 著作権保護のため、同じ曲をチェックアウト（パソコンから SD へ音楽データを書き込むこと）できる回数には制限があります。

別売り品のご紹介

SD オーディオ PC レコーディングキット
（SD-Jukebox Ver.5、USB リーダーライター付属）
● SH-SSK40

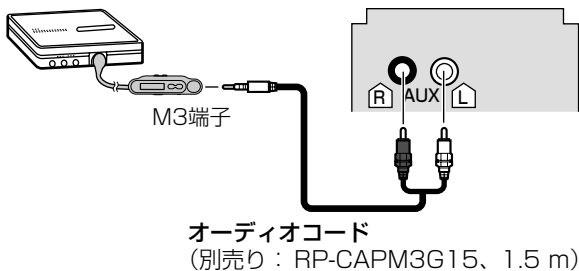
USB リーダーライター
● BN-SDCGP3

SD メモリーカード
● RP-SDK01GJ1A（1GB）
● RP-SDK512J1A（512MB）
● RP-SDH256N1A（256MB）
● RP-SD128BL1A（128MB）
● RP-SD064BL1A（64MB）
● RP-SD032BL1A（32MB）

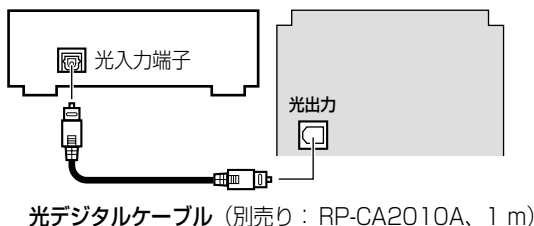
別売り機器の接続

別売り品の品番は、2005年1月現在のものです。品番は変更されることがあります。

ポータブルMD

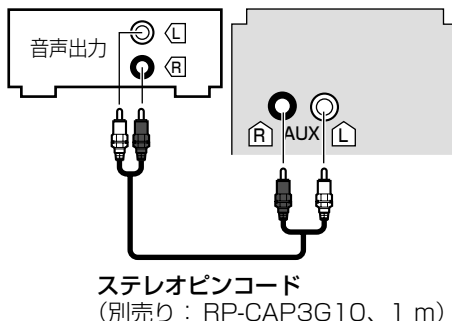
オーディオコード
（別売り：RP-CAPM3G15、1.5 m）

AVアンプ

5.1チャンネル出力を持つAVアンプと接続すると、**DVDビデオ**をマルチチャンネルで楽しめます。
（**DVDオーディオ**の場合は、2チャンネルになります）

光デジタルケーブル（別売り：RP-CA2010A、1 m）

本機の光出力端子について

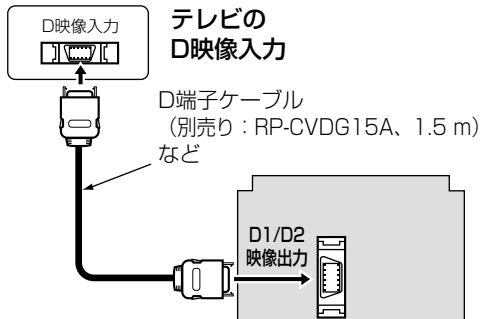
- ディスク（DVD/CD）以外の音声は出力されません。
- 初期設定が“PCM”のとき：音場効果が働くものもあります。
- 初期設定が“Bitstream”のとき：音質/音場効果は働きません。

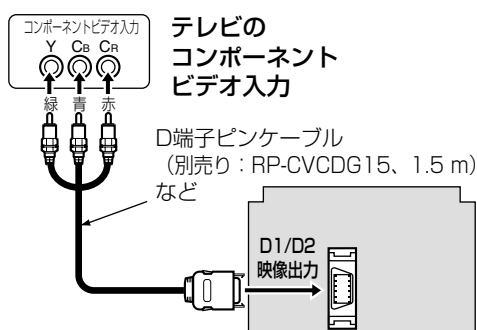
アナログプレーヤー、テレビ、ビデオ、有線、BS/CSチューナーなど

ステレオピンコード
（別売り：RP-CAP3G10、1 m）

アナログプレーヤーと接続するときは

フォノイコライザー内蔵のプレーヤーが必要です。
推奨品：当社製アナログプレーヤーSL-J8（フォノイコライザー内蔵）
お手持ちのプレーヤーにフォノイコライザーがないときは、フォノイコライザー（サービスルート扱い：品番RFKZ0088KIT）が必要です。そのままつなぐと音が小さくなります。

DVDをより高画質で楽しむために

D端子と接続

- D3、D4と表示されていても接続できます。
- D1のときは、プログレッシブ映像を楽しめません。（インターレース映像のみの出力になります）
- 他社のテレビを使用する場合は、「DVDプログレッシブ出力のコピーガードシステム（マクロビジョン方式）に対応している525p映像入力端子が付いているか」をご確認ください。

コンポーネント端子と接続

ハイビジョンテレビに接続するときは、DVDに対応した端子に接続してください。ハイビジョン方式（MUSE）の端子に接続すると、画面が乱れたり映らないことがあります。

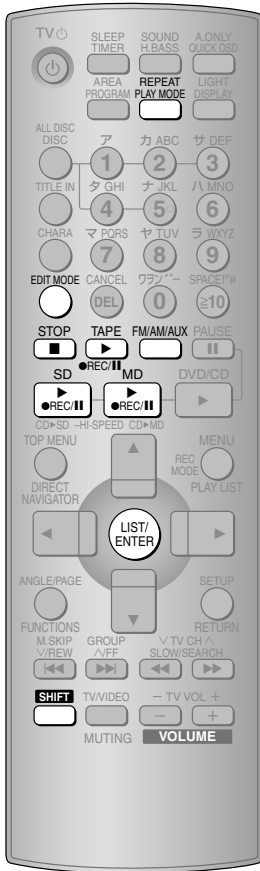
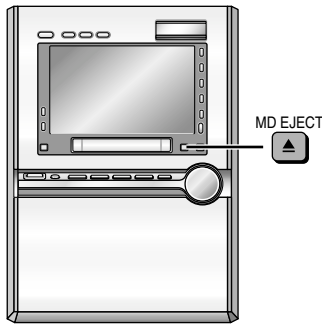
プログレッシブ対応テレビで、プログレッシブ映像を楽しむには

GUIメニューで（☞ 78ページ）“その他の設定”→“画質メニュー”を選び「ビデオ出力モード」を“**525p**”にする。

別売り機器から録音/再生

準 備

別売り機器から録音するとき

① テレビ、有線、BS/CS を録音するときは、放送を受信する。
② ポータブル MD やアナログプレーヤーを録音するときは、録音元の MD やレコードを機器にセットする。
③ 録音用 MD または SD、テープを入れる。
MD/SD 録音時は録音モード（☞ 43、45 ページ）を選ぶ。

SHIFT ボタンの使いかた

[SHIFT]を押しながら、他のボタンを押します。

別売り機器から録音/再生

●ポータブル MD
●アナログプレーヤー
●テレビ
●ビデオ
●有線
● BS/CS チューナー
など

1 FM/AM/AUX 押して“AUX”を選ぶ

●聞くだけのときは、このあと別売り機器を再生します。
●接続した機器の入力レベルが低い場合は調整してください。
（☞ 下記「入力レベルを調整する」）

■入力レベルを調整する

AUX 選択中に、［PLAY MODE］を押して、“HIGH”または“NORMAL”を選ぶ。

HIGH（ハイ）：音量が小さい場合
NORMAL（ノーマル）：通常の場合

準 備　［▶MD］を押してセレクターを“MD”にし、［■ STOP］を押す。

他の MD にタイトルをコピー

タイトルステーション

MD

MD のタイトルを別の MD にそのままコピーできます。
ポータブル MD から本機の MD にダビングしたときなどに便利です。

1 コピー元の MD を本機に入れる

■途中で解除する

[■ STOP] を押す。

別売り機器の接続 ☞ 73ページ

2

MD または SD に録音するとき

① EDIT MODE 押して
録音タイプを選ぶ
（☞ 下記「MD/SD の録音タイプについて」）

“MANUAL”、“SYNCHRO”または“TIME MARK”を選ぶ。

②

同時に押す
- **MANUAL、TIME MARK では**
  録音が始まります。
- **SYNCHRO では**
  録音待機状態になります。

テープに録音するとき

同時に押す
録音が始まります。
- おもて面への録音が終わるとテープは自動停止します。

3 別売り機器で再生を始める

MD/SD 録音時、SYNCHRO では、音の出始めから録音が始まります。

■途中で止める
[■ STOP] を押す。

■ MD/SD の録音タイプについて

MANUAL（マニュアル）：通常の録音タイプです。

SYNCHRO（シンクロ）：
接続した機器で再生が始まると、自動的に録音を開始します。無音状態が約 3 秒続くと一時停止し、再生が再開すると録音も再開します。録音開始位置にトラックマークが付きます。

TIME MARK（タイムマーク）：
5 分おきにトラックマークが自動的に付きます。

●トラックマーク（曲の切れ目）の付けかた
AUX 選択時、録音中に好みの位置で［EDIT MODE］を押すと、“TR MARKING”が表示され、その位置にトラックマークが付きます。

お知らせ
- 録音する曲の種類よっては、“SYNCHRO”を使うと、曲の最初の部分が録音されなかったり、レベルの低い曲では途中で止まったりすることがあります。この場合は“MANUAL”で録音してください。
- 音源や録音方法によっては録音時間に誤差が生じる場合があります。

2

EDIT MODE **停止中に押して**

“TITLE STATION?”を選び

▼

押す

3

LIST/ENTER **押す**

4

本体で

押してコピー元 MD を取り出し
コピー先 MD を入れる

Write OK?
PRESS ENTER

5

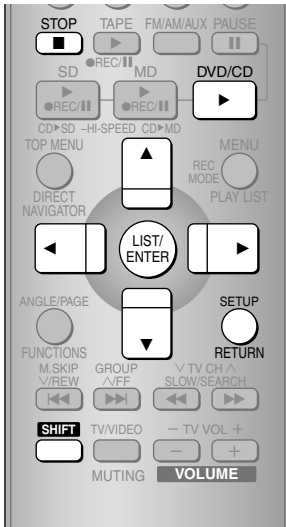
押す

“UTOC Writing”の点滅後、タイトルコピーが完了。

お知らせ
- **コピー元とコピー先の MD の曲数が同じときだけコピーできます。**
- タイトル入力済み MD に新たにタイトルをコピーすると、以前のタイトルはすべて消えます。
- 本機が記憶できるタイトルは、MD1 枚分です。電源を切ると、記憶したタイトルは消去されます。
- LP2/LP4 で録音した曲をコピー元として使った場合、コピー先の曲が SP で録音されていると、トラックタイトルの頭に“LP：”と表示されます。
- コピー元の MD がグループ管理されているときは、グループ管理情報もコピーされます。
- 再生専用 MD や未録音の MD は使用できません。

初期設定一覧

日本語 のようにアミがかかった項目は、お買い上げ時の設定です。

準備 [▶DVD/CD] を押してセレクターを“DISC”にし、[■STOP] を押す。

初期設定画面

ディスク

■ 音声言語

- 日本語
- 英語
- オリジナル※1
- その他＊＊＊＊※2

■ 字幕言語

- オート※3
- 日本語
- 英語
- その他＊＊＊＊※2

■ メニュー言語

メニューなど、テレビ画面の表示言語が選べます。

- 日本語 ● 英語 ● その他＊＊＊＊※2

■ アドバンストディスクレビュー

レビューの方法を選びます。(☞ 25 ページ)

- イントロモード ● インターバルモード

■ 視聴制限

お子さまなどに見せたくないDVDの視聴を制限できます。暗証番号を入力しない限り、再生や設定の変更はできません。

- レベル8 ：すべてのディスクが再生可
- レベル7～1 ：制限レベルの記録されているディスクが再生不可
- レベル0 ：すべてのディスクが再生不可

レベル0～7を選ぶ(または選んだあと再び“視聴制限”を選ぶ)と、暗証番号の入力画面が表示されます。

<u>暗証番号の入力方法</u>

1 **数字ボタン**で4ケタの数字を入力する
2 **[LIST/ENTER]** を押す
3 暗証番号を確認し、**[LIST/ENTER]** を押す
暗証番号を忘れないでください。

- 視聴制限を超えるDVDを入れると、画面上に表示がでます。そのときは画面の指示に従ってください。

映 像

■ TV アスペクト

- 4:3 パン&スキャン (☞ 右ページ)
- 4:3 レターボックス (☞ 右ページ)
- 16:9

■ 接続する TV

- 標準(ブラウン管テレビ)
- 3管式プロジェクター
- 液晶テレビ/プロジェクター
- プロジェクションテレビ
- プラズマテレビ

■ TV ディレイ

プラズマTVなどのデジタルTV使用時に、本機の映像出力のタイミングを早めることで、映像と音声を同期させることができます。

- 0 ms ～●100 ms (20 ms 刻み)

(お知らせ)

テレビによっては、効果のないことがあります。

■ スチルモード

一時停止時の画像表示方法が選べます。

- オート
- フィールド (☞ 89 ページ)
- フレーム (☞ 89 ページ)

※1 “オリジナル”: ディスクの最優先言語が選ばれます。
※2 “その他＊＊＊＊”: 数字ボタンで言語番号 (☞ 右ページ) を入力します。
※3 “オート”: “音声言語” で選んだ言語が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

音　声

■ PCM デジタル出力
- **最高 48 kHz**　　●最高 96 kHz

■ Dolby Digital
- **Bitstream**　　● PCM

■ DTS Digital Surround
- **Bitstream**　　● PCM

■ 音声のダイナミックレンジ圧縮
（ドルビーデジタルのみ）
小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
- **切**　　● 入

画面表示

■ 画面メニュー言語
- **日本語**　　● English（英語）

■ 画面メッセージ
- **入**　　● 切

その他

■ クイックセットアップ
本機の基本的な設定を、画面上での対話形式によって行います。
- **する**　　● しない

■ 設定の初期化
初期設定、ディスク（DVD/CD）関連のユーザー設定を、すべてお買い上げ時の状態に戻します。
- する　　● **しない**

初期化するときは、次のように操作します。
①「する」を選び、[LIST/ENTER］を押す。
② テレビ画面に“オールクリア”が表示されたら、[LIST/ENTER］を押す。
③ 本機の電源を入れ直す。

お知らせ
- 初期化した後は、必ず電源を入れ直してください。入れ直さないと、正しく初期化されません。
- 視聴制限を設定しているときは、操作の途中で暗証番号の入力画面が表示されます。暗証番号を入力してください。

言語番号一覧表

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ヴォラピュック	8679
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
スペイン	6983
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タタール	8484
タミル	8465
タガログ	8476
タジク	8471
チェコ	6783
中国語	9072
チベット	6679
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
マダガスカル	7771
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

パン＆スキャンとレターボックスとは

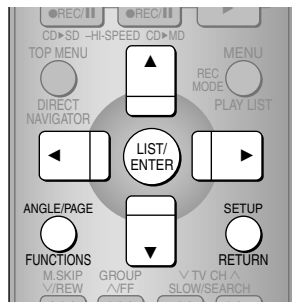
DVD ソフトのワイドな映像（16:9）を、標準サイズ（4:3）のテレビで見る場合、2 つの表示方法があります。

4:3 パン＆スキャン
左右をカットし、テレビ画面全体に映像を映し出します。

4:3 レターボックス
上下に黒い帯を入れ、16:9 の映像を忠実に再現します。

GUI メニュー項目一覧

G U I(Graphical User Interface)とは「テレビ画面を見ながらディスクの操作ができる」ことを意味し、本機の場合は、この画面を「GUI メニュー」と呼びます。

お願い **録音中は操作しないでください。録音が途切れる原因になります。**

DVD-V GUI メニューの一例

1 ANGLE/PAGE FUNCTIONS

再生中に押して
GUI メニューを表示させる

2 ❶選び ❷決定

変更したい
項目を選択

同じ操作をくり返し、変更したい項目まで階層メニューを進みます。

3 ❶選び ❷決定

好みの
設定を選択

数字ボタン→[LIST/ENTER]で設定できるものもあります。

■ GUI メニューを消す ➡ RETURN

名称	項目と設定		
DVD ビデオ DVD-R DVD-RW (DVD ビデオ) ＋R、＋RW	**タイトル**	**タイトルサーチ**	[▲, ▼](または数字ボタン)→[LIST/ENTER]
	チャプター	**チャプターサーチ**	[▲, ▼](または数字ボタン)→[LIST/ENTER]
	時間	**タイムワープ**※：時間指定スキップ	±30 秒、60 秒、90 秒、2 分...
		タイムサーチ※：時間指定再生	例）1 時間 24 分 50 秒から再生 [1]→[2]→[4]→[5]→[0]→[LIST/ENTER]
		※＋R/＋RW では働きません。	
		タイトル経過時間 **タイトル残時間**	
	音声（☞ 24 ページ）	1 ～最大 8	カラオケ入/切：[▲, ▼]→[LIST/ENTER]
	字幕（☞ 24 ページ）	入または切 1 ～最大 32	
	アングル（☞ 17 ページ）		
	その他の設定（☞ 80 ページ）		
DVD オーディオ	**グループ**	**グループサーチ**	[▲, ▼](または数字ボタン)→[LIST/ENTER]
	トラック	**トラックサーチ**	[▲, ▼](または数字ボタン)→[LIST/ENTER]
	時間	**タイムワープ**：時間指定スキップ	±30 秒、60 秒、90 秒、2 分...
		タイムサーチ：時間指定再生	例）4 分 50 秒から再生 [4]→[5]→[0]→[LIST/ENTER]
		トラック経過時間 **トラック残時間** **グループ残時間**	
	音声（☞ 24 ページ）	1 または 2	
	静止画	**次静止画** **前静止画**	
	その他の設定（☞ 80 ページ）		

●ディスクによっては、表示されない項目/設定があります。

名　称	項目と設定		
DVD-RAM DVD-RW (DVD-VR)	**プログラム** プレイリスト※1	**プログラムサーチ** プレイリストサーチ※1	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[LIST/ENTER]** ※1 プレイリスト再生時に表示
	時間	**タイムワープ**：時間指定スキップ **タイムサーチ**：時間指定再生	**±30秒、60秒、90秒、2分…** 例）24分30秒から再生 **[2]→[4]→[3]→[0]→[LIST/ENTER]**
		プログラム経過時間 プレイリスト/シーン経過時間※2 **プログラム残時間** プレイリスト/シーン残時間※2	 ※2 プレイリスト/シーン再生時に表示 ※2 プレイリスト/シーン再生時に表示
	音声（☞ 24ページ）	**LR、L、R** **1** または **2**	
	字幕（☞ 24ページ）	**入**または**切**	
	マーカー（VR）：マーカースキップ		
	その他の設定（☞ 80ページ）		
ビデオ CD	**トラック**	**トラックサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[LIST/ENTER]**
	時間	**トラック経過時間** **トラック残時間**（SVCD以外） **ディスク残時間**（SVCD以外）	
	音声（☞ 24ページ）	**LR、L、R** **1** または **2**（SVCDのみ）	
	字幕（☞ 24ページ） （SVCDのみ）	**入**または**切** 字幕言語選択（1～4）	
	その他の設定（☞ 80ページ）		
CD	**トラック**	**トラックサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[LIST/ENTER]**
	時間	**トラック経過時間** **トラック残時間** **ディスク残時間**	
	その他の設定（☞ 80ページ）		
WMA/MP3	**グループ**	**グループサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[LIST/ENTER]**
	コンテンツ	**コンテンツサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[LIST/ENTER]**
	時間		
	音声		
	その他の設定（☞ 80ページ）		
JPEG (CD-R/RW)	**グループ**	**グループサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[LIST/ENTER]**
	コンテンツ	**コンテンツサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[LIST/ENTER]**
	サムネイル：サムネイル一覧表示		
	画像回転	**右90°回転**または**左90°回転**	
	スライドショー	**間隔** **入**または**切**	**0～30秒**
	その他の設定（☞ 80ページ）		
HighMAT	**プレイリスト**	**プレイリストサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[LIST/ENTER]**
	グループ	**グループサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[LIST/ENTER]**
	コンテンツ	**コンテンツサーチ**	**[▲、▼]**(または数字ボタン)→**[LIST/ENTER]**
	時間		
	音声		
	画像回転（静止画のみ）	**右90°回転**または**左90°回転**	
	その他の設定（☞ 80ページ）		

「その他の設定」項目一覧（ディスク共通）

再生速度	×0.6、×0.7、×0.8、×0.9、ノーマル、×1.1、×1.2、×1.3、×1.4　（☞ 25 ページ）
再生メニュー	**リピート**（☞ 18 ページ）　**A-B リピート**（☞ 25 ページ） **マーカー**（☞ 25 ページ）　**アドバンストディスクレビュー**（☞ 25 ページ）
画質メニュー	**ピクチャーモード**（☞ 69 ページ） ●**ノーマル**：　切 ●**シネマ 1**：　映画館で見ているようなしっとり感 ●**シネマ 2**：　昔の映画などをくっきり ●**アニメ**：　アニメの色をくっきり ●**ダイナミック**：色にめりはりをつける ●**ユーザー** **詳細画質設定** －**コントラスト**（白黒の強弱）：　−7 〜 +7 －**ブライトネス**（全体の明るさ）：　0 〜 +15 －**シャープネス**（水平方向の鮮鋭度・解像感）：　−7 〜 +7 －**カラー**（色の濃さ）：　−7 〜 +7 －**ガンマ**（暗い部分の明るさ）：　0 〜 +5 －**デプスエンハンサー**（映像の奥行き感）：　0 〜 +4 **ビデオ出力モード** ● **525i**：インターレース映像　● **525p**：プログレッシブ映像（“PROG.”点灯） **変換モード［表示部の“PROG.”点灯中のみ］** プログレッシブ出力に変換する方式を素材に応じて使い分ける。 ●**オート 1**（標準）：映画再生 ●**オート 2**：オート 1 の変換方式に加え、30 コマ/秒で記録されたプログレッシブ映像にも対応 ●**ビデオ**：ビデオ素材。オート 1、オート 2 でブレが生じるとき
音声メニュー	**アドバンストサラウンド**（☞ 70 ページ）　**シネマボイス**（☞ 69 ページ） **マルチ リ.マスター**（☞ 70 ページ）　**サウンドエンハンスメント**（☞ 70 ページ）
表示メニュー	**字幕位置**（DVD-V DVD-A（動画部のみ））　**0 〜 −60** **字幕明るさ**（DVD-V DVD-A（動画部のみ））　**オート、0 〜 −7** **情報表示**（JPEG）　**切、日付、詳細** **4:3 アスペクト**（DVD-V DVD-A RAM VCD JPEG） 4:3 の映像を、ワイドサイズ（16:9）の TV で見るときの表示方法を選ぶ。 ●**ノーマル**：　画面幅いっぱいに引き延ばす ●**オート**：　通常はシュリンクに、レターボックスの映像はズームに自動で切り換える ●**シュリンク**：　画面中央に 4:3 の画面比のまま映す ●**ズーム**：　画面比 4:3 で拡大する **ぴったりズーム**（☞ 24 ページ） **任意ズーム**　**×1.00 〜 ×2.00** ×1.60 までは 0.01 刻み（押し続けると 0.05 刻み） ×2.00 までは 0.02 刻み（押し続けると 0.1 刻み） **ビットレート表示**（DVD-V DVD-A（動画部のみ） RAM VCD）**入**または**切** 映像の種類（I/P/B ☞ 89 ページ）とビットレートの目安を表示する。 ビットレート　現在値 10.621 Mbps　平均値 6.622 Mbps　5.0 Mbps サンプリング期間中のビットレート履歴 一時停止時：映像の種類とフレームのデータ量 動画再生時：再生画像の平均ビットレート **GUI シースルー**：半透明化　**入、切、オート** **GUI 明るさ**　**−3 〜 +3**
その他のメニュー	**DVD-Video として再生**　：DVD オーディオを DVD ビデオとして再生 **DVD-Audio として再生**　：「DVD-Video として再生」を解除 **DVD-VR として再生**（DVD-RAM）：「データディスクとして再生」を解除 **HighMAT として再生**　：「データディスクとして再生」を解除 **データディスクとして再生**　：DVD-RAM または HighMAT をデータディスクとして再生

操作メニュー一覧

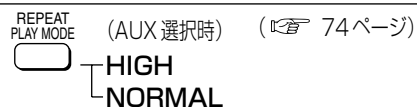
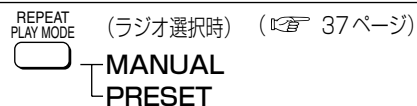
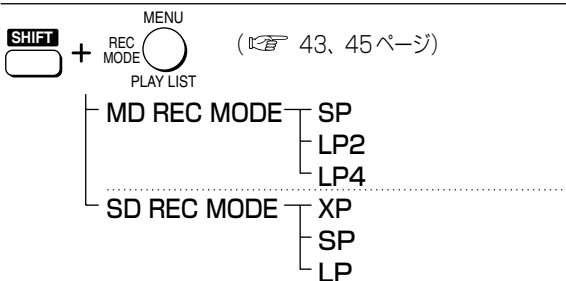
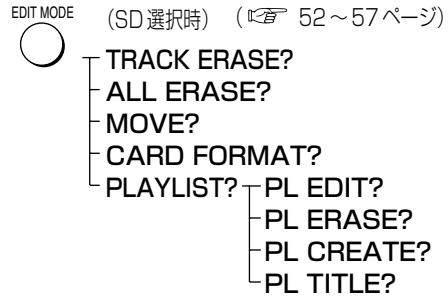
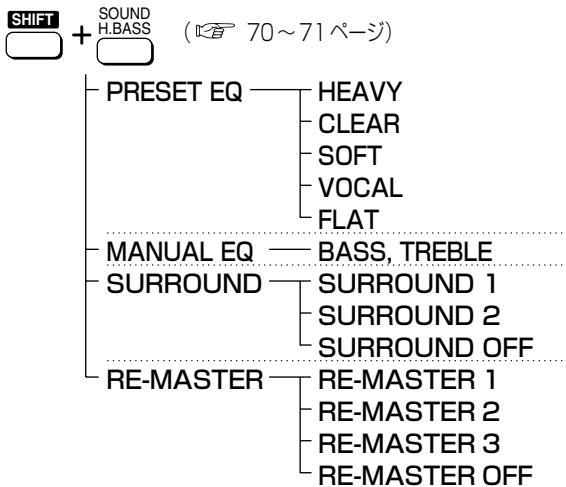
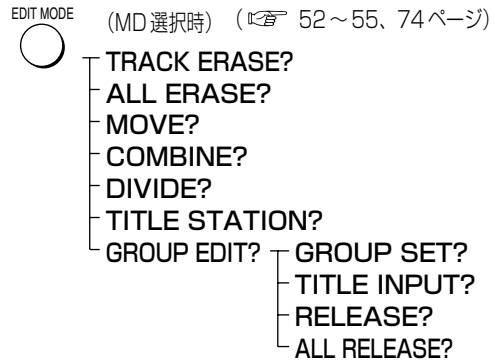
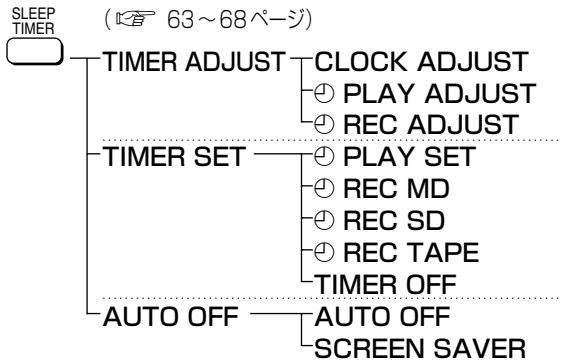
- [TIMER] ボタン、[SHIFT]＋[SOUND] ボタン、[SHIFT]＋[REC MODE] ボタン、[EDIT MODE] ボタン、[PLAY MODE] ボタンを押した後の操作メニューは、以下のような階層になっています。(主なもののみ記載)
- 選択操作で迷ったときの参考にしてください。
  くわしい操作方法については、それぞれのページをご覧ください。

REPEAT PLAY MODE (DISC選択時) (☞ 20ページ)
- ALL GROUP (DVD-A)
- RANDOM
- (切)

REPEAT PLAY MODE (MD選択時) (☞ 30～33ページ)
- 1-GROUP
- RANDOM
- PLAY MODE OFF

REPEAT PLAY MODE (SD選択時) (☞ 30ページ)
- RANDOM
- PLAY MODE OFF

REPEAT PLAY MODE (ラジオ選択時) (☞ 37ページ)
- MANUAL
- PRESET

REPEAT PLAY MODE (AUX選択時) (☞ 74ページ)
- HIGH
- NORMAL

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■ **表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。**

表示	内容
警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■ **お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。**
（下記は、絵表示の一例です。）

絵表示	内容
	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

電源コードについて

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

［傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。］

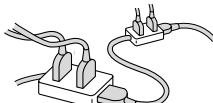
傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- 抜くときは、プラグを持ち、まっすぐ抜いてください。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

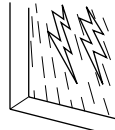
差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

雷について

雷が鳴ったら、アンテナ線や機器、電源プラグに触れない

感電の恐れがあります。

ご使用について

SD メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込む恐れがあります。
- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたり濡らしたりしない

ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

ご使用について

分解、改造したりしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご依頼ください。

もし異常が起こったら

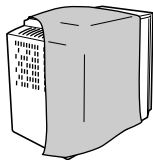
異常があったときは電源プラグを抜く

- **機器内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき**
- **煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき**

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続について

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

油煙や湯気の当たるところや湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

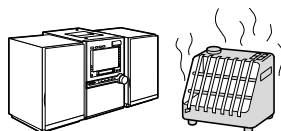
屋外アンテナの設置・工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、感電やけがの原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

不安定な場所に置かない

- **上に大きなもの、重いものを載せない**
- **壁や天井に取り付けない**

機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

ご使用について

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

ディスクトレイの挿入口の奥に手を入れない

閉まるときにはさまれて、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

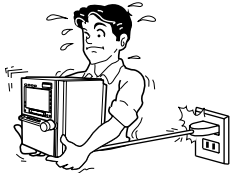
⚠ 注意

ご使用について

機器に乗らない

倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

持ち運びについて

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
また、引っかかったりして、けがの原因になることがあります。

電池について

電池は誤った使いかたをしない

- **⊕と⊖は逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**
- **乾電池の代用として充電式電池を使わない**

取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 長期間使用しないときは、取り出しておいてください。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

保管とお手入れ

■ **次のような場所に置かない**
- 直射日光の当たる場所
- 湿気やほこりの多い場所
- 暖房器具の熱が直接当たる場所

■**本機が汚れたら**
柔らかい布でふいてください。
ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■ **DVD/CD プレーヤー部**
- 使用環境により異なりますが、レンズをクリーニングする必要はありません。
- 誤動作の原因になるため、市販のレンズクリーナーは使用しないでください。

■ **MD レコーダー部**
専用クリーナー（別売り）でときどき清掃されることをおすすめします。

推奨品：
MD レンズクリーナー（品番 RP-CL310）
MD 録音ヘッドクリーナー（品番 RP-CL320）

■**カセットデッキ部**
定期的に市販のクリーニングテープを使って清掃されることをおすすめします。

SD について

本機で使用できるカードについて

- SD メモリーカード、miniSD™ カード（miniSD™ アダプターが必要です）が使えます。
- 利用可能な SD メモリーカード
  8 MB、16 MB、32 MB、64 MB、128 MB、256 MB、512 MB、1 GB
  最新情報は http://panasonic.jp/support/audio/mini/ で確認してください。
- マルチメディアカードは使用できません。
- 録音前に、本機でフォーマットすることをおすすめします。（☞ 54 ページ）
- Windows Media Audio 9(WMA9)対応
  (WMA9 の Professional, Lossless, Voice 及び MBR※には対応していません。)
  ※Multiple Bit Rate :一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式

フォーマットについて

- SD メモリーカードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットを行ってください。（☞ 54 ページ）。
- 本機は SD 規格に準拠した FAT12、FAT16 形式でフォーマットされた SD メモリーカードに対応しています。

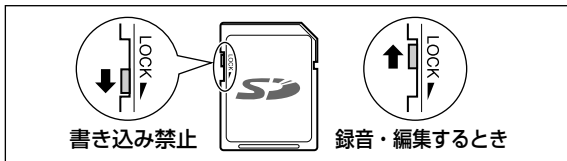
録音・編集について

本機の SD への録音は、高度な著作権保護技術に対応した「SD オーディオフォーマット※」を採用しています。
※SD アソシエーションにて制定された SD メモリーカードのオーディオ規格です。

■ 録音時のデータ形式について
本機で録音した音楽データは、AAC になります。

■ トラックマーク
録音部分に記録される“区切り”のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由に付けることもできます。

■ SD1 枚への録音は、収録時間内で最大 998 曲までです
実際に録音できる時間が少なくなる場合もあります。

■ 大切なデータを保護するために
書き込み禁止スイッチを「LOCK」にします。新たに録音・編集するときは解除してください。

■ 録音・編集時のお願い
録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、SD を取り出したり、SD 挿入部のふたを開けたり、電源コードを抜いたりしないでください。動作が停止します。
“CARD Writing”の点滅中に電源が切れたり、SD が取り出されると、録音・編集・タイトル入力が SD に正しく記録されないばかりか、SD が使えなくなることがあります。

- 録音時に誤ってふたを開けてしまったときは、カードを入れ直し、今回録音した内容を確認してください。正しく録音されていない場合は、録音内容を削除し、もう一度録音してください。(CD の高速録音時には、録音が停止したあと、約 74 分経過しないと同じ CD を高速録音できません。ただし、通常録音はできます。ラジオなどからの録音では復元できませんので、ご注意ください。
- 編集時に誤ってふたを開けてしまったときは、編集内容を確認してください。正しく編集されていない場合は、もう一度編集してください。

再生について

「SD オーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/MP3/WMA)のみ再生できます。
静止画および動画の再生はできません。

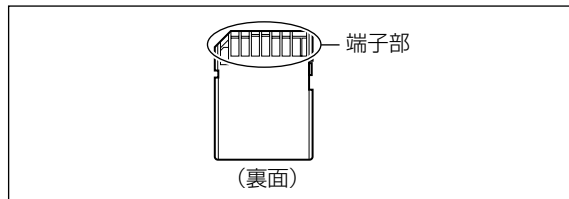
音楽の著作権保護のために

著作権保護と、音楽文化の健全な発展と、正当な購入者の権利保護のために、暗号技術を利用した SDMI（セキュア・デジタル・ミュージック・イニシアティブ）に対応しています。
このため、SD をご利用いただくにあたり、下記の制限があります。

- 本機は音楽データを暗号化して記録します。暗号化された音楽データを別の機器に複写して使用することはできません。
- 暗号化して記録された音楽データのバックアップ／リストア（復元）には対応していません。
- カード内のデータを移動するには、マイグレート対応のソフトウェア「SD-Jukebox Ver.5」(別売り)をご使用ください。
- コピー制限情報が埋め込まれている場合、取り扱えないことがあります。

■ デジタル録音の制限について
CD から SD のデジタル録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
本機で CD から SD へ録音すると信号劣化の少ないクリアなデジタル録音が行なえます。著作権保護のため、この制限がある CD から SD へのデジタル録音はできません。
なお、アナログ録音にはこのような制限はありません。

取り扱い上のお願い

- 保管時は、必ずケースに収納する。
- 分解や改造をしない。
- 貼られているラベルをはがさない。
- 新たにラベルやシールを貼らない。
- 裏面の金属端子部を手や金属で触れない。

（裏面）

SD ロゴは商標です。

ディスク (DVD/CD) について

WMA/MP3/JPEG/CD テキスト

本機での制限

- 使用できるフォーマット：ISO9660 level 1 及び level 2（拡張フォーマットを除く）
- マルチセッションに対応していますが、セッション数が多いと、再生が始まるまでに時間がかかることがあります。セッション数は少なくすることをおすすめします。
- 8 階層より深い階層にあるグループは、8 階層目と同じ列に表示されます。
- 表示可能な漢字は、JIS 第一水準のみです。それ以外の漢字は“_（アンダーバー）”で表示されます。
- メニュー画面での表示順は、パソコンでの表示順と異なることがあります。
- ディスクの作りかたによっては、順番通りに再生できないことがあります。

WMA

- 著作権保護されたファイルは再生できません。
- 情報部に JPEG など大きなデータが入っていると、無音になったり再生できない場合があります。
- Windows Media Audio 9(WMA9)対応
  ただし、WMA9 の Professional,Lossless,Voice および MBR（マルチプルビットレート：一つのファイル内に複数の異なるビットレートで記録された音声を含む形式）には対応していません。

MP3

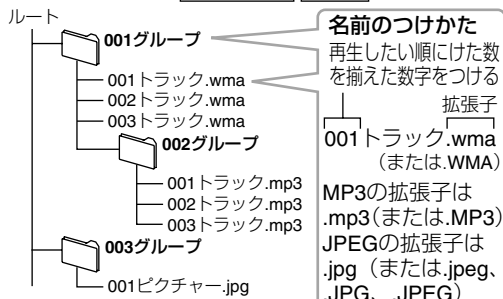
- 静止画の入った MP3 ディスクを再生すると、曲が再生されるまでに時間がかかることがあります。その間の再生経過時間は表示されません。曲の再生が始まっても正確に時間が表示されないことがあります。
- ID3 タグには対応していません。

JPEG

- DCF（Design rule for Camera File system）規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG を表示します。（デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF 規格にあてはまらないデータになり、画像が表示されないことがあります）
- 画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- MOTION JPEG などの動画や JPEG 以外の静止画（TIFF など）および音声付画像は再生できません。

再生される順番 WMA/MP3 JPEG

ルート
- 001グループ
  - 001トラック.wma
  - 002トラック.wma
  - 003トラック.wma
  - 002グループ
    - 001トラック.mp3
    - 002トラック.mp3
    - 003トラック.mp3
- 003グループ
  - 001ピクチャー.jpg

名前のつけかた
再生したい順にけた数を揃えた数字をつける
拡張子
001トラック.wma
（または.WMA）
MP3の拡張子は .mp3（または.MP3）
JPEGの拡張子は .jpg（または.jpeg、.JPG、.JPEG）

ただし、順番通りに再生できないことがあります。

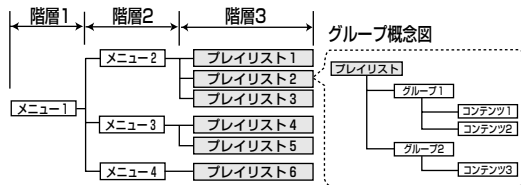
CDテキスト

市販のソフトなどで作成したCDテキストは、作成したトラック順に再生されます。

お知らせ

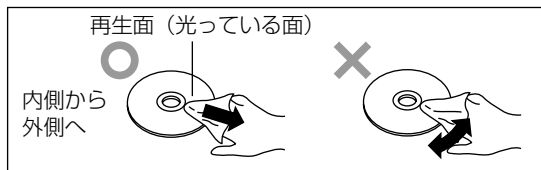
- **WMA/MP3** **JPEG**：グループ数 400、コンテンツ数 4000 まで再生できます。ただし、階層の深いフォルダが複数あるときは、フォルダ／ファイルを認識できないことがあります。
- CD-DA と WMA/MP3 などの異なる形式が同一ディスクに記録されている場合は、正常に再生できないことがあります。

HighMAT で記録されたディスクについて

- HighMAT™ 規格は、音声／画像／動画ファイルを CD-R/RW に記録するときの管理フォーマットです。本機では、WMA/MP3 の音楽ファイルと JPEG の静止画ファイルが記録されたディスクを再生できます。
- HighMAT 規格に対応したパソコンソフトでディスクを作成するときは、記録するファイルに曲名やアーティスト名などの情報をつけたり、プレイリストの設定なども合わせて収録することができます。
- 作成されたディスクでは、多彩なメニュー操作により、ファイル選択などを簡単に行うことができます。
- HighMAT 規格に準拠して記録されたディスクを作るためには、Windows XP がインストールされたパソコンが必要です。
  （HighMAT ：High performance Media Access Technology）

作成方法については下記ホームページをご参照ください。
http://panasonic.jp/support/

テープについて

ディスクの扱い

■ 汚れたときは
水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。
推奨品： クリーニングクロス VUA7091
（サービスルート扱い）

■ 露がついたら
急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、乾いた柔らかい布でふいてください。

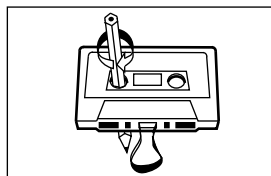
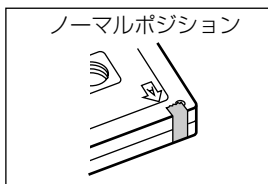
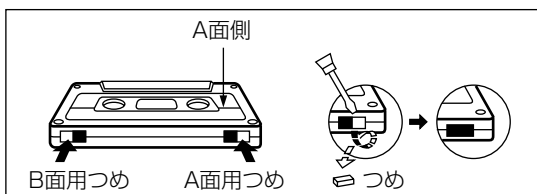
■ 取扱上のお願い
ディスクの破損や、機器の故障の原因になりますので、次のことを必ずお守りください。
●ディスクにシールやラベルを貼らない。
（ディスクにそりが発生し、使用できない場合があります）
●鉛筆やボールペンなどで書き込みをしない。
●レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない。
●傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
●以下のディスクを使わない。
－シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているディスク（レンタルディスクなど）
－そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
－ハート型など、特殊な形のディスク

MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および THOMSON multimedia からライセンスを受けています。

HDCD®、HDCD®、High Definition Compatible Digital®、および Pacific Microsonics™ は Pacific Microsonics, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
HDCD システムは Pacific Microsonics, Inc.からのライセンスに基づいて製造されています。本製品は下記の単数または複数の特許の対象です。
米国：5,479,168、5,638,074、5,640,161、5,808,574、5,838,274、5,854,600、5,864,311、5,872,531、ならびにオーストラリア：669114、およびその他申請中の特許。

■ 100分を超えるテープ
テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しをくり返さないでください。(回転部に巻き込まれることがあります)

■ エンドレステープについて
使用方法を誤ると、テープが回転部に巻き込まれます。必ずテープについている使用説明をお読みください。

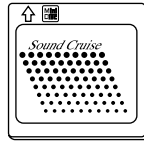
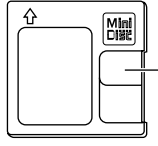
■ テープのたるみは巻き取ってください
テープに傷がついたり、切れたりする原因になります。

■ 録音したテープを誤って消さないために
ドライバーなどで、つめを折り取ってください。

もう一度録音するにはセロハンテープなどを貼ってください。

■ 録音を消して無音テープを作るには
① [▶TAPE ● REC/❚❚] を押してセレクターを“TAPE”にし、[■ STOP] を押す。
② テープを入れる。
③ [SHIFT]と[▶TAPE ● REC/❚❚] を同時に押す。
両面とも上記操作を行ってください。

■ 取扱上のお願い
テープが取り出せなくなったり、音質が損なわれる場合がありますので、次のことをお守りください。
●テープに付属している以外のシール（特に厚みのあるシール）を貼らない
●指定以外の場所にシールを貼らない

MD について

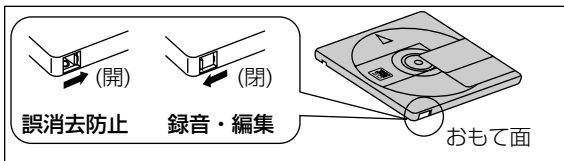
MD の種類

■ 再生専用 MD
録音できません。
ピットという小さなくぼみの有無でデータが記録されています。
この方式の MD を「光ディスク」といいます。

■ 録音用 MD
磁気によってデータを記録します。
この方式の MD を「光磁気ディスク」といいます。

シャッター

MD の録音・編集について

■ テープとは違います
録音済みの MD は、自動的に前の録音部分の続きから録音しますので、テープのように無録音部分を探す必要はありません。
ディスクがいっぱいになったときは、イレース（消去機能）で、いらない曲を消してから録音します。（上書き録音はできません）

■ MD 1 枚への録音曲数は 、収録時間内で最大 254 曲までです
ただし、MD は 2 秒以下の音声を録音する場合にも約 2 秒間の領域を使用するため、実際に録音できる時間は少なくなることがあります。

■ 大切な録音を消さないために
MD の誤消去防止つまみを、穴が開く方向へずらします。新たに録音、編集するときは閉じてください。

■ デジタル録音の制限について
デジタル接続での録音には、SCMS（シリアル・コピー・マネージメント・システム）という制限があります。
CD などから MD にデジタル録音すると、信号劣化の少ないクリアな録音が得られます。そこで、著作権保護のため、この MD から、さらに別の MD へはデジタル録音できないようになっています。（“コピーのコピー” の禁止）また、このような制限がある CD から MD へのデジタル録音もできません。
なお、アナログ録音にはこのような制限はありません。

■ 録音、編集時のお願い
録音や編集、タイトル入力を行っているときは、機器を振動させたり、電源コードを抜いたりしないでください。“UTOC Writing” の点滅中に電源が切れたり、振動があると、録音・編集・タイトル入力が MD に正しく記録されません。

よく出てくる MD 用語

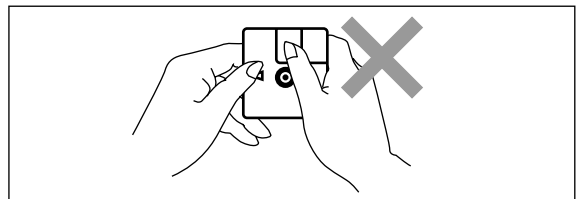
■ トラックマーク
録音部分に記録される “区切り” のことです。ある区切りから次の区切りまでが 1 曲と数えられます。
トラックマークは録音時に自動的に記録されたり、自分で自由につけることもできます。
トラックマークを入れることで、1 枚の MD に最大 254 曲まで記録することができます。

■ TOC（トック）（Table of Contents）
MD には、音声信号を記録する領域とは別に、曲数や演奏時間などを記録する領域があり、そこに書き込まれた内容を TOC 情報といいます。

■ UTOC（ユートック）（User Table of Contents）
利用者が自由に書き換えられる TOC です。入力した文字や、編集した結果などを記録します。
MD に UTOC 情報が書き込まれているとき、“UTOC Writing” と表示され注意を促します。

■ MARKING（マーキング）
録音中にトラックマークを記録することです。
本機が曲の変わり目を判断してマーキングします。

取扱上のお願い

- 指定外の場所にラベルを貼らない
（また、ラベルやテープの糊がはみ出したり、はがした跡のある MD は、故障の原因になりますので機器に入れないでください）
- シャッターは開かない
（万一開いてしまったときは、すぐに閉じてください。中の円盤には、直接手を触れないでください）

MD の制約について

症　状	原　因
コンバイン/ディバイド機能が使えないことがある。	部分録音/部分消去をくり返した MD に録音すると、MD 上のデータとしては分断されて記録されるため、左記のようなことが起こる場合があります。また、SP/LP2/LP4 の異なるモードで記録された曲ではコンバインできません。
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り/早戻しすると、音の途切れることがある。	

用語解説

（ディスクや映像に関する用語の解説です）

ア
アングル
DVDソフトには、複数の撮影角度（アングル）で撮影されているものがあり、同じ場面を異なるアングルで見ることができます。くわしくは、ディスクのジャケットなどをご覧ください。

サ
再生ナビ（プログラムナビ）
DVD-RAMに録画した番組の一覧です。見たい番組をすばやく探せます。

サンプリング周波数
サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。1秒間に刻む回数をサンプリング周波数といい、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

タ
ダイナミックレンジ
機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。ダイナミックレンジを圧縮すると、音量差が小さくなるため、小音量でもセリフなどが聞きとりやすくなります。

ダウンミックス
ディスクに収録されたマルチチャンネル（サラウンド）の音声を、2チャンネルに混合することです。5.1チャンネルのDVDビデオを本機のスピーカーで再生するときは、ダウンミックスされた音声が出力されています。

デコーダー
DVDソフトなどに記録されているデジタル信号を、映像や音声の信号に戻す装置や回路のことです。この処理をデコードといいます。

ハ
フィルム素材/ビデオ素材
一般的に、DVDソフトの映像情報にはフィルム素材とビデオ素材があります。
- **フィルム素材**　フィルムのイメージが24コマ/秒または30コマ/秒で記録されているもの。（映画撮影のフィルムは24コマ/秒）
- **ビデオ素材**　映像情報が60フィールド/秒で記録されているもの。

フレーム/フィールド
フレームとは、テレビの1枚の画面のことです。フィールドと呼ばれる2枚の画面からなっています。

フレーム

＝

フィールド

＋

フィールド

- **フレームスチル**
  画質はよくなりますが、2枚のフィールド間でブレを生じる場合があります。
- **フィールドスチル**
  情報量が少ないため、画像は少し粗くなりますが、ブレを生じません。

プレイリスト
好みの場面や曲を集めた、演奏リストのようなものです。DVD-RAMや、HighMATで記録されたディスクに収録されます。

プログレッシブ/インターレース
従来の映像信号（NTSC）は、525I（I：インターレース＝飛び越し走査）といわれるのに対し、525I信号の倍の走査線数を持つ高密度な映像信号を525P（P：プログレッシブ＝順次走査）といいます。プログレッシブではDVDソフト本来の高精細映像を再現できます。
プログレッシブ映像を楽しむには、プログレッシブ対応テレビが必要です。

マ
マーカー
もう一度再生したい位置につける印のことです。

B
ビットストリーム
Bitstream
圧縮され、デジタル信号に置き換えられた信号です。デコーダーにより、5.1chなどのマルチチャンネルの音声信号に戻されます。

D
ディー　ディー
D1/D2映像出力
S映像出力よりもさらに鮮明な映像を得ることができます。また、本機はプログレッシブ映像出力（525P）にも対応しているため、525I信号の映像よりも高密度な映像が楽しめます。

ドルビーデジタル
Dolby Digital
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2ch）はもとより、マルチチャンネルに対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

ディーティーエス　デジタル　シアター　システムズ
DTS（Digital Theater Systems）
多くの映画館で採用されているマルチチャンネルシステムです。リアルな音響効果が得られます。

I
アイピービー
I/P/B
DVDでは、データを効率よくディスクに収めるため、画面間で共通するデータは共用し、異なるデータは画面ごとに記録しています。
- **I-picture**　共用データの基準として単独で記録される画面
- **P-picture**　過去のI-pictureまたはP-pictureを元につくられる画面
- **B-picture**　I/P両方を元につくられ、両者の間をうめる画面

画質調整をするときは、一時停止した後、コマ送りで画質のもっともよいI-pictureを選ばれることをおすすめします。

M
エムピー　エムペグ　オーディオ　レイヤー
MP3（MPEG Audio Layer 3）
元の音声をあまり損なうことなく、情報量を10分の1程度に圧縮できる音声圧縮方式です。本機では、パソコンでCD-R/-RWに記録したMP3を再生できます。

P
ピービーシー　プレイバック　コントロール
PBC（Playback control）
ビデオCDを再生する方式の1つで、表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を選ぶことができます。本機は、バージョン2.0および1.1に対応しています。

主な仕様

センターユニット部（SA-PM910DVD）

■ アンプ部
実用最大出力（両 CH 動作）：25 W + 25 W
（全高調波ひずみ率 10 %, 6 Ω）
LOW：14 W + 14 W
HIGH：11 W + 11 W

■ FM チューナー部
受信周波数帯域：76.0 ～ 90.0 MHz (100 kHz ステップ)
TV 1 ch、2 ch、3 ch (モノラル)
アンテナ端子：75 Ω (不平衡型)

■ AM チューナー部
受信周波数帯域：522 ～ 1629 kHz (9 kHz ステップ)

■ カセットデッキ部
トラック方式：4 トラック、2 チャンネル
ヘッド
録音／再生：パーマロイ
消去：ダブルギャップフェライト
モーター：DC サーボモーター
録音方式：AC バイアス　100 kHz
消去方式：AC 消去
テープ速度：秒速 4.8 cm

■ DVD/CD 部
ディスク：8 cm /12 cm
DVD　(DVD-Video、DVD-Audio)
DVD-RAM　(DVD-VR、JPEG※4、5)
DVD-R　(DVD-Video)
DVD-RW　(DVD-Video、DVD-VR)
＋R/RW　(Video)
CD、CD-R/RW　(CD-DA、Video CD、SVCD※1
MP3※2、5、WMA※3、5、JPEG※4、5
HighMAT レベル２（音声、静止画）)

※1 IEC62107 準拠
※2 MPEG-1 Layer 3、MPEG-2 Layer 3
※3 Windows Media Audio Ver.9.0 Class 2A
Not compatible with Multiple Bit Rate (MBR)
※4 Exif Ver2.1 JPEG ベースライン方式準拠
画像解像度：320 × 240 ～ 6144 × 4096
（サブサンプリング：4 ：2 ：2、4 ：2 ：0）
※5 再生可能な最大コンテンツ数：4000 コンテンツ
再生可能な最大グループ数：400 グループ

映像
信号形式：NTSC
映像出力：出力レベル　1 Vp-p（75 Ω）
D1／D2 映像出力：Y 出力レベル　1 Vp-p（75 Ω）
PB/CB 出力レベル　0.7 Vp-p（75 Ω）
PR/CR 出力レベル　0.7 Vp-p（75 Ω）
ピックアップ　光源：半導体レーザー
波長：CD/VCD 785 nm、DVD 662 nm

■ MD 部
形式：ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式：磁界変調オーバーライト方式
読取方式：半導体レーザー(波長 =780 nm) による非接触光学式
サンプリング周波数：44.1 kHz
圧縮／伸張方式：ATRAC/ATRAC3 (MDLP) 方式
チャンネル数：2 チャンネルステレオ
ワウ・フラッター：測定限界以下
録音再生時間（80 分 MD 使用）：SP 80 分、LP2 160 分、LP4 320 分

■ SD 部
サンプリング周波数：32 kHz (LP)／44.1 kHz (SP、XP)
圧縮／伸張方式
SD オーディオ再生：AAC 方式
：MP3 方式
：WMA 方式
SD オーディオ録音：AAC 方式
チャンネル数：2 チャンネルステレオ

■ 本体総合
電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：61 W
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：175 × 250 × 352 mm
質量：約 5.8 kg

電源スタンバイ時の消費電力　：約 0.1 W（DEMO OFF 時）

スピーカー部（SB-PM910）

形式：3 ウェイ 3 スピーカーシステム、バスレフ型
ウーハー：10 cm コーンタイプ
ツイーター：6 cm リングシェープドドームタイプ
スーパーツイーター：1.2 cm ドームタイプ
インピーダンス
LOW：6 Ω
HIGH：6 Ω
許容入力（IEC）
LOW：40 W (Max)
HIGH：40 W (Max)
出力音圧レベル：84 dB/W (1.0 m)
再生周波数帯域：50 Hz ～ 100 kHz (–16 dB)
60 Hz ～ 90 kHz (–10 dB)
寸法（幅 × 高さ × 奥行）：145 × 250 × 229 mm
質量：約 2.4 kg
防磁設計：防磁

注）この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品。

Q＆A（よくあるご質問）

	Q（質問）	A（回答）	参照ページ
他の機器との接続	テレビにS端子、D端子、コンポーネント端子があるが、どれに接続したらいいのか	本機は、S端子には接続できません。 S端子より忠実に色を再現するD端子、コンポーネント端子に接続してください。D端子とコンポーネント端子では映像の質に差はありません。	73
	プログレッシブ映像を楽しむにはどんなテレビが必要か	当社製のD2、D3、D4のいずれかの入力端子のあるテレビであれば、対応しています。テレビの説明書をご覧ください。	--
	手持ちのアナログプレーヤーをつなぎたい	現在、アンプの「フォノ」または「プレーヤー」端子に接続している場合は、フォノイコライザーアンプ（サービスルート扱い　品番：RFKZ0088KIT）が必要です。 そのまま接続すると、音が小さくなります。	73
	有線放送をつなぎたい	後面の「AUX」端子に接続します。	73
	他のスピーカーをつなぎたい	**付属のスピーカー以外はご使用になれません。** 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより、正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。	--
	5.1chサラウンドを楽しみたい	後面の光出力端子にデコーダー内蔵のAVアンプを接続してください。	73
DVD	海外で買ったDVDビデオは再生できるか	リージョン番号が「ALL」または「2」を含んでいて、映像方式がNTSCであれば再生できます。ディスクのジャケットをお確かめください。	11
	リージョン番号がないディスクは再生できるか	DVDのリージョン番号は、ディスクが規格に適合していることを表しています。規格外のディスクは再生できません。	11
	ビデオテープに録画できるか	ほとんどのDVDにはコピー禁止処理が施されているため録画できません。	--
MD／SD	MDに長時間録音する方法は？	録音モードを“LP2”または“LP4”にして、録音してください。	43
	MDやSDの残り時間を知りたい	残り時間表示になるまで［DISPLAY］を数回押してください。	43
	録音中に音量や音質を変えたらどうなる？	録音中に音量を変えても音には影響しませんが、GUIメニューを操作して音質を変えると、録音される音に影響することがあります。	--
	LP2/LP4で録音したMDを再生できるプレーヤーは？	MD**LP**に対応していないプレーヤーでは再生できません。曲のタイトルの先頭に“LP:”と表示され、無音で再生されます。	--
	録音済みMDやSDに上書き録音したい	テープと異なり、上書き録音はできません。不要な曲をイレースで消してから録音してください。	52
	録音済みMDやSDの続きに録音したい	自動的に前の続きから録音しますので、そのまま録音してください。頭出しは不要です。	--
	miniSDカードやMMC（マルチメディアカード）は使えますか	miniSDカード（miniSDアダプターが必要です）は使えますが、MMC（マルチメディアカード）は使用できません。	85
	ICレコーダーで録音したSDを再生できる？	本機では再生できません。	--
他	ハイポジションテープやメタルテープに録音できる?	本機では正しく録音／消去できません。前回の録音が完全に消えないことがあります。 ただし、使用しても機器への支障はありません。	--
	長期間使用しないのだが、どうすれば?	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。ただし、再使用時には時計の設定が必要です。	--

こんな表示が出たら

表　示	意　味	処　理
BLANK DISC	MD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
CANNOT DISPLAY	再生できない画像ファイルです。	本機では表示できません。
CANNOT PLAY	再生できないファイルです。（ディスク）	ディスクを交換するか別のファイルを選んでください。
CAN'T COMBINE	コンバインできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T DIVIDE	ディバイドできません。	MD システム上の制約です。
CAN'T EDIT	プログラム、ランダム、1 グループ設定中は、MD/SD の編集やタイトル入力ができません。	各設定を解除した後、操作を行ってください。
	SD のイッキ録り中や、録音、再生中はタイトル入力できません。	停止中に行ってください。
CARD FULL	SD カードの空き時間が足りません。	不要な曲を消すか、カードを取り替えてください。
CARD LOCKED	本機では使用できないカードです。	カードを取り替えてください。
CARD PROTECTED	SD カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっています。	解除してから録音、編集してください。
CHECK CARD	本機では使用できないカードです。または、本機で使用できるような初期化がされていません。	カードの内容をご確認のうえ、本機で初期化するか、カードを取り替えてください。
CHECK CD（点滅）	イッキ録りを行う前にすべての CD をチェックしています。	チェック完了までしばらくお待ちください。
CONTENT PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	(WMA、HighMAT)そのトラックをスキップして再生します。
COPY PROTECTED	コピー禁止の DVD オーディオや CD です。	録音できません。
DISC FULL	MD の空き時間が足りません。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD に取り替えてください。
DISC PROTECTED	MD が誤消去防止状態になっています。	録音・編集するには、MD の誤消去防止つまみを閉じた状態にしてください。
EMERGENCY STOP	異常が発生しました。	MD/SD を入れ直し、操作し直してください。
F □□□ H □□（□□は数字）	内部回路に不具合が起きた可能性があります。	1 度、電源を入れ直してください。それでも表示が消えないときは、販売店にご相談ください。
LOAD ERROR Press EJECT	MD を出し入れしたときに異常が発生しました。	一度 MD を取り出し、入れ直してください。
MEMORY FULL ERASE TITLE	100 枚を超えて、CD のタイトルを入力しようとしました。	不要な CD タイトルを消してから、再度入力してください。
NO DISC	ディスクまたは MD が入っていません。	ディスクまたは MD を入れてください。
NO PLAY（DVD）	再生できないディスクです。"視聴制限"を設定したディスクなどが入っています。	ディスクを交換する。 視聴制限を解除する。
NO PLAY（SD）	再生できないトラックです。	そのトラックをスキップして再生します。
NO REMAIN	MD や SD に空きのない状態で、CD のイッキ録りをしようとしました。	不要な曲を消去するか、新しい録音用 MD や SD に取り替えてください。
NO TAPE	テープが入っていません。	テープを入れてください。
NO TRACK	SD に 1 曲も録音されていません。	録音にはそのまま使えます。
	本機で再生できないデータ（静止画や動画）のみが入っています。	本機では静止画や動画の再生はできません。
PGM（点滅）	プログラムプレイの再生中に、[DISC]や数字ボタンでディスク/曲を選ぼうとしました。	プログラムを解除してから操作してください。
PLAYBACK CARD	再生専用の SD です。	録音・編集はできません。
PLAYBACK DISC	再生専用 MD に録音しようとしました。	録音用 MD に取り替えてください。
READ	ディスクの情報を読み込んでいます。	表示が消えてから操作してください。

表　示	意　味	処　理
RND（点滅）	ランダム設定中は録音できません。	ランダムを解除してください。
	ランダム設定中に、[DISC]や数字ボタンでディスク/曲を選ぼうとしました。	ランダムを解除してから操作してください。
SCMS CAN'T COPY	SCMS（☞ 85、88 ページ）が記録された CD-R や CD-RW から MD や SD に録音しようとしました。	デジタルでは録音できません。 “ANALOG-REC”が表示されるまで［EDIT MODE］を押したままにし、アナログ録音に切り換えてから録音してください。（高速録音はできません）
SELECT OVER	24 曲を超えて消そうとしています。	1 回の操作でこれ以上は消せません。 何回かに分けて操作してください。
	SD のプレイリストへの登録曲数が 99 曲を超えようとしています。	これ以上の登録はできません。
TAPE PROTECTED	テープが誤消去防止状態になっています。	録音するにはテープのつめの部分にセロハンテープを貼ってください。
TITLE FULL	この曲はこれ以上タイトル入力できません。	タイトルを短くしてください。
TITLE OVER	本機で入力できる文字数の制限を超えています。	制限を超えての入力はできません。
TOC ERROR	MD の読み取りに問題のある可能性があります。	電源を切／入したあと、MD を入れ直してください。
	MD に異常があるか、損傷しています。	MD を取り替えてください。
TOC READING	TOC 情報を読み込んでいます。	表示が消えてから操作してください。
TRACK FULL	SD カードへの録音は最大 998 曲です。	不要な曲を消すか、カードを取り替えてください。
TRACK NUMBER NOT EQUAL	曲数の違う MD へはタイトルをコピーできません。	曲数の同じ MD に取り替えてください。
TRACK PROTECTED	曲にプロテクト（保護）がかかっています。	編集・消去していいか、確認してから操作してください。
U30 REMOTE □ （□は 1 または 2）	リモコンモードの設定が本体の設定と合っていません。	97 ページの「リモコンモードを変更する」の**2**を行い、リモコン側を“□”で表示された番号に変更してください。
UTOC FULL	タイトルの書き込みやグループ編集、またはディバイドやムーブができるだけの空きがありません。	不要なタイトルを消去するか、タイトルを短くしてください。またはグループを 1 つ解除してください。
	254 曲入っている MD で曲をディバイドしようとしました。（最大曲数は 254 曲）	不要な曲を消去するか、2 曲を 1 つにつないでください。

故障かな!?

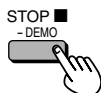
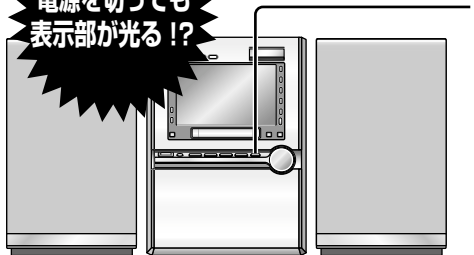
長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
システム全体に共通	電源「切」時に表示部が変化する。	デモ機能が働いていませんか。	デモ機能を「切」にする。	6, 97
	電源が入っているのに音が出ない。 再生中に音が出なくなった。	スピーカーコードがはずれていませんか。	スピーカーコードを正しく接続する。	6、7
		スピーカーコードの⊕、⊖がショートしていませんか。		
	音の位置が定まらない。 左右の音が逆になる。	スピーカーコードの⊕ ⊖、別売り機器のコードの左右を逆に接続していませんか。	スピーカーコード、別売り機器のコードを正しく接続する。	6、7、73
	再生中に「ブーン」という音がする。	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。	電気器具を本機からできるだけ離す。 電源コードを逆に差しかえてみる。	--
	本体ボタンで操作ができない。	本機の上に重いものなどを載せて[OPEN ▲]が押された状態になっていませんか。	本機の上に重いものを載せないでください。	--
リモコン	リモコン操作ができない。	乾電池の⊕、⊖が逆になっていませんか。	⊕、⊖を正しく入れる。	4
		乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と交換する。	
	他の機器のリモコンで、本機が誤動作する。	当社製のDVDレコーダーなどを同時に使っていませんか？	リモコン信号が干渉しあっている可能性があります。リモコンモードを変更してください。	97
	リモコン使用時に“U30 REMOTE □”（□は1または2）が表示される。	リモコンの設定が本体の設定と合っていません。	97ページの「リモコンモードを変更する」の**2**を行い、リモコン側を“□”で表示された番号に変更してください。	97
ラジオ	放送がうまく受信できない。	アンテナは接続していますか。	アンテナを接続してください。	6
	放送がうまく受信できない。 雑音、ひずみが多い。 “STEREO”が点滅する。	近くに大きなビルや、山がありませんか。	屋外アンテナを利用してみる。	37
		送信所が遠かったり、アンテナの設置場所や向きが悪くありませんか。	付属のアンテナの向きや位置を変えてみる。 屋外アンテナを使うのも1つの方法です。	37
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BSチューナーなどの電源が入っていませんか。	本機と各機器との距離を離すか、各機器の電源を切る。	--
		携帯電話の充電を近くでしていませんか。		
		アンテナ線が電源コードに接近していませんか。	アンテナ線と電源コードを離す。	--
ディスク（DVD／CD）	テレビに映像が映らない。 画面サイズがおかしい。	テレビのビデオ入力は正しいですか。	本機の接続に合わせて、テレビのビデオ入力を切り換える。	--
		初期設定「TVアスペクト」を設定しましたか。	「TVアスペクト」を正しく設定する。	13, 76
			PAL方式のDVDオーディオは、上下に引き延ばされた画面になることがあります。	--
		A. ONLYを「入」にしていませんか。	A.ONLYを解除してください。	71
	ディスクを入れても、表示部が変わらない。 再生ボタンを押しても再生が始まらない。	規格外のディスクではありませんか。	規格に適合したディスクと取り替える。	10, 11
		本機で再生できるディスクですか。	ディスクのジャケットを確認してください。	10, 11
		「視聴制限」しているディスクではありませんか。	初期設定の「視聴制限」の項目を確認してください。	76
		寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	--
	特定の箇所が正常に再生しない。 操作しても、うまく働かない。	ディスクが汚れていませんか。	柔らかい布などでふく。	87
		テレビに“⊘このディスクで〜”が表示されていませんか。	ディスクによっては、特定の操作を禁止している場合があります。	--
	音声言語、字幕言語が切り換わらない。アングルを変えられない。	再生中のディスクに、複数の言語や字幕、アングルが記録されていますか。	ディスクのジャケットを確認してください。	11

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
ディスク（DVD/CD）	プログレッシブ出力でDVDビデオ再生時、映像の一部が二重にぶれて見える。	GUIメニューの“その他の設定”→“画質メニュー”→“ビデオ出力モード”を確認してください。	「525i」にして、“PROG.”表示を消します。 映像ソフト側に起因する症状ですが、インターレース出力（525i）では問題なく再生できます。 「525p」に切り換えて画像がぶれたときは、映像が正しく表示されるまで、[CANCEL]を押したままにしてください。設定が「525i」に戻ります。	80
	映像が乱れる。	プログレッシブ非対応のテレビに接続し、プログレッシブ出力をしていませんか。	付属の映像コードで接続し、TVの入力を切り換えたあと、GUIメニューの「ビデオ出力モード」を“525i”にしてください。	80
	表示部の“D.MIX”が点滅したままになる。	マルチチャンネルのダウンミックスを禁止しているディスクではありませんか。	映像ソフト側が指定したスピーカー構成でないと正常に再生できません。同じ曲を2chで収録しているディスクの場合は、「音声設定」を切り換えるなどしてお聞きください。	78
	「視聴制限」の暗証番号を忘れた。 初期設定の内容を工場出荷時の状態に戻したい。	右記の操作で、お買い上げ時の状態に戻してください。	① すべてのトレイを閉める。 ② セレクターを“DISC”に合わせ、停止させておき、本体の［STOP■］を押しながらリモコンの［≧10］を押す。（テレビ画面に“オールクリア”表示が出て、お買い上げ状態に戻ると消えます。） ③ 電源を「切」「入」する。	--
	高速録音時に音飛びやMD/SDにノイズが記録される。 CD-R/RWから録音できない。	ディスクの表面に傷や指紋が付いていませんか。	傷が付いているときは交換、指紋は柔らかい布でふいてください。ふいたあと定速録音すると改善される場合があります。CD-R/RWでは、記録状態によっては録音できないことがあります。	--
	5CDイッキ録りができない。	CD以外から録音していませんか。	CD以外のディスクからはイッキ録りできません。	--
			CDでも条件によってはイッキ録りができないことがあります。	--
	WMA/MP3ディスクが正しく読み込まれない。	マルチセッションでディスクを作成している場合、セッションの終了処理をしましたか。	セッションの終了処理を行ったWMA/MP3ディスクを使用してください。	86
		1セッションあたりのデータ量が小さくありませんか。	1セッションのデータ量を約5MB（3分程の曲で約2曲分）以上にしてください。	--
	ディスクトレイふたが正しく閉まらない。	―――	①［POWER ⏻/I］を押して電源を切ったあと、電源コードを抜き、再度差し込む。 ②［POWER ⏻/I］を押す。 電源が入り“WAIT”と表示されます。 “WAIT”が消えてからご使用ください。	--
MD	MDを入れても、自動的に引き込まれない。 MDを入れるのに、かなりの力がいる。	排出動作中のMDに、無理な力を加えませんでしたか。	電源を入れなおす。	--
	再生できない。	寒い所から暖かい所に持ってきたなど、急激な温度差がありませんでしたか。	レンズ部の露付きが考えられます。 約1時間待ってから使用する。	--
	録音できない。	ランダムモードになっていませんか。	ランダムモードを解除する。	30
	録音・編集ができない。	誤消去防止状態になっていませんか。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。	88
	タイトルが入力できない。			
	MDのタイトルが出なかったり、表示が途切れたりする。	MDに記録できる文字数を超えていませんか。	文字数には制限があります。（英数記号で約1700文字）	59
	MDを入れても“TOC READING”が点滅したままで、操作ができなくなる。 また、この状態で［▲ MD EJECT］を押しても、MDが出てこない。	MDのTOC情報読み込み中に異常が発生しました。	①［POWER ⏻/I ］を押す。 しばらくするとカチッと音がして完全に電源が切れます。 ②電源を入れ、すぐ［▲ MD EJECT］を押す。 MDが出てきます。 （出てこないときは、手順 ① ② をくりかえす） ③MDを取り替える。	--

故障かな!?（つづき）

	こんなときは	ここをご確認ください	処　理	参照ページ
MD	高速録音ができない。	録音を終了した時点から約74分間待たずに同じCDを高速録音しようとしませんでしたか。	約74分待ってから録音する。 通常録音する。	41
	タイトルが表示されない。 表示がおかしい。	グループ機能未対応機種でタイトル入力や編集作業を行いませんでしたか。	本機で入力をやり直してください。	58
		タイトルが、漢字/ひらがなではありませんか。	本機の表示部は漢字/ひらがななどの2バイト文字に対応していません。	--
		すでに漢字でタイトルが記録されたMDのタイトル編集を本機で行いませんでしたか。	本機では漢字の編集はできません。	--
	左右のチャンネル間に音漏れがある。	LP4の曲をディバイドしたりコンバインしたりしませんでしたか。	分けた部分やつないだ部分で若干の音漏れを生じる場合があります。	--
SD	操作ができない。	カードは正しく入っていますか。	カードを正しく入れてください。	29
		SD挿入部のふたが開いていませんか。	ふたを閉めていないと操作できません。	29
		本機で使用できないカードではありませんか。	本機はSDメモリーカード以外のカードには対応していません。	85
	再生できない。	SDに、本機で再生できる音楽データが録音されていますか。	本機では「SDオーディオフォーマット」で録音された音楽データ（AAC/MP3/WMA）のみ再生できます。静止画や動画の再生はできません。	--
	録音できない。	ランダムモードになっていませんか。	ランダムモードを解除してください。	30
	録音・編集ができない。 タイトルが入力できない。	SDの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか。	解除してください。	85
	タイトルが表示されない。 表示がおかしい。	タイトルが漢字/ひらがなではありませんか。	本機の表示部は漢字/ひらがななどの2バイト文字に対応していません。	--
	高速録音ができない	録音を終了した時点から約74分間待たずに同じCDを高速録音しようとしませんでしたか。	約74分待ってから録音する。 通常録音する。	41
	SDを他のプレーヤーや携帯電話で再生できない。	再生機器はAACに対応していますか。	AACに対応している再生機器でお聞きください。	72
	パソコンにSDを入れたのに動かない。	パソコンのSDカードスロットは「著作権保護機能」対応ですか。	対応していない場合は、別売りのUSBリーダーライターなどを準備する。	72
テープ	音が途切れる、雑音が多い。	ヘッド部が汚れていませんか。	ヘッド部を清掃する。	84
	録音状態にならない	録音用のつめを折っていませんか。	つめを折った部分にセロハンテープを貼る。	87
	テープが取り出せない。	――	AM放送をMD/SDに録音（待機）中はテープを取り出せません。停止後に取り出してください。	--
その他	音質/音場を変えても効果が出ない。	他の音質/音場効果を使っていませんか。	アドバンストサラウンド>マルチ リ.マスター>サウンドエンハンスメントの順に優先的に働きます。（左側の効果が優先）	70

デモ機能動作中に
“DEMO OFF”と表示するまで押したままにする

DEMO OFF

押すたびに
DEMO OFF（切）
↓↑
DEMO ON（入）

リモコンモードを変更する

他の機器のリモコンで本機が誤動作するときは以下の**1**～**3**を、“U30 REMOTE □”が表示されるときは以下の**2**、**3**を行ってください。

1　本体側の切り換え（例：“2”に変更する）

①［FM/AM/AUX］を押して、“AUX”を選ぶ。

②本体の［FM/AM/AUX］を押しながら、リモコンの数字ボタンの［2］（お買い上げ時の設定に戻すときは［1］）を約2秒間押す。
“REMOTE 2”（または“1”）と表示され、本体側が変更されます。

2　リモコン側の切り換え

リモコンの［LIST/ENTER］を押しながら、数字ボタンの［1］または［2］（本体側と同じ数字、または“U30 REMOTE □”で示された数字）を約2秒間押す。
リモコン側が変更されます。

3　動作の確認

リモコンのボタンを押して、本機が正しく動作することを確認する。

保証とアフターサービス （よくお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は…

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- 使い方・お買い物などのお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■ 保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このDVD/SDステレオシステムの補修用性能部品を、製造打ち切り後８年保有しています。
注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店などの営業用としての長時間使用など）により故障した場合は、保証期間内でも有料修理とさせていただくことがあります。

■ 修理を依頼されるとき

94～97ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。
右記修理料金の仕組みをご参照のうえご相談ください。

● 修理料金の仕組み
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
松下電器産業株式会社および松下グループ関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、ナショナル・パナソニック製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問合せは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容			
製品名	DVD/SDステレオシステム	お買い上げ日	年　月　日
品　番	SC-PM910DVD	故障の状況	できるだけ具体的に

修理に関するご相談

ナショナル・パナソニック　**修理ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。
- 最寄りの修理ご相談窓口は、次ページをご覧ください。

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル・パナソニック　**お客様ご相談センター**

365日／受付9時～20時
電話　フリーダイヤル　**0120-878-365**（パナは 365日）
■携帯電話・PHSでのご利用は…**06-6907-1187**
FAX　フリーダイヤル　**0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256-5444　**Osaka** (06) 6645-8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

ナショナル・パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号） 0570-087-087

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市平清水1丁目1-75	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南ノ内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
茨城	つくば市花畑2丁目8-1	☎(029)864-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6034
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市筒井町800番地	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴ノ緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0904

さくいん

Panasonic DVD/SDステレオシステム SC-PM910DVD 取扱説明書

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録音・編集ができなかった場合の内容の補償、録音・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

愛情点検　長年ご使用のDVD/SDステレオシステムの点検を!

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	☎（　　）　―	品番	SC-PM910DVD
お客様ご相談窓口	☎（　　）　―	お買い上げ日	年　月　日

松下電器産業株式会社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

RQT7864-2S
H0105CK2035